

地域コミュニケーション調査

(平成26年 黒潮町編)

調査報告書

平成28年9月

研究代表者 遠山茂樹

(高知大学教育研究部人文社会科学系人文社会科学部門 教授)

発行にあたって

本報告書は、平成 25 年度（2013 年度）科学研究費助成事業に採択された「デジタル時代の防災コミュニティ強化に向けた地域コミュニケーション・モデルの開発」（課題番号：25330399）（代表：遠山茂樹）の一環として実施された「平成 26 年 地域コミュニケーション調査（黒潮町編）」の結果をまとめたものである。

本調査研究は、高知県の太平洋沿岸に位置する郡部コミュニティにおけるコミュニケーション実態の把握を試みたものである。具体的には高知県幡多郡黒潮町および同県安芸郡奈半利町におけるコミュニケーション実態について社会調査により解明することを目指した。

本調査研究の発端は、研究代表者が地域コミュニティにおけるコミュニケーション実態の現状を理解しようと文献調査を行っていた経緯のなかで、従来の研究において具体的に「どのような種類の情報」が「どのようなコミュニケーション経路」により入手されているのか、について十分に定量的な調査結果が見当たらなかったことであった。具体的なレベルで地域のコミュニケーションについて議論をしようとした場合、そのための基礎データの蓄積がほとんどなかったのである。このため、研究代表者自らが基礎データの収集をめざし、社会調査を企画した。

本社会調査を通じて明らかになった点は、一般的な社会情報については従来のマスメディア（なかでも地上波テレビ放送と新聞）の影響力の大きさであった。2000 年以降、ケータイを中心にインターネットの普及が日本社会において進んでいったが、信頼性や伝搬性においては旧来のマスメディアが依然として存在感を示していた。また、「地元」の情報については、当該コミュニティに限定したメディア（具体的には町役場の広報誌や街頭の掲示板やポスター）の利用の高さであった。地域限定メディアの信頼性と詳報性により、広く町民が「地元」情報収集に利用していると推測される。また、一般的社会情報および「地元」情報の双方において重要な「情報経路」となっていたのが、「ひとつづて」に直接情報を得たり、あるいは身近な人からのメールやメッセージで新たな情報を入手したり、いわゆる「クチコミ」による情報流通であった。古くからの情報伝達手段である「クチコミ」が依然として地域社会の情報流通において重要な位置を占めていることが再確認された。

本調査研究の第二の目的は、社会調査を通じて解明しようとする「地域コミュニケーション実態」の基礎データを、地域の防災に役立てることである。このため、社会調査では地域住民の災害に対する意識や実際の備えの現状について質問している。さらに、これらの防災対応において、情報入手経路のみならず、人びととのつながり（いわゆる社会ネットワーク）の影響についても考察できるよう、調査をデザインした。防災準備状況と人びととのつながり（社会ネットワーク）との関連性については、今後分析を進め、学会誌等で公表していく予定である。

本社会調査は、黒潮町民の皆様をはじめ、黒潮町役場や黒潮町選挙管理委員会などの協力なしには実現できなかった。この場をかりて御礼を申し上げる。また、本社会調査に協力してくれた高知大学生 11 名にも感謝の意を表したい。また、社会調査過程において不快な思いなどをされた方々には深くお詫び申し上げたい。

本報告書は、当初、平成 27 年度中に発行・発送を計画していた。しかしながら、当初予定になかった研究代表者の米国への 1 年間の長期研修のために報告書の発行が延期されてしまった。この点について関係者にお詫び申し上げる。また、本調査報告書の内容における不備については、全て著者である遠山の責任である。

平成 28 年 9 月 5 日

研究代表 遠山 茂樹
高知大学教育研究部人文社会科学系人文社会科学部門 教授

目次

第1章 調査概要

1. 1	調査の目的	1
1. 2	社会調査法の選択	1
1. 3	標本（サンプル）について	1
1. 4	調査体制	2
1. 5	調査実施報告	2
1. 6	回収結果について	2

第2章 回答者の人口統計的特性

2. 1	回答者の性別と年齢の構成	4
2. 2	居住について	5
2. 3	教育歴について	6
2. 4	職業などについて	7
2. 5	兄弟姉妹について	9
2. 6	配偶者について	10
2. 7	子どもについて	14

第3章 地元での付き合い

3. 1	親せき付き合い	17
3. 2	仕事関係の付き合い	17
3. 3	子どもを通じた付き合い	17
3. 4	地元や趣味の付き合い	18
3. 5	地元における活動への参加状況	18

第4章 親しい関係の社会ネットワーク

4. 1	「親密な関係の相手」とのつながり	20
4. 2	「親密な関係の相手」との関係性	21
4. 3	男女構成	21
4. 4	年代構成	22
4. 5	知り合ってから年数	23
4. 6	相手と会う頻度	23
4. 7	教育歴	25
4. 8	職業・職種	25
4. 9	付き合いのかたち	26

第5章 地元情報を尋ねる関係の社会ネットワーク

5. 1	「地元情報を尋ねる相手」とのつながり	28
5. 2	「地元情報を尋ねる相手」との関係性	29
5. 3	男女構成	29
5. 4	年代構成	30
5. 5	知り合ってから年数	31
5. 6	相手と会う頻度	31
5. 7	教育歴	33
5. 8	職業・職種	33
5. 9	付き合いのかたち	34

第6章	防災について相談する関係の社会ネットワーク	
6. 1	「防災の相談相手」とのつながり	36
6. 2	「防災の相談相手」との関係性	37
6. 3	男女構成	37
6. 4	年代構成	38
6. 5	知り合ってから年数	39
6. 6	相手と会う頻度	39
6. 7	教育歴	41
6. 8	職業・職種	41
6. 9	付き合いのかたち	42
第7章	防災・災害に対する意識や備えの状況	
7. 1	防災意識（自己評価）	44
7. 2	避難所の認識	44
7. 3	「避難勧告」の通知について	45
7. 4	避難訓練への参加状況	46
7. 5	区民集会への参加状況	46
7. 6	『避難カルテ』の作成について	47
7. 7	自然災害への準備活動について	47
第8章	普段のコミュニケーション状況	
8. 1	メディア機器の所有状況	51
8. 2	“ケータイ”・インターネット・サービスの利用状況	52
8. 3	PCインターネット・サービスの利用状況	53
8. 4	インターネットの利用について（全体）	55
8. 5	黒潮町ケーブルテレビについて	56
8. 6	新聞・雑誌の購読について	57
第9章	各種情報の入手経路	
9. 1	各種社会情報の入手経路	59
9. 2	地元情報の入手経路	61
9. 3	情報メディアの重要度	63
9. 4	メディア別の信頼度	65
	【付 録】	
資料1	「地域コミュニケーション調査 調査票」および単純集計	70

第1章 調査概要

1. 1 調査の目的

本調査研究の目的は、社会調査を通じて、急速なデジタル化が進展する郡部コミュニティにおける地域コミュニケーションの現状について、住民側と自治体・地域メディア側の両者の情報行動から解明しようとするものである。

最終的には地域コミュニケーションの実態を把握した上で、防災コミュニティ強化に向けた地域コミュニケーション・モデルの開発・提言を目指す。

今回の定量調査（調査票調査）では、住民の情報行動について、住民がどのような情報をどのようなメディアを通じて入手しているのか、また、住民自身がどのような情報をどのようなメディアで発信／再発信しているのか、について明らかにしようとしている。

なお、本調査は科学研究費補助事業（基盤研究C）「デジタル時代の防災コミュニティ強化に向けた地域コミュニケーション・モデルの開発」（課題番号：25330399）の一環として実施する社会調査である。

1. 2 社会調査法の選択

本調査は、黒潮町住民の全数調査ではなく、標本調査（サンプル調査）である。また、具体的社会調査法としては、訪問留置法を採択した。訪問留置法とは、社会調査員が対象者を訪問し、調査の目的などを説明した上で調査票への記入を依頼して、調査票を「留置き」し、後日、再び社会調査員が対象者を訪問し、記入済みの調査票を回収する社会調査方法のことである。直接、対象者を訪問することで、回収率の向上を目指した。

1. 3 標本（サンプル）について

本調査の対象は高知県幡多郡黒潮町の住民である。全数調査は費用的制約からも非現実的であるため、標本調査とした。本調査における調査対象者（標本：サンプル）は、黒潮町に住む20歳から79歳までの成人560人とした。数値の根拠は、標本の大きさを求める公式で求めた必要数は399に、回収率7割程度を想定した数である。

<必要な標本数を求める公式>

$$n = \frac{N}{\frac{(N-1)e^2}{1.96^2 P} + 1}$$

ただし、Nは母集団の大きさ

nは標本の大きさ

Pは母比率の予想値

eは信頼度95%での標本誤差の許容値

具体的な標本（サンプル）抽出は、調査責任者である遠山が黒潮町選挙管理委員会からの許可を得た上で、平成26年3月に選挙人名簿より「くじびきのような方法」（無作為抽出）で選んだ。具

体的には2段階抽出法により7地点（投票区）を選び、1地点から80人を選び、標本対象者名簿を作成した。

1. 4 調査体制

調査責任者（遠山）が、高知大学人文学部生11名を社会調査員としてリクルートした。実際には、社会調査員を6班に分けて、それぞれの担当区域において調査票の配布・回収を行った。

1. 5 調査実施報告

調査票配布には平成26年11月29日（土）～30日（日）の二日間をかけ、調査員11名を6つの班に分けた上で、自転車や徒歩、さらにレンタカー1台（山間部用）を利用して実施した。調査チーム全員は幡多青少年の家に一泊した。両日に不在であったお宅には玄関やポストへ調査票および不在連絡票を留置きした。

調査票回収は平成26年12月13日（土）～14日（日）の二日間に実施した。回収についても配布時同様に、調査員11名を6つの班に分けた上で、自転車や徒歩、さらにレンタカー（山間部用）を使用して実施した。調査チーム全員は幡多青少年の家に一泊した。両日に不在等で調査票を回収できなかった対象者には、返信用封筒を玄関やポストへ置いた。

調査員調査において住居の特定が困難であったり、連絡がつかなかったりした対象者については、後日、郵送による調査依頼（調査票の配布など）をしている。結果的には「訪問留置法」と「郵送法」との二つの方法による社会調査となった。

本調査に関する主な日程は以下の通りである。

日程	調査作業内容
平成25年09月19日（木）	黒潮町役場へ調査協力依頼（訪問）
平成26年03月05日（水）～07（金）	黒潮町選挙管理委員会にて標本（サンプル）
平成26年03月13日（木）～14（金）	抽出作業
平成26年11月11日（火）	協力依頼はがき発送
平成26年11月29日（土）～30（日）	黒潮町現地調査（調査票の配布）
平成26年12月13日（土）～14（日）	黒潮町現地調査（調査票の回収）
平成26年12月17日（水）	追加調査（調査票の郵送作業）
平成27年01月15日（木）	調査票返送締切日

1. 6 回収結果について

標本名簿の560人に対し、平成26年11月に調査協力依頼のはがきを郵送し、住所不明で7通が返送されたため、実際の調査対象標本数は553となった。

平成26年11月末の現地調査（調査票配布）において、諸事情（当人死亡や転居など）で配布不可能な対象者が29人いた。社会調査員の訪問により調査票を配布できたのは407人であった。住所から住居を見つけられなかったなど、調査票を配布できなかった117人については郵送調査に切り替え、後日、調査票および返送用封筒を郵送した。

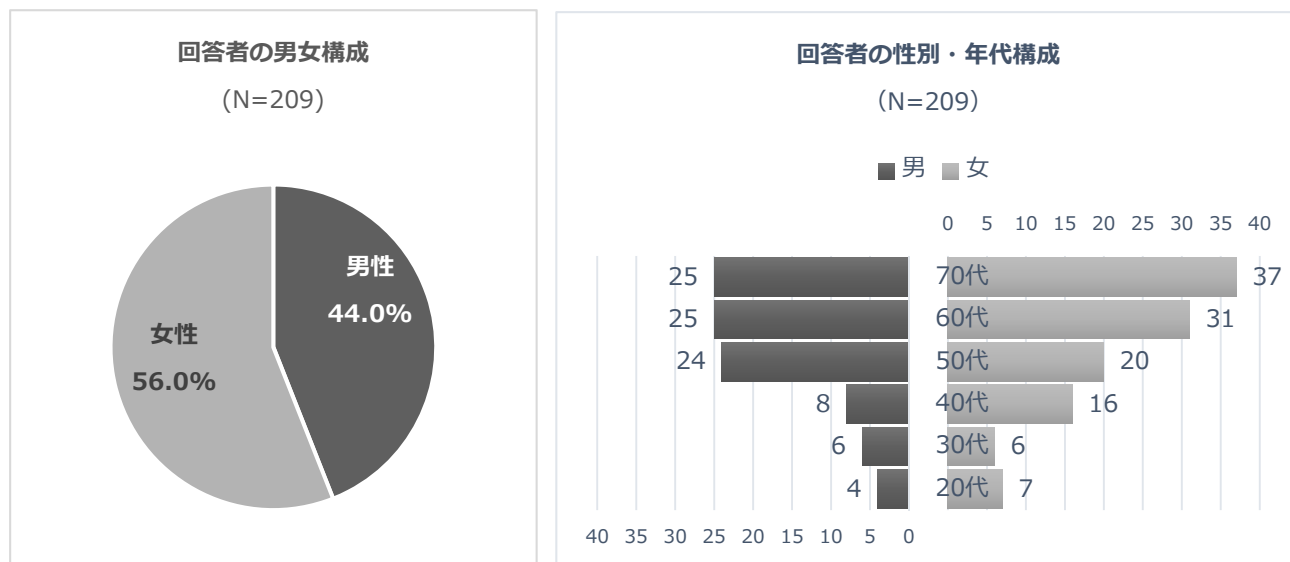
平成26年12月の現地調査における社会調査員による調査票回収と、郵送による調査票返信の合

計が 212 通で、回収率は 37.9% (=212/560) であった。調査票をデータにコーディングする過程においてデータクリーニングをし、最終的な有効回答数は 209 で、有効回答率は 37.3%(=209/560)であった。

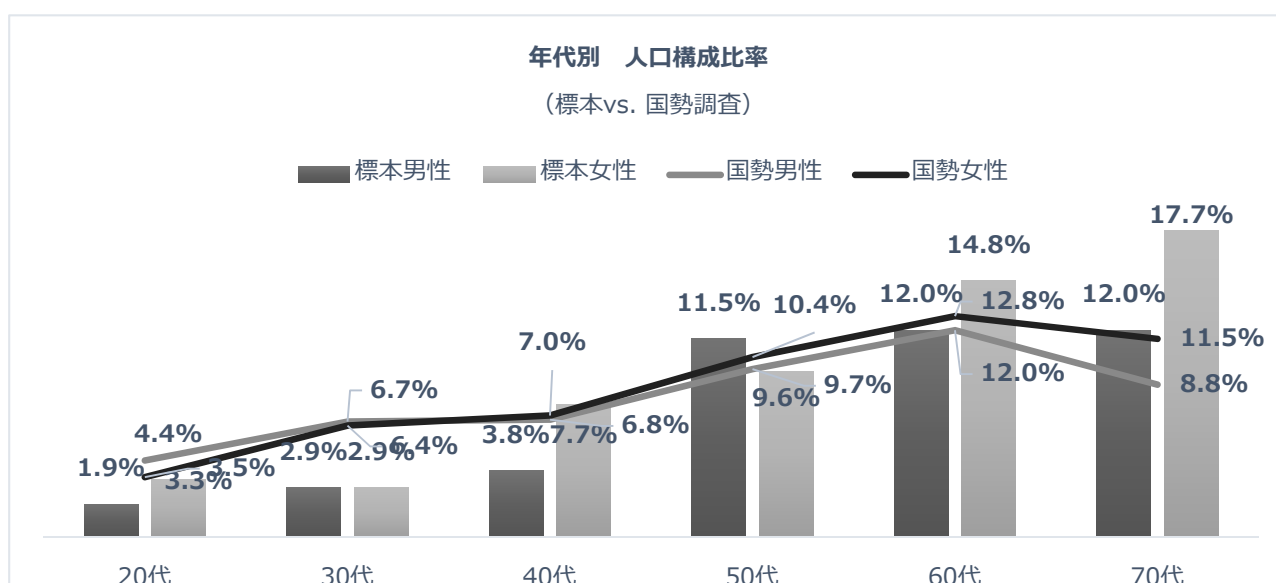
第2章 回答者の人口統計的特性

2.1 回答者の性別と年齢の構成

有効回答数 209 人の男女構成は、男性 92 人 (44.0%)、女性 117 人 (56.0%) であった。年代構成については、20 代が 11 人 (5.3%)、30 代が 12 人 (5.7%)、40 代が 24 人 (11.5%)、50 代が 44 人 (21.1%)、60 代が 56 人 (26.8%)、70 代が 62 人 (29.7%) であった。性別と年代で整理したのが下図である。



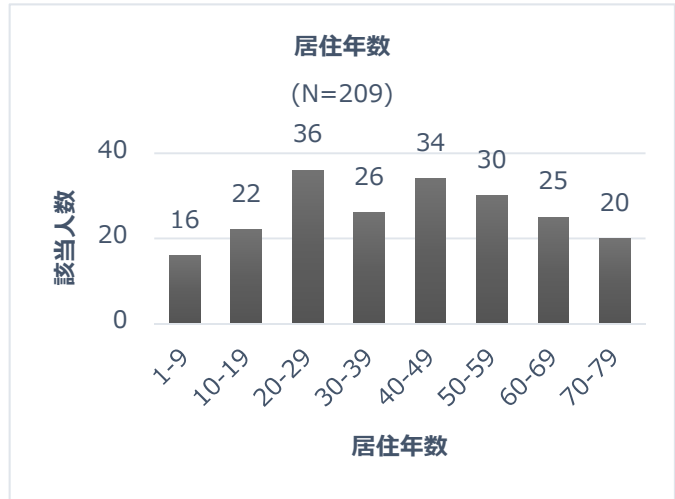
本調査における回答者の構成を、平成 22 年国勢調査における黒潮町の人口構成と比較したのが下図である。国勢調査から本調査が対象とした 20 歳以上 79 歳以下の人口を抽出すると、その男女構成は男性 48.4%、女性 51.6% で、2 つの差はほぼない。しかしながら、年代構成を加えると状況は大きく変わり、20 代～40 代については本調査回答者のほうが国勢調査結果よりも少ない構成であり、一方で 60 代～70 代は本調査回答者の構成のほうが国勢調査結果よりも多い結果となった。つまり、本調査回答者の人口構成は、国勢調査と比較して、若年層が少なく高齢層が多い構成となっている。



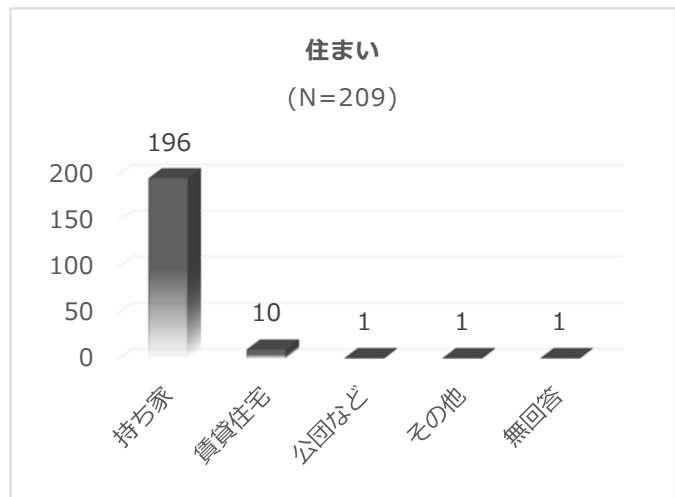
2. 2 居住について

回答者の居住に関して、現在の町にどれほど住んでいるか（居住歴）や、持ち家や賃貸住宅などの居住形態について質問している。

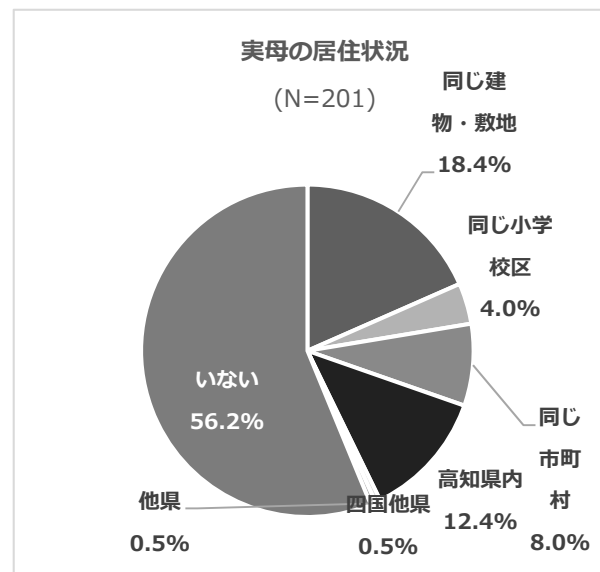
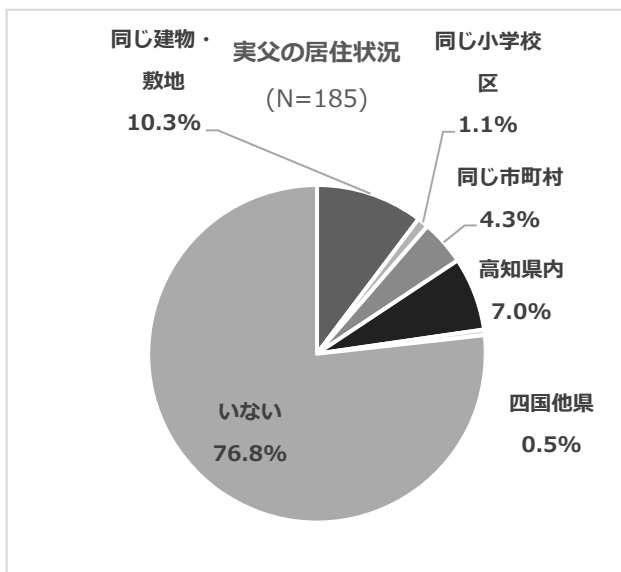
現在住んでいる町での居住歴を質問している。現在の町の居住平均年数は 39.7 年（SD=20.90）で、最短で 1 年、最長で 79 年であった。



住まいの形態は、「持ち家」が 196 人（93.8%）、「賃貸住宅」が 10 人（4.8%）、「公団など」が 1 人（0.5%）、「その他」が 1 人（0.5%）、未回答が 1 人（0.5%）であった。回答者のほとんどが持ち家であることがわかる。



調査票では、両親の居住についても質問している。実父と同居している人が約 1 割程度で、同じ黒潮町内となると合計で 15%程度であった。回答者に高齢層が多いためか、現在は「いない」との回答が 7 割以上を占めた。一方の実母と同居している人が 2 割弱おり、同じ黒潮町内となると合計で 3 割まで増えている。

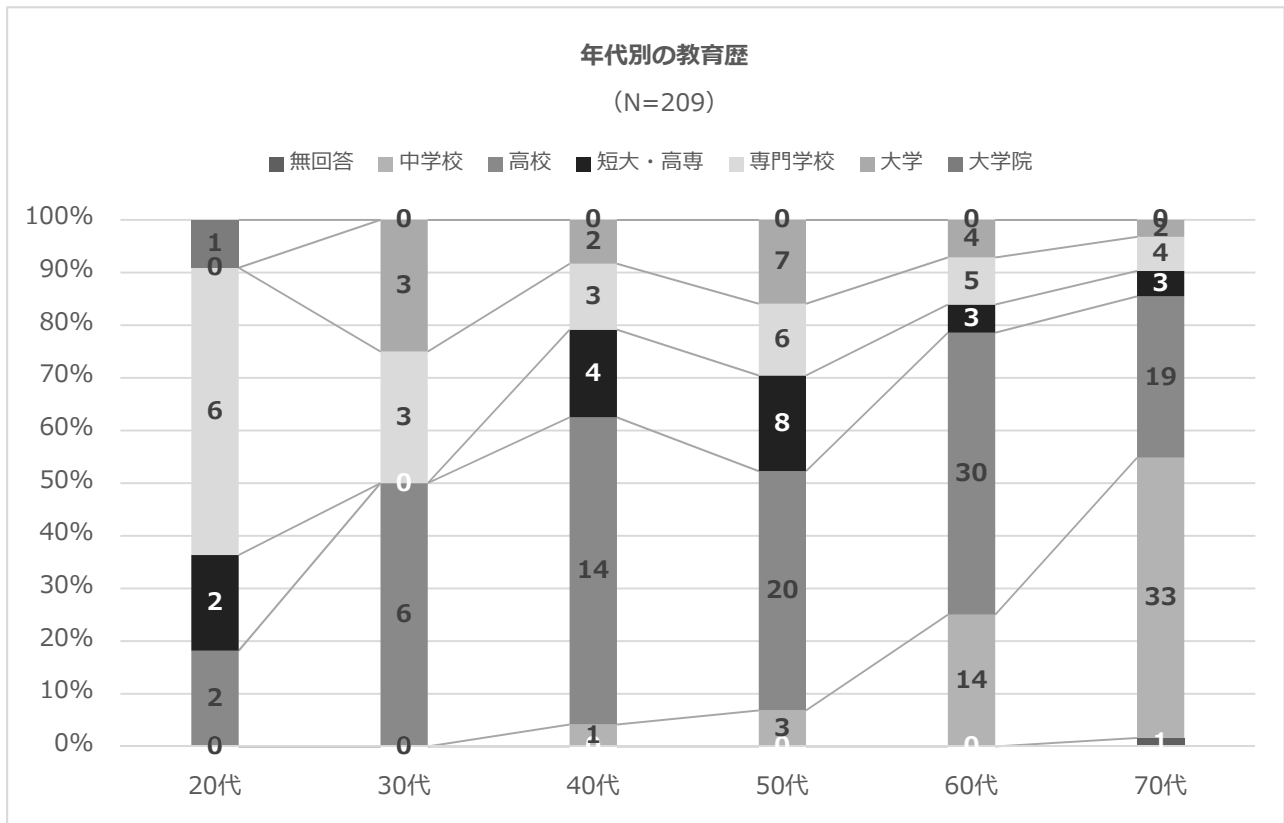
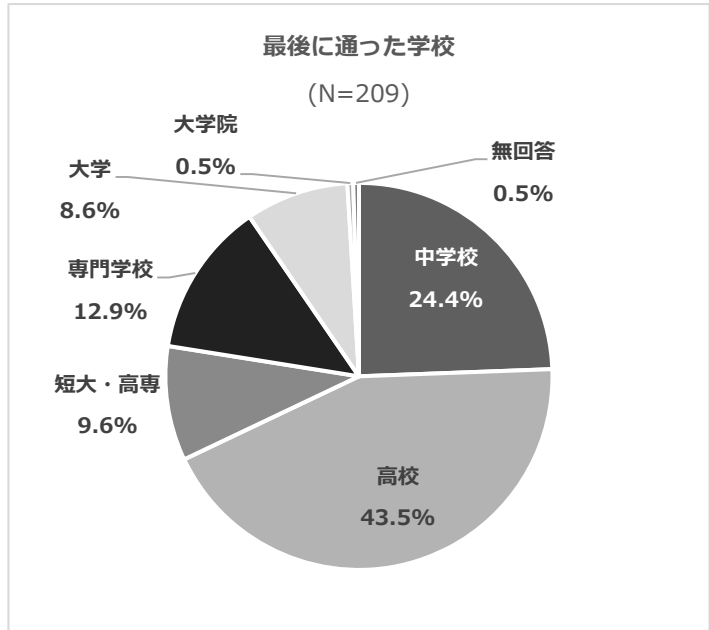


2.3 教育歴について

回答者が最後に通った学校について質問している。集計結果は図の通り。

最も多かったのが「高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）」の 91 人（43.5%）で、次に「中学校（旧制小学校）」の 51 人（24.4%）が続く。

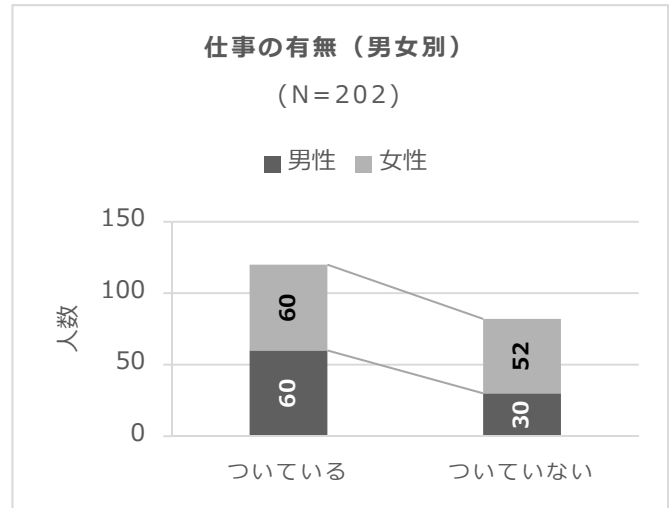
教育歴を年代別に整理したのが下図である。最も多かった高校は、30 代以上は同じ程度の構成比率であった。中学校については 60 代・70 代に多いことがわかる。



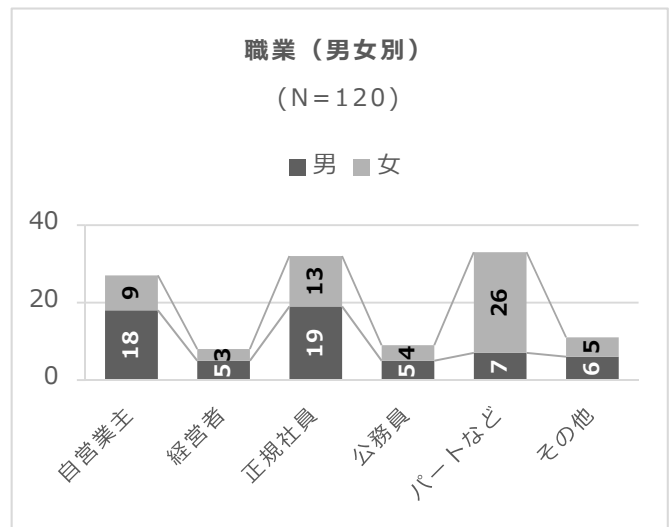
2. 4 職業などについて

回答者に仕事に関していくつか質問をしている。

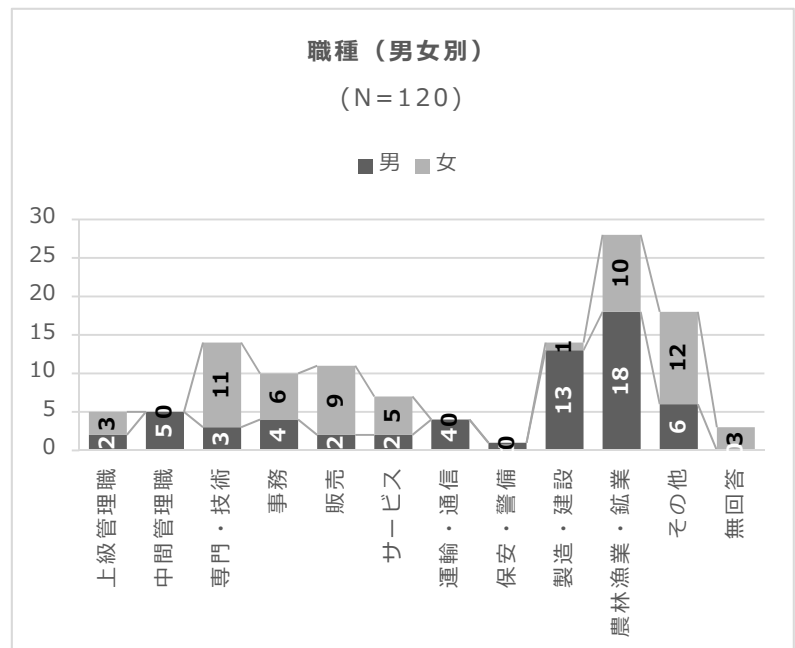
調査時に何らかの仕事に就いているか否かを質問した。「仕事に就いている」との回答が120(57.4%)、「仕事に就いていない」が82人(39.2%)、無回答が7人(3.3%)であった。仕事の有無を男女別に整理したのが右図である。仕事に就いている人数は男女同数であったが、仕事に就いていない人数は女性が多く、専業主婦などが多いことが推測された。



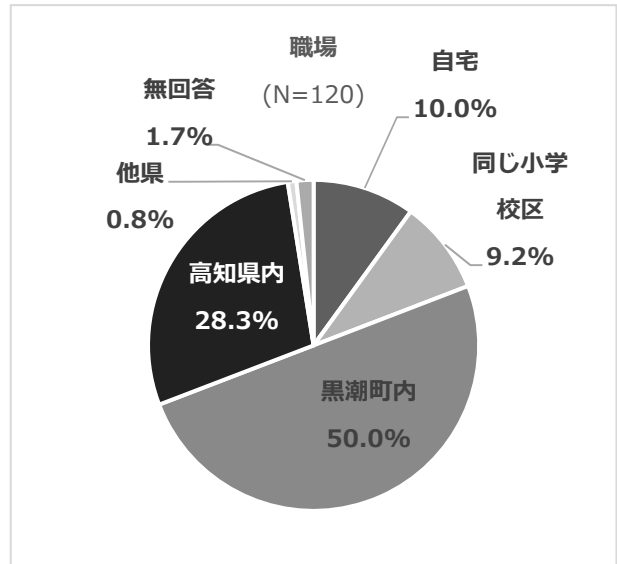
次に、仕事に就いている120人に、現在の職業について質問している。職業の比率としては、「パートなど」の非正規雇用が最も多く、次に「正規社員」、「自営業主」と続く。男性では「自営業主」や「正規社員」が多く、「パートなど」は女性が圧倒的に占めている。



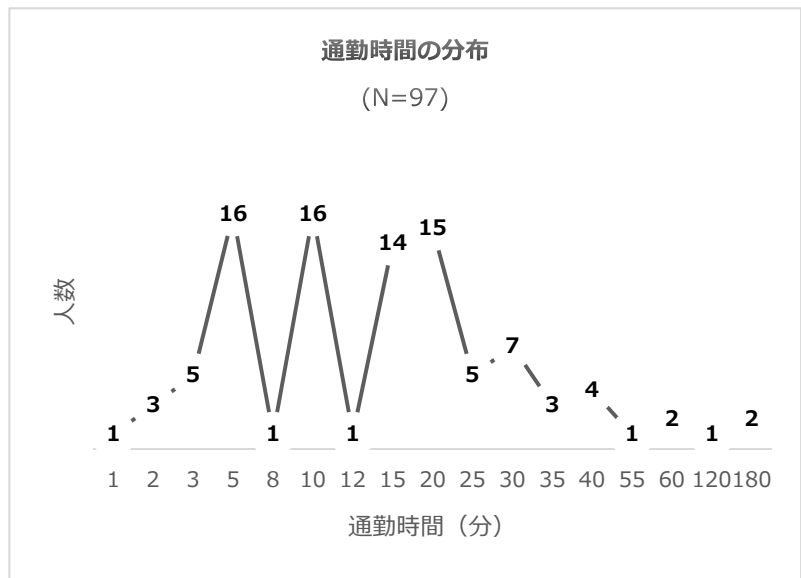
職種についても質問している。最も多かったのは「農林漁業・鉱業」(28人)で、「その他」(18人)が続いた。「その他」には介護職が多く含まれていた。そして、「専門・技術」(14人)と「製造・建設」(14人)が同数で並ぶ。「農林漁業・鉱業」「製造・建設」では男性が多く、「中間管理職」「運輸・通信」「保安・警備」は男性のみであった。「専門・技術」「販売」「その他」については圧倒的に女性が多かった。



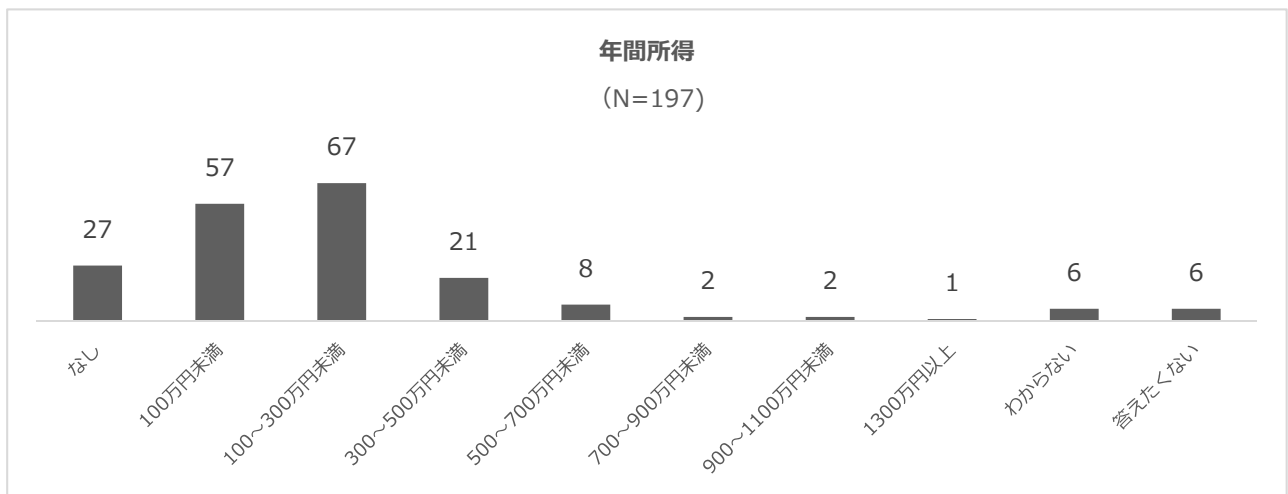
職場について質問している。自宅が1割で、同じ小学校区内も約1割と、比較的近距离の職場が2割程度を占めている。黒潮町内は5割で、約7割が町内で働いていることになる。約3割弱が町外で高知県内の職場であった。



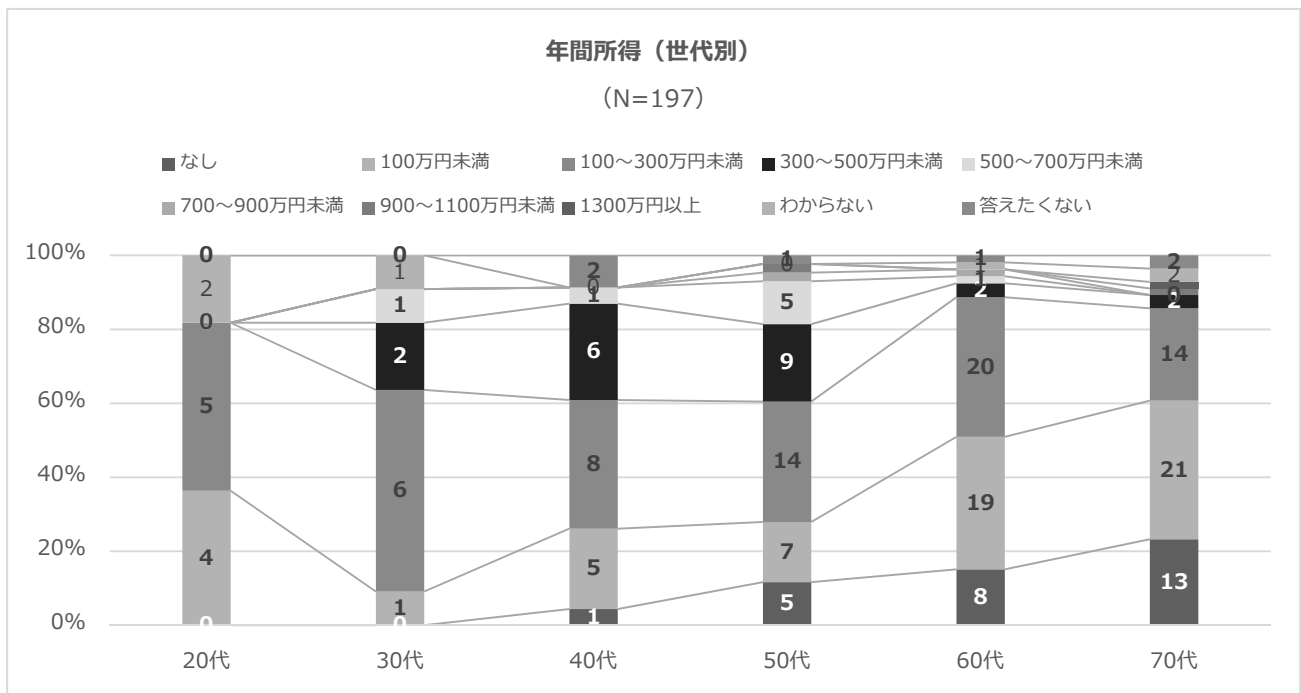
通勤時間は、平均時間で 21.1 分 (SD=28.35)、最短は1分で、最長は3時間 (180分) であった。1/4は5分以内で、半分の15分以内で、3/4が25分以内の通勤時間であった。1時間以上は5人 (5.2%) で少数であった。



年間所得については、「100～300万円未満」が最も多く、次に「100万円未満」、「300～500万円未満」が続く。



年間所得を年代別に整理したのが下図である。20代と60代・70代に「100万円未満」の層が多い。20代は学生なども含まれるのが原因であると推測される。また、50代以上で所得「なし」の回答が増加しているが、恐らく農家などで現金収入がないと推測される。

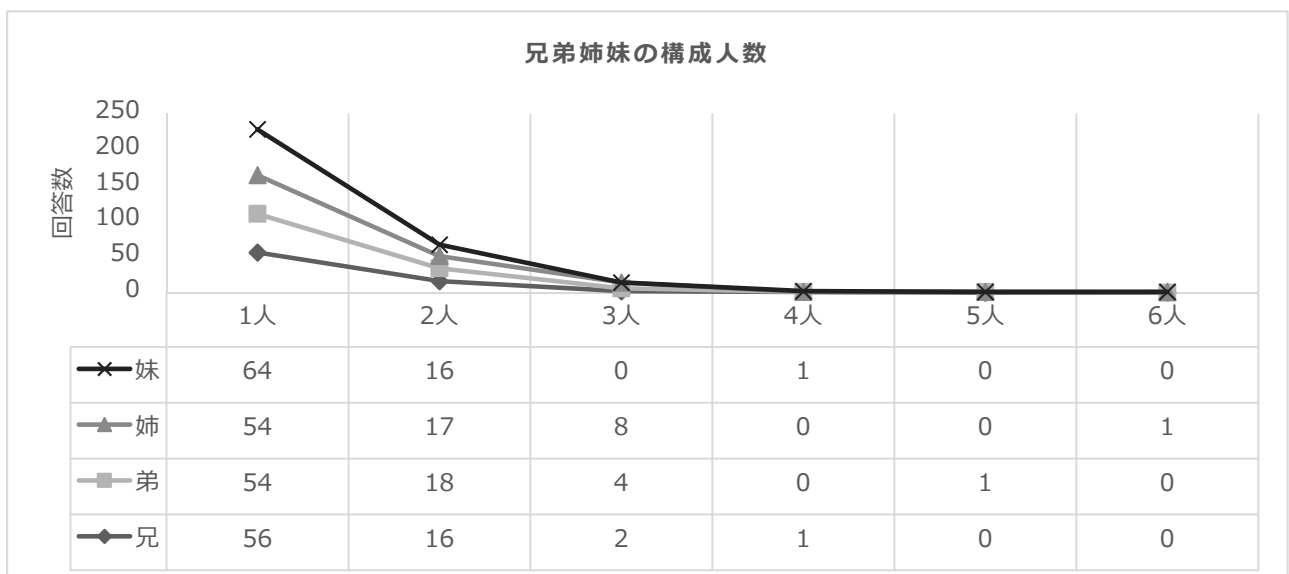


2. 5 兄弟姉妹について

調査票では、兄弟姉妹について質問している。

兄がいると答えたのは75人で、兄の平均人数は1.3人（SD=0.59）で、最大4人、最小で1人であった（N=75）。弟がいると答えたのは77人で、弟の平均人数は1.4人（SD=0.71）で、最大5人、最小で1人であった（N=77）。

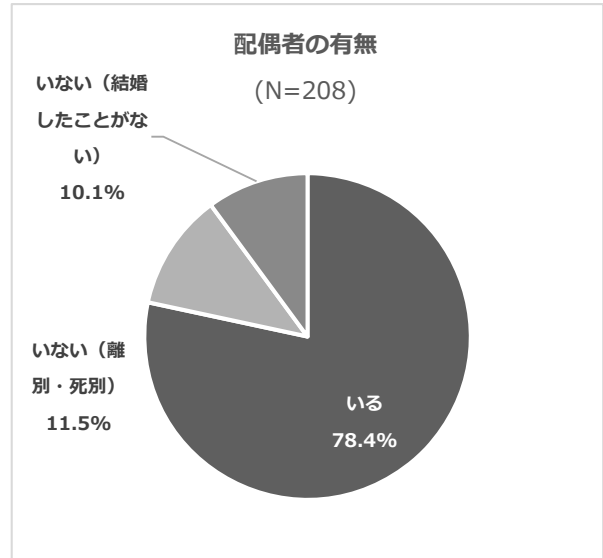
姉がいると答えたのは80人で、姉の平均人数は1.5人（SD=0.84）で、最大6人、最小で1人であった（N=80）。妹がいると答えたのは81人で、妹の平均人数は1.2人（SD=0.51）で、最大4人、最小で1人であった（N=81）。



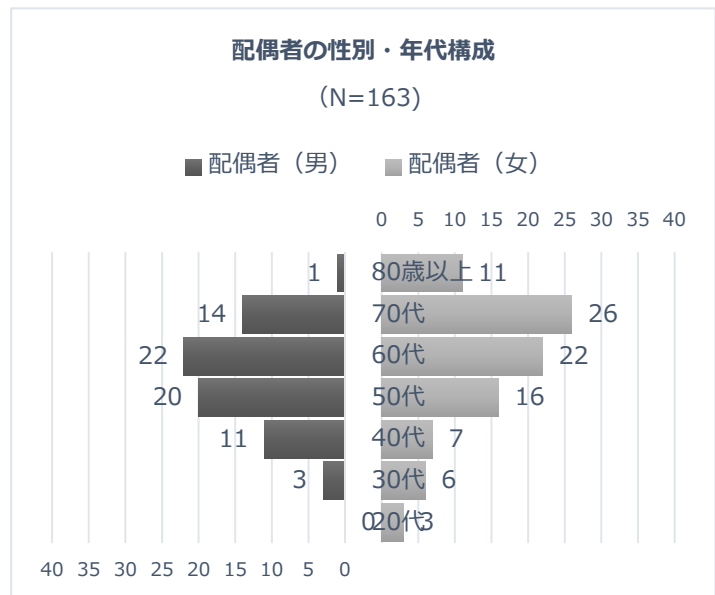
2. 6 配偶者について

回答者の配偶者の有無について質問している。さらに、配偶者がいる場合、その年齢、教育歴、居住について、仕事について、年間所得、義兄弟姉妹について質問している。

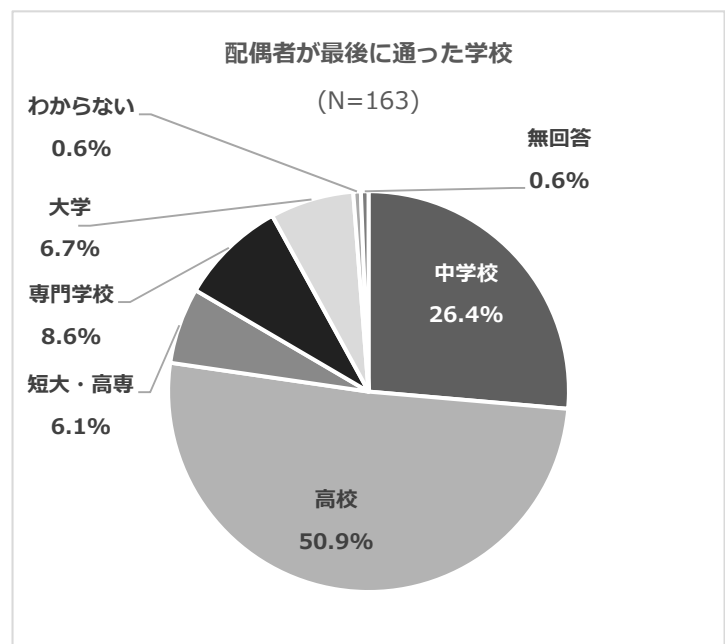
調査時に配偶者がいると答えたのは 163 人 (78.4%) であった。



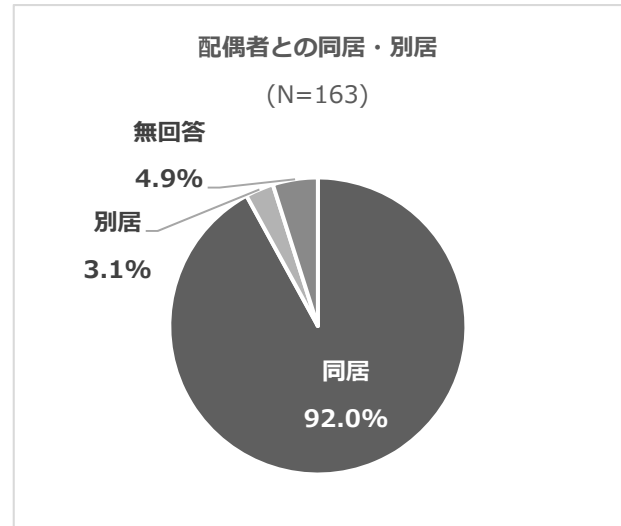
配偶者 (163 人) の性別と年代の内訳は、右図の通りである。平均年齢は 66.5 歳 (SD=66.07) であった。最年少は 26 歳、最年長は 92 歳であった。



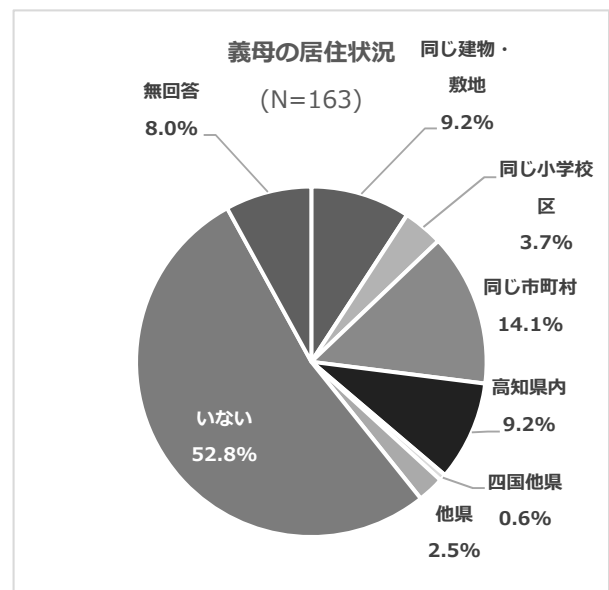
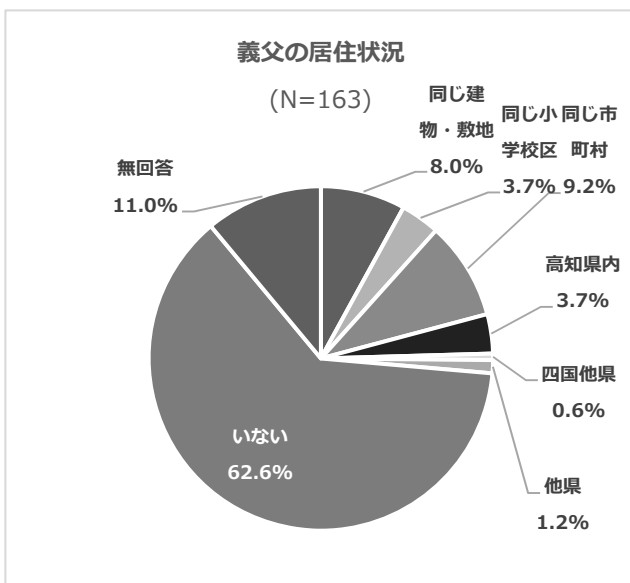
配偶者の教育歴を見ると、過半数が高校まで通っている (83 人、50.9%)。高校卒業以降の進学した人は 35 人 (21.5%) であった。



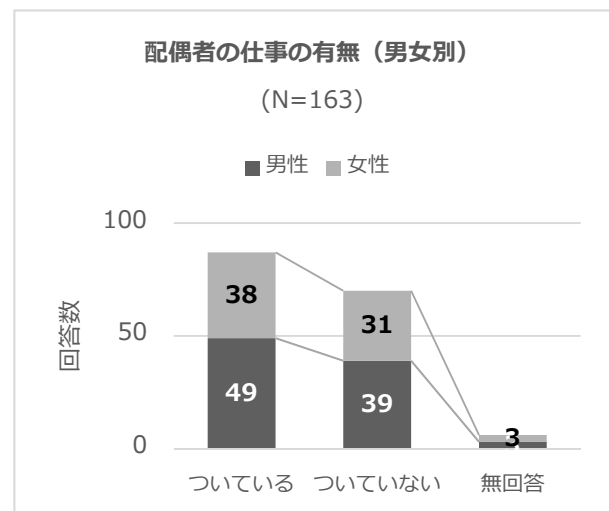
配偶者の住まいの状況については、同居が 92.0% で圧倒的であった。



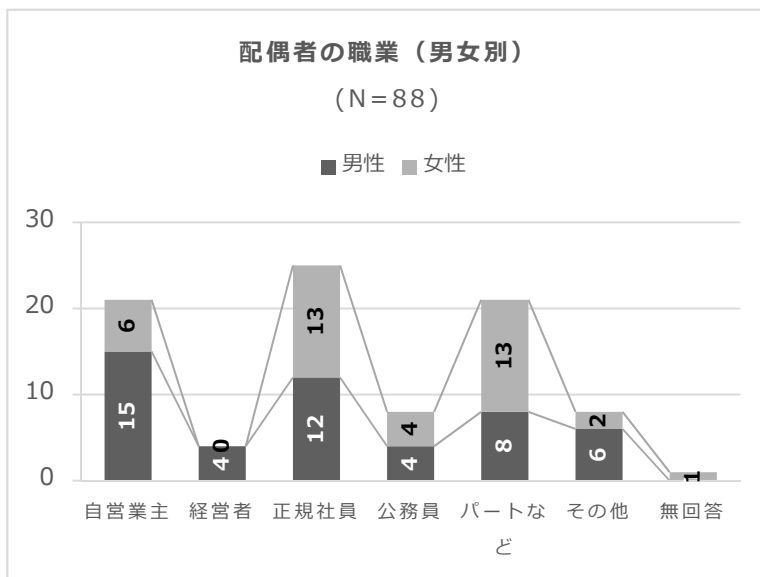
配偶者の父母との同居・別居の状況については右図の通りであった。配偶者の年齢のせい、過半数の義父・義母は亡くなられていた。義父母との同居は1割未満であった（義父と同居13人、8.0%、義母と同居15人、9.2%）。同じ町内に住んでいるのは、義父の場合21人（12.9%）で、義母の場合29人（17.8%）であり、同居も含めると23.9%が町内に住んでいることになる。



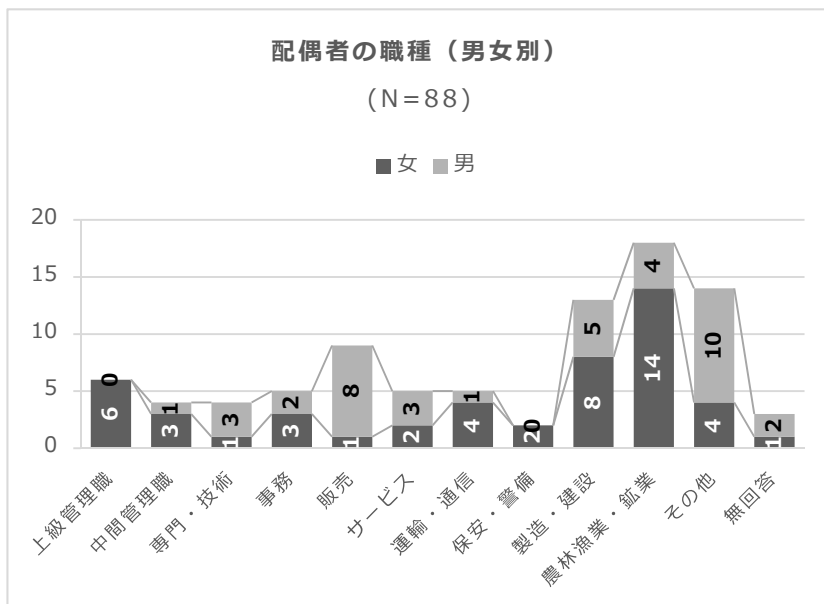
配偶者の仕事の有無については、87人（53.4%）が仕事に就いていると答えていて、70人（42.9%）が仕事に就いていないと答えている。男女ともに仕事に就いている比率のほうが高いのがわかる。



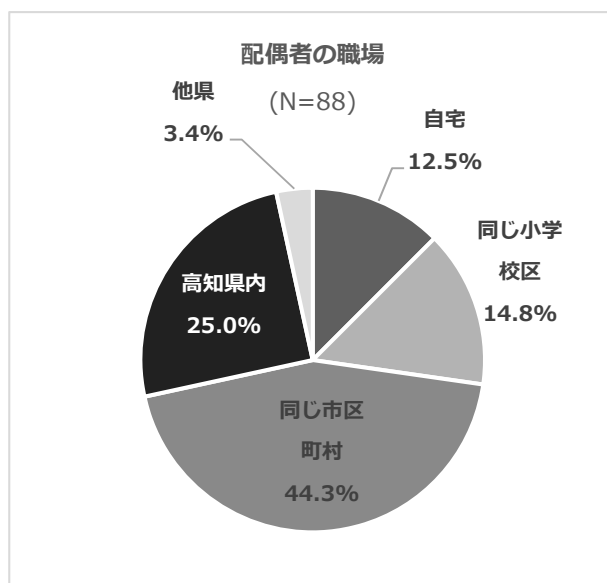
配偶者の職業については右図の通りである。正規社員が最も多く25人(28.4%)で、男女差はほとんどなかった。次に多かったのが自営業主とパートなどの非正規雇用の21人(23.9%)で、前者は男性が多く、後者は女性が多い構成であった。



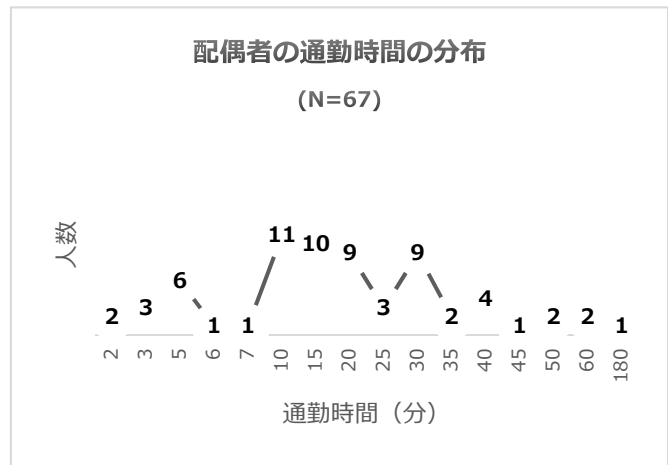
配偶者の職種については右図の通りである。最も多い職種は「農林漁業・鉱業」の18人(20.5%)で、その多くが男性であった。次に多かったのが「その他」の14人(15.9%)、その次が13人(14.8%)であった。



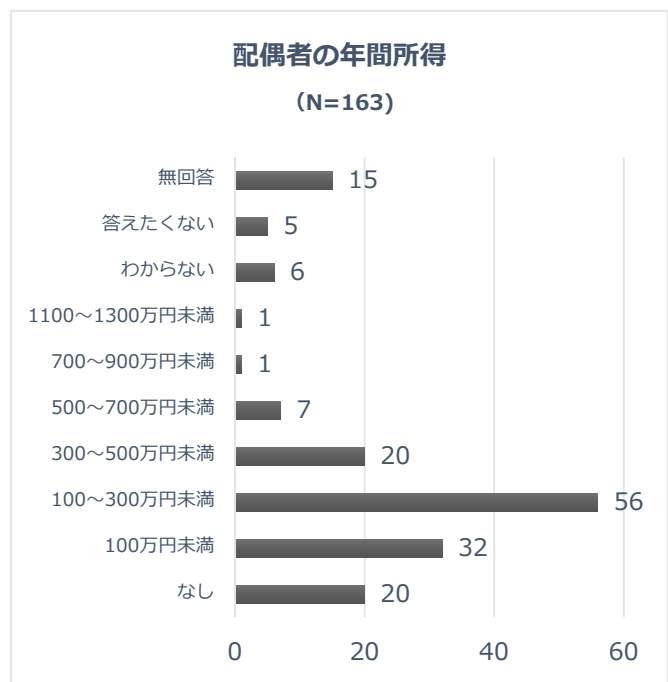
配偶者の職場について集計したものが右図である。自宅を含めた同町内に勤務している割合が7割(71.6%)を超えている。



配偶者の平均通勤時間は22.6分（SD=24.11）で、最短が2分、最長で3時間（180分）であった。



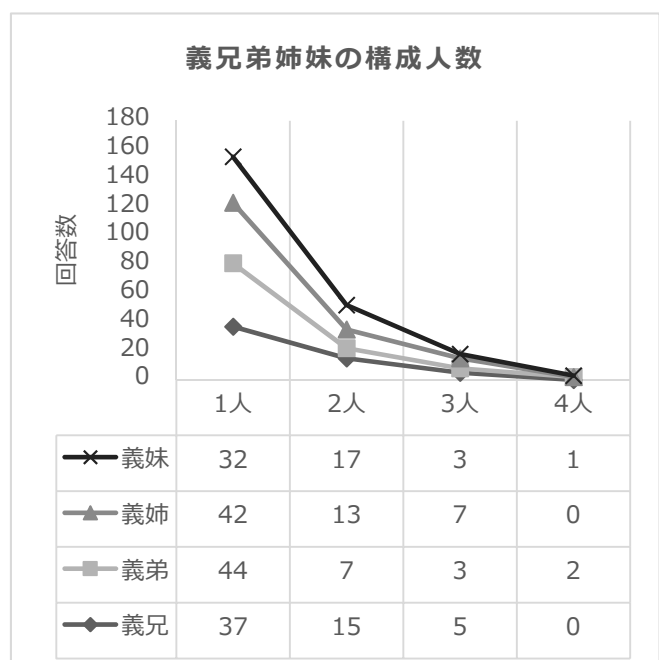
配偶者の年間所得についての集計は右図の通りである。最も多かったのが「100～300万円未満」の56人（26.8%）で、「100万円未満」が32人（15.3%）、所得「なし」の20人（9.6%）が続く。



配偶者の兄弟姉妹（つまり、義理の兄弟姉妹）についても質問している。調査時における義理の兄弟姉妹の集計値は右図の通りである。

義兄がいると答えたのは57人で、義兄の平均人数は1.4人（SD=0.66）で、最大3人、最小で1人であった（N=57）。義弟がいると答えたのは56人で、義弟の平均人数は1.3人（SD=0.75）で、最大4人、最小で1人であった（N=56）。

義姉がいると答えたのは62人で、義姉の平均人数は1.5人（SD=0.69）で、最大3人、最小で1人であった（N=62）。義妹がいると答えたのは53人で、義妹の平均人数は1.5人（SD=0.70）で、最大4人、最小で1人であった（N=53）。

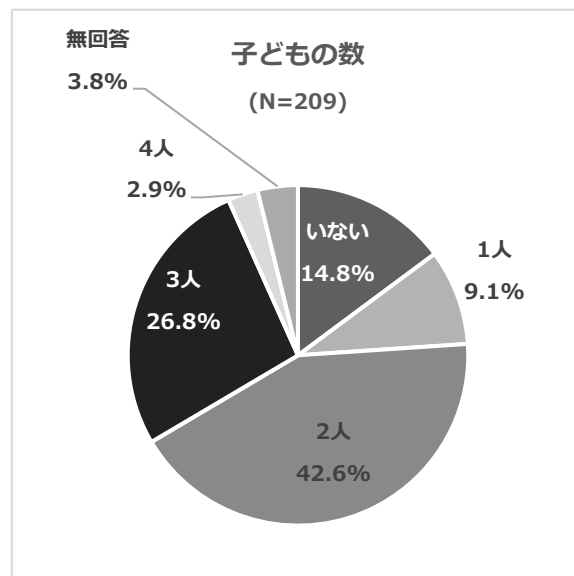


2. 7 子どもについて

回答者の子どもについて質問している。

子どもが「いない」と回答した人は31人(14.8%)、「1人」と答えたのが19人(9.1%)、「2人」は89人(42.6%)、「3人」は56人(26.8%)、「4人」は6人(2.9%)、「無回答」は8人(3.8%)であった。

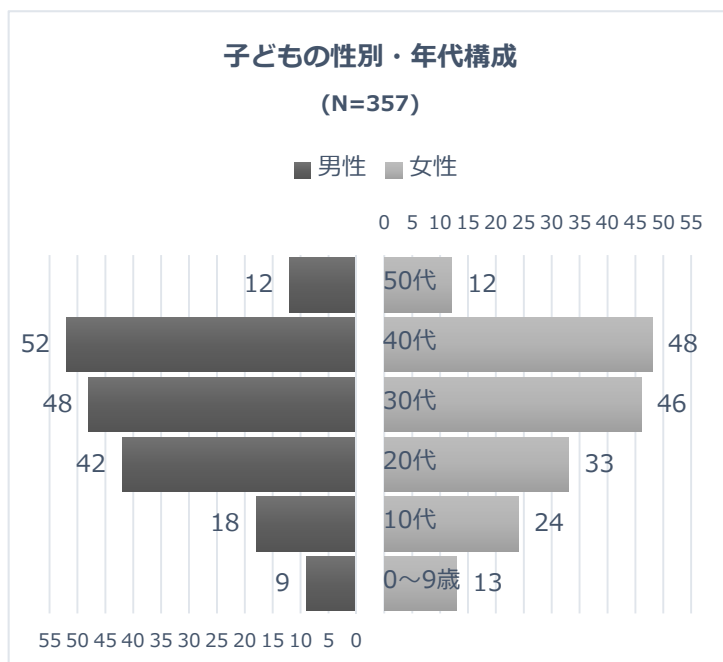
子どもがいると答えた回答者の子どもの平均人数は2.3人(SD=.71)であった。



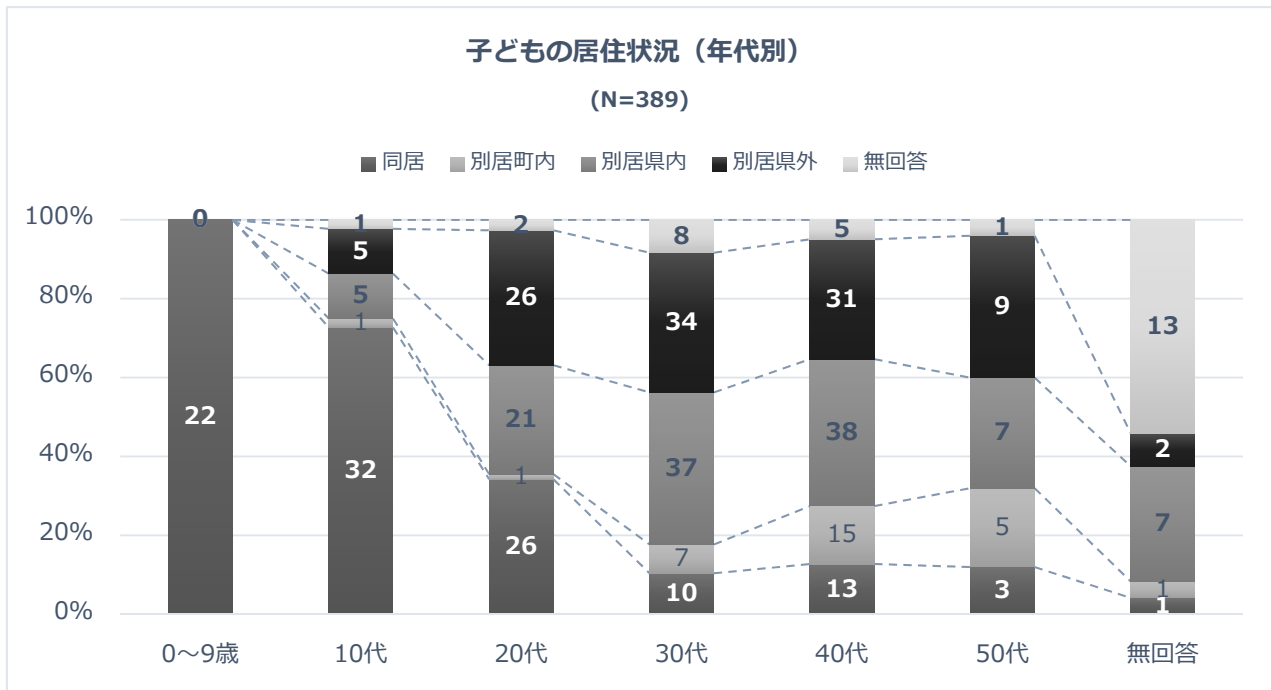
回答者の子どもの男女比構成比は、男子181人(50.7%)、女子176人(49.3%)と、ほぼ同数であった。

回答者の子どもの平均年齢は32.1歳(SD=12.80)で、最年少は0歳、最年長は57歳であった。

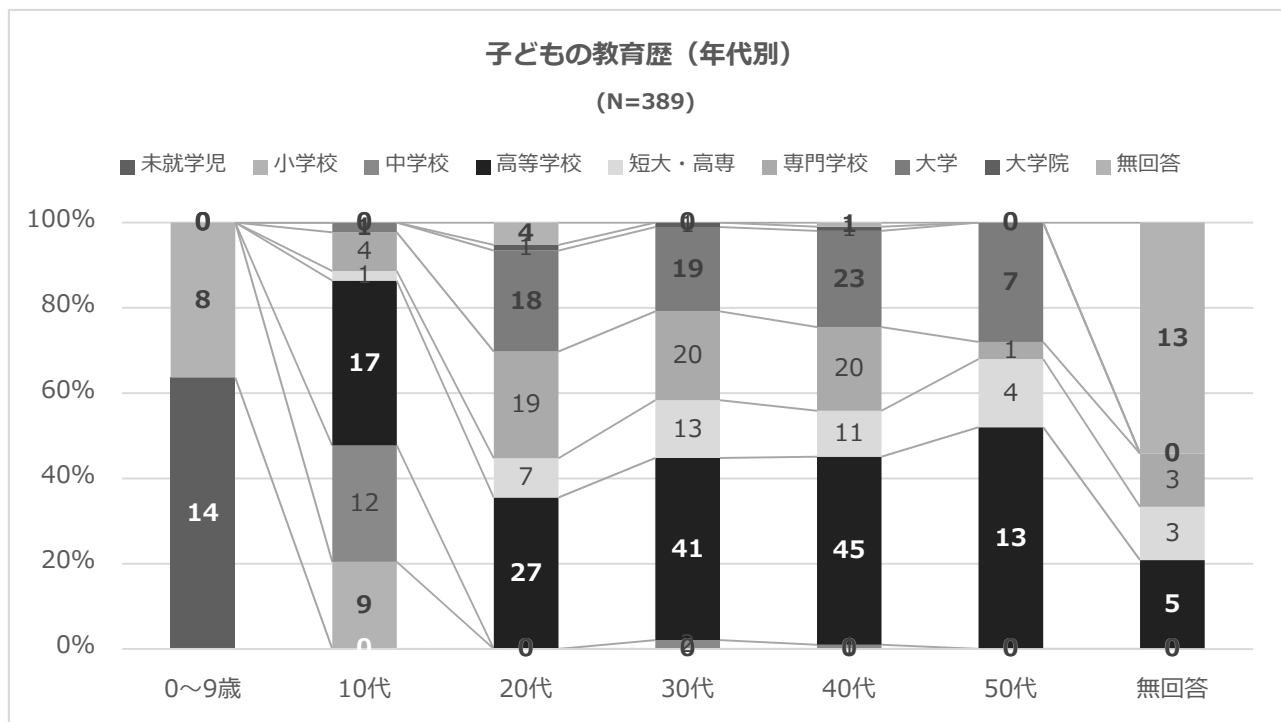
回答者の子どもの年代別では、40代が最も多く、次に30代、20代と続いているのがわかる。



回答者の子どもの居住状況についても質問している。子どもとの同居率は10代までは非常に高く、20代以降は別居率が高くなっていく。子どもが別居していて同町内に住んでいる比率は低いですが、同居も含めた高知県内の在住は6割程度いるのがわかる。

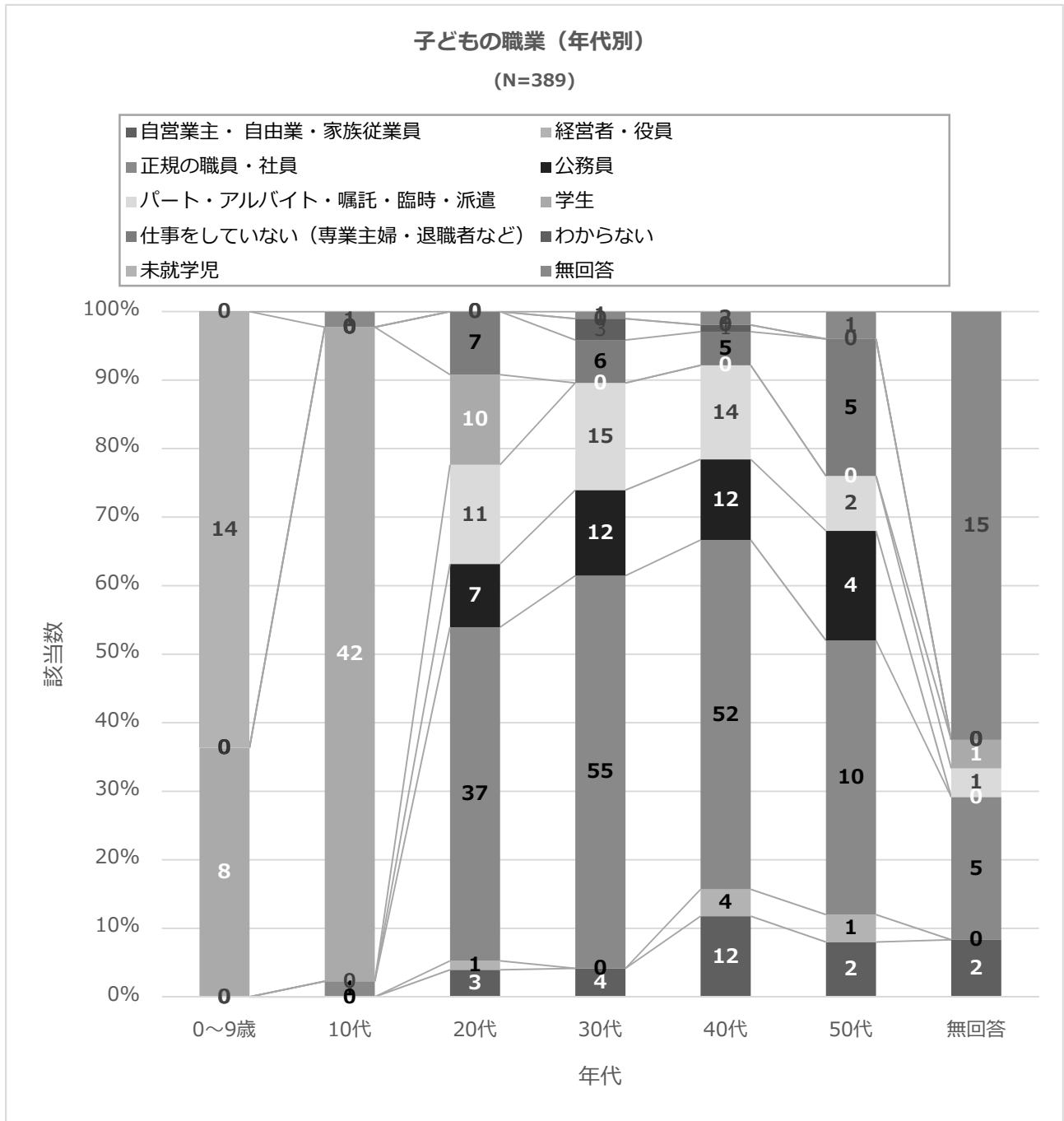


子どもの教育歴（最後に通った学校）についても質問している。10代までは調査時にも「現役」として学校に通っていると推定される。20代以上の世代においては「大学」進学者が共通して2割程度存在しているのがわかる。



回答者の子どもの職業についても質問している。

当然、10代までは学生などの身分のため、ほとんど全員仕事をしていない。20代以上でも一定の人数が「仕事をしていない」に該当するため、専業主婦が一定割合存在していると推測される。20代以上では正規雇用が最も多いことがわかる。40代では自営業も多いことがわかる。

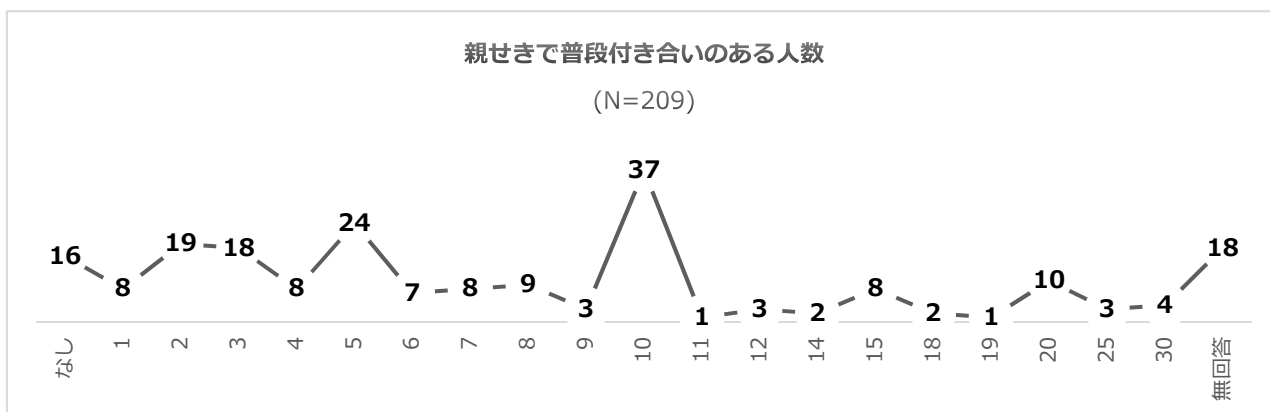


第3章 地元での付き合い

調査票では、日ごろから親しく付き合っている人たちについて質問している。

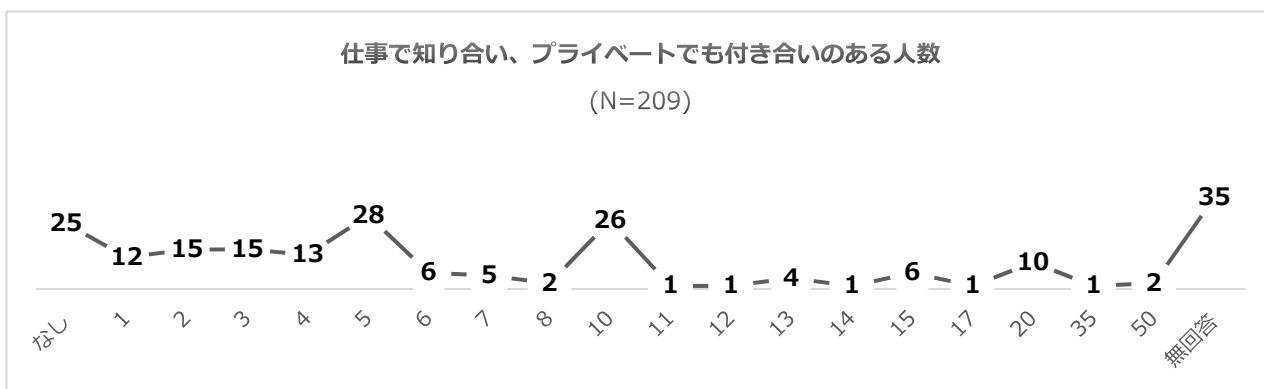
3. 1 親せき付き合い

回答者自身の家族（配偶者、子ども、両親、兄弟姉妹）以外で、日常的に交流のある親せきの平均人数は7.7人（SD=6.55）であった。最小人数はゼロで、最大人数は30人であった。



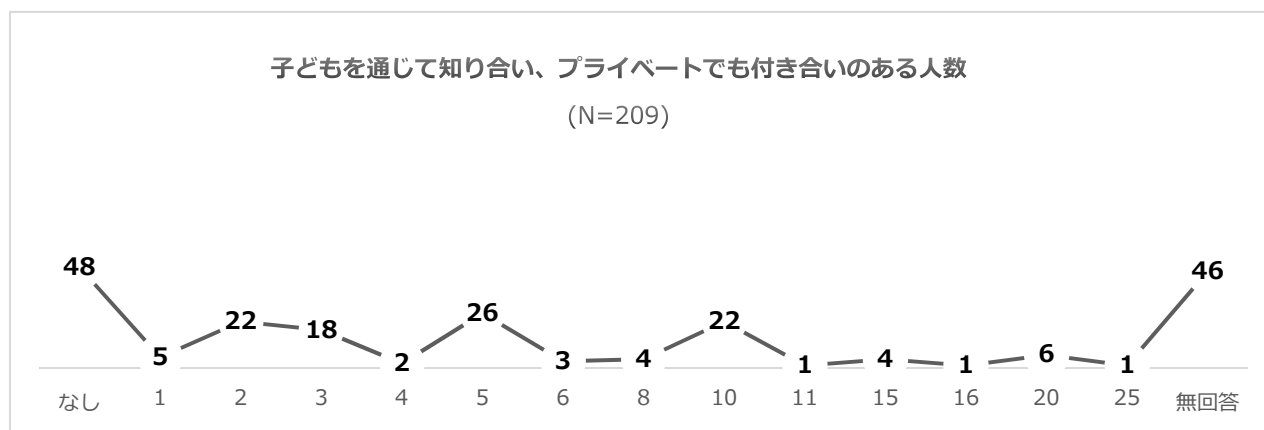
3. 2 仕事関係の付き合い

回答者が仕事関係で知り合い、プライベートでも親しくしている人たちの平均人数は6.7人（SD=7.45）であった。最小人数はゼロで、最大人数は50人であった。



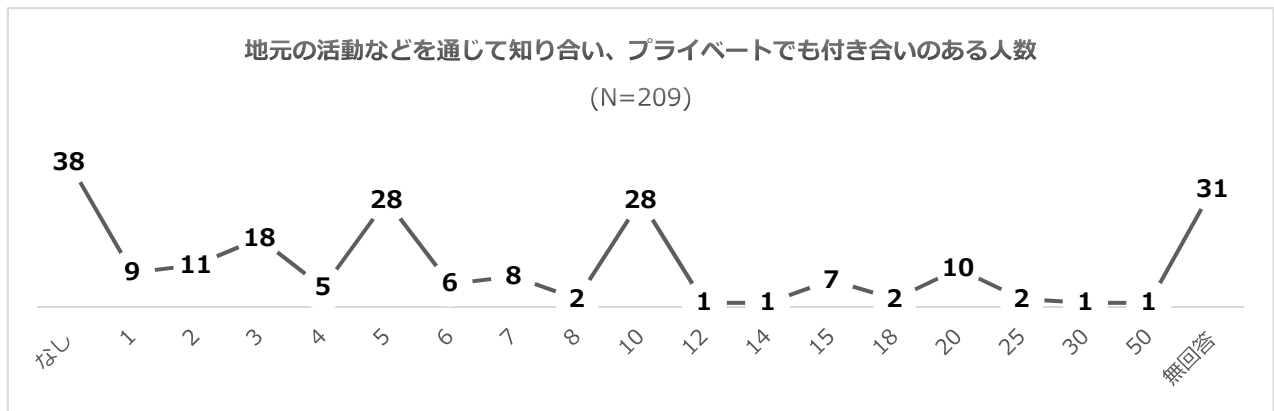
3. 3 子どもを通じた付き合い

回答者の子どもを通じて知り合い、プライベートでも親しくしている人たちの平均人数は4.6人（SD=5.22）であった。最小人数はゼロで、最大人数は25人であった。



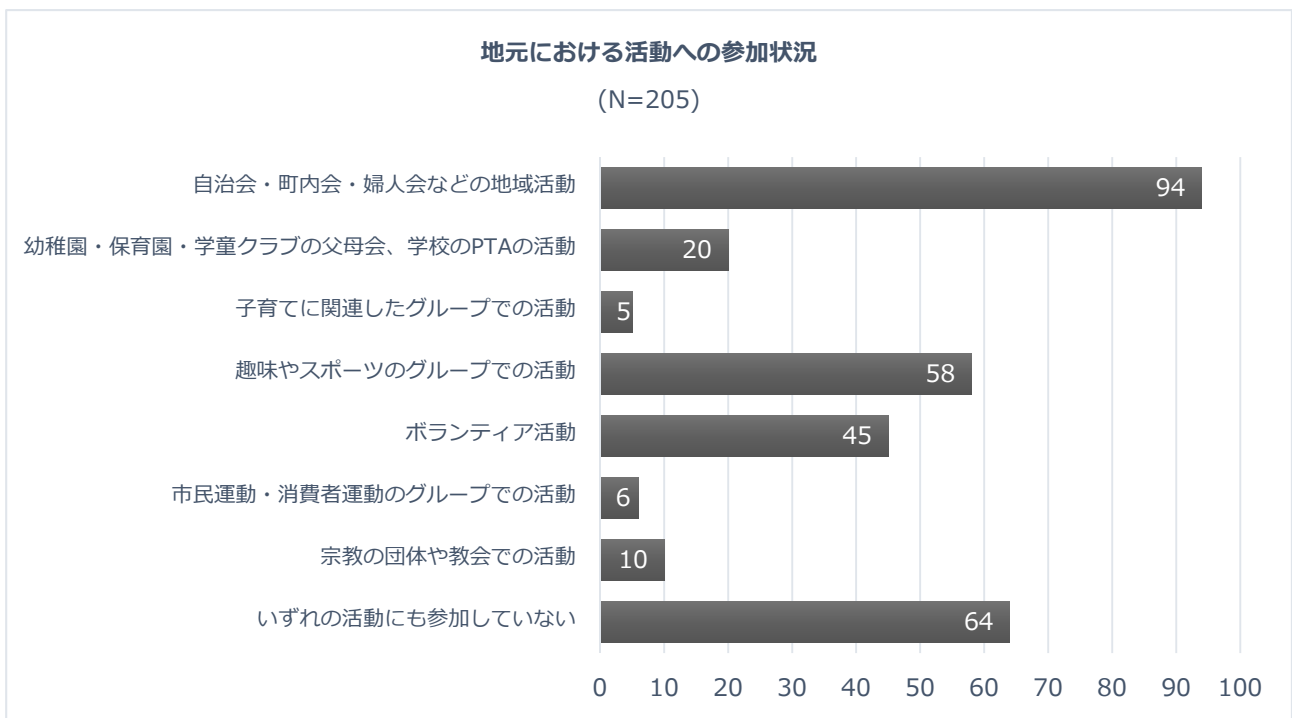
3. 4 地元や趣味の付き合い

回答者の地元の活動や共通の趣味などを通じて知り合い、プライベートでも親しくしている人たちの平均人数は6.4人（SD=6.96）であった。最小人数はゼロで、最大人数は50人であった。

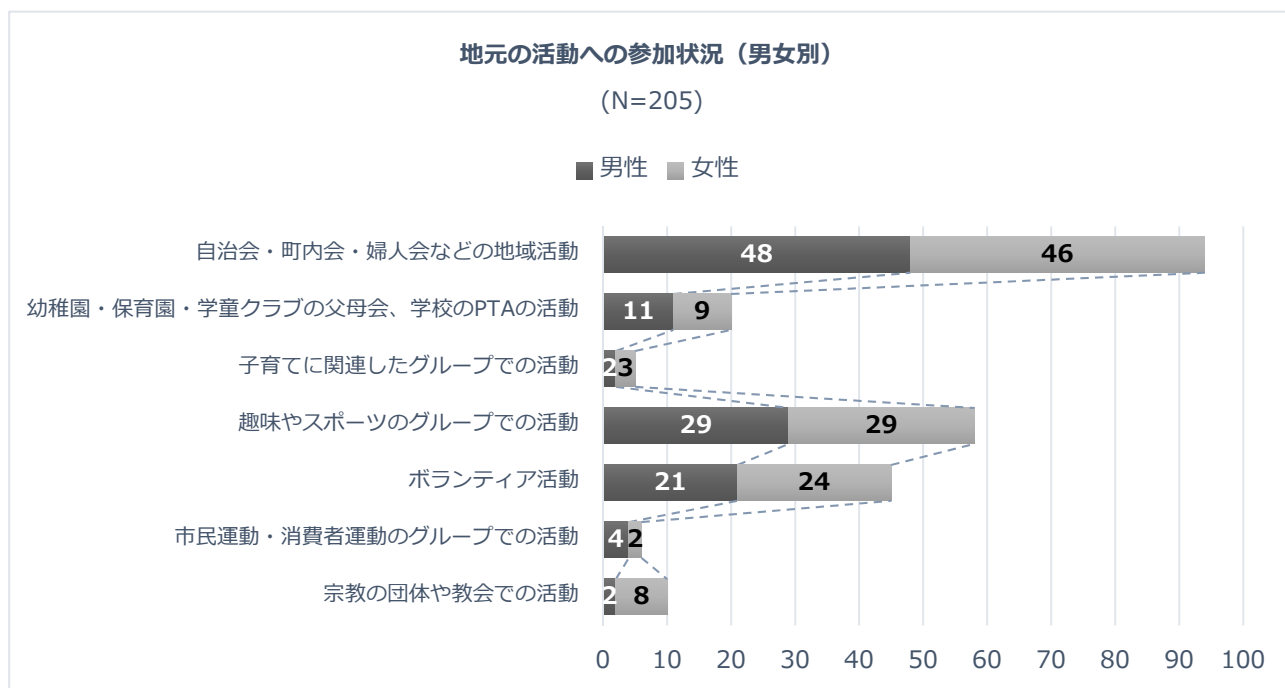


3. 5 地元における活動への参加状況

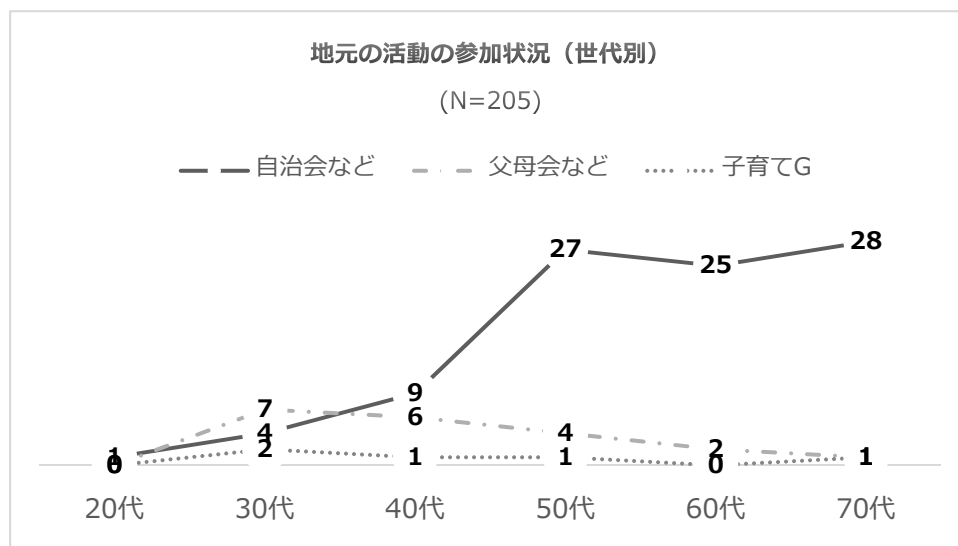
地元における7種類の活動への参加状況を尋ねた。最も参加しているのが自治会・町内会といった基礎的地縁団体への参加であった（94人、45.9%）。次に多かったのが趣味やスポーツの活動であり、58人（28.3%）で、ボランティア活動が続く（45人、22.0%）。



地域の活動における男女差があるのか分析を試みたが、統計的に有意な差はなかった¹。



地域の活動における世代間の差についても分析を試みた。年代別に地域の活動をみると、「自治会など」「父母会など」「子育て G など」において統計的に有意な差が確認された。具体的には、「自治会など」では50代が20代よりも多く活動に参加していた。「父母会など」では30代が他の世代よりも多く活動に参加していた。「子育て G など」では、30代が60代・70代よりも多く活動に参加していた。また40代も70代よりも多く活動に参加していた²。



¹ 統計ソフト IBM SPSS Ver.22 を使用してノンパラメトリック法の検定方法である Mann-Whitney の U 検定を行ったが、いずれの項目も男女間に有意な差が確認されなかった。

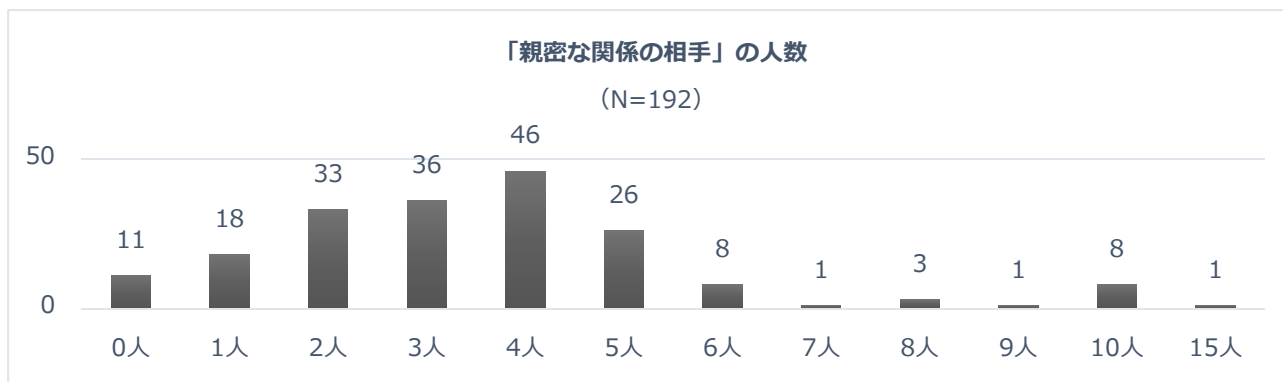
² 統計ソフト IBM SPSS Ver.22 を使用してノンパラメトリック法の Kruskal Wallis 検定（一元配置の分散分析）を行い、多重比較をした結果である。

第4章 親しい関係の社会ネットワーク

調査票では、回答者がよく話をする人たちのなかで、重要なことを話したり、悩みを相談したりする方たちについて質問している。

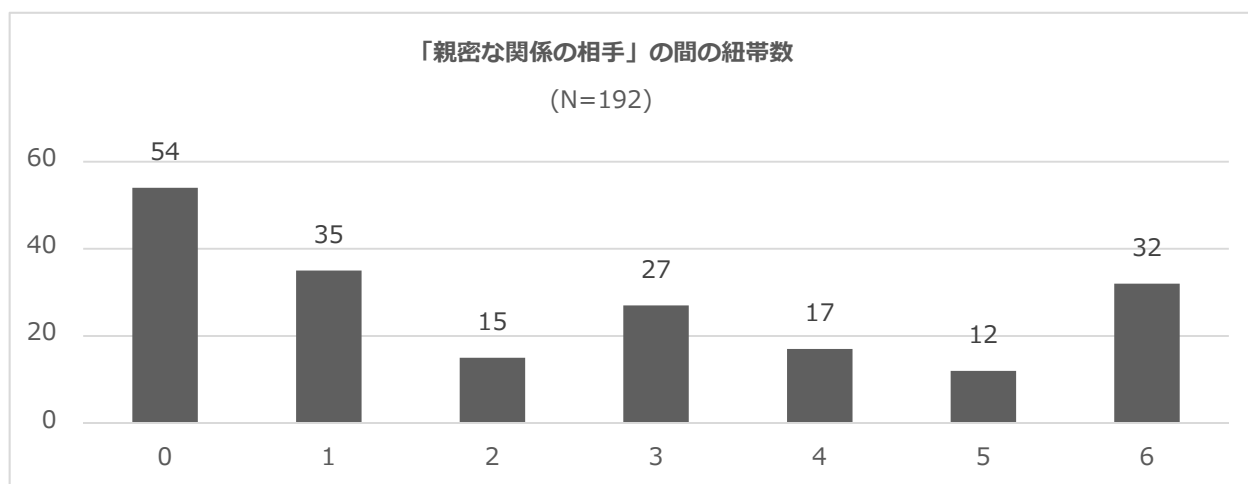
4.1 「親密な関係の相手」とのつながり

日頃からよく接している、重要なことを話したり、悩みを相談したりする「親密な関係の相手」の人数について質問している。人数は自由回答であり、最小人数はゼロで、最大人数は15人であった。「親密な関係の相手」がいない（“孤立者”）と回答したのが11人いた。集計の結果、「親密な関係の相手」の平均値は2.8人（SD=1.36）で、中央値は3人であった。

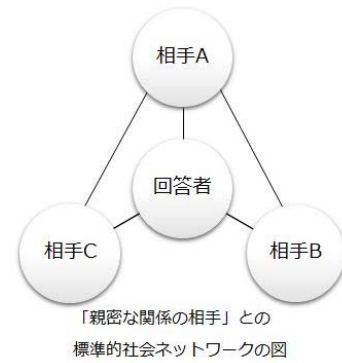


次に、回答者が提示した「親密な関係の相手」の間の紐帯（“つながり”のこと）の数についてみていく。調査票では、重要なことを話したり、悩みを相談したりする相手を4人まで挙げてもらい、これらの相手についての特徴や関係性を記述してもらっている。紐帯数が多いほど、お互いが知合い同士であることを意味する（例えばA氏がB氏とC氏と友人であり、尚且つ、B氏とC氏も友人である、という関係は、ABCの全員がお互いにつながりあっている状態となる）。本調査では4人を上限として質問しているため、回答者と「親密な関係の相手」との紐帯を除いた、「相手」同士のみの紐帯の最大数は6である。

集計の結果、「親密な関係の相手」の間の紐帯数の平均値は2.43（SD=2.21）で、中央値は紐帯2であった。また、相手同士が全く“つながっていない”（つまり紐帯数0）の該当者が54人（25.8%）と最も多く（ただし、ここには相手を全く指名していない“孤立者”11人が含まれる）、次に最大数の6（32人、15.3%）が続く。4人の人物の間で紐帯が6つということは、4人全員がお互いに知合い同士であることを意味する。

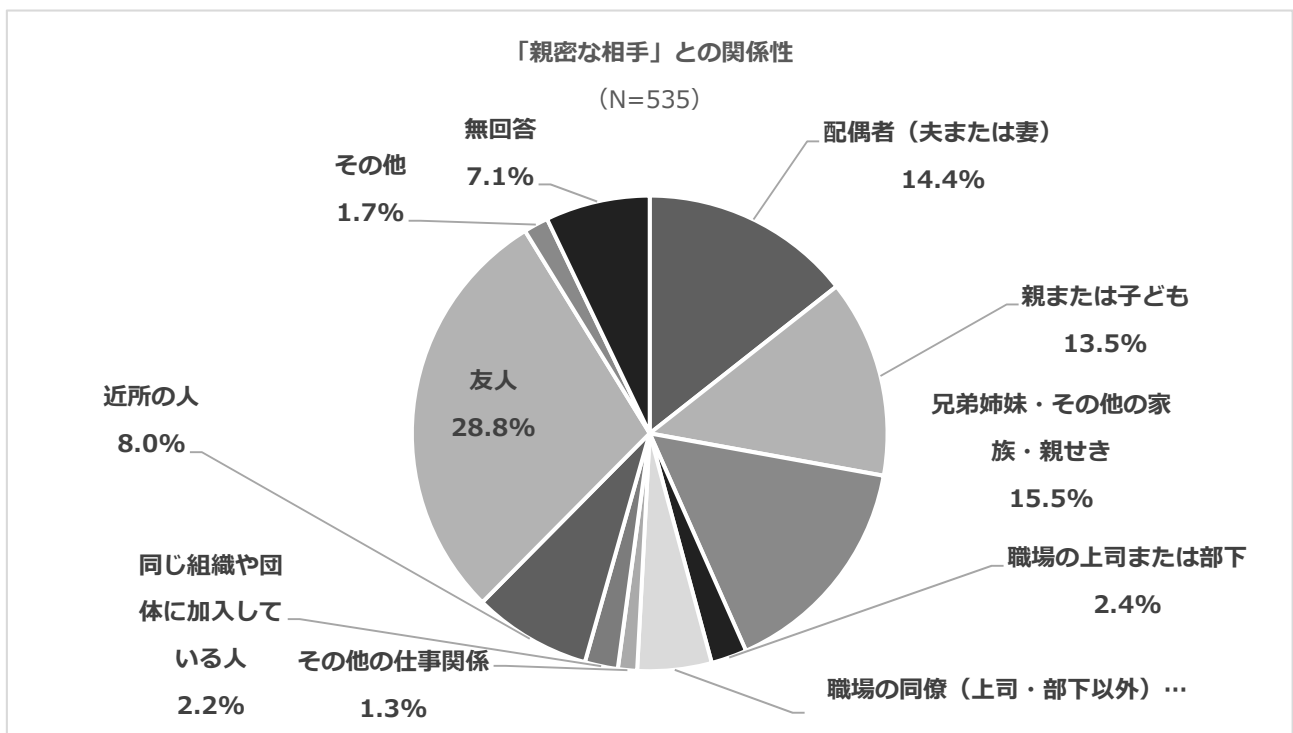


「親密な関係の相手」の数と紐帯の中央値による標準的な社会ネットワーク構成は右図のようになる。中心となる回答者自身は他の3人とつながり、相手の3人の間に2つの紐帯がある（図であれば「相手B」－「相手C」のみ知合いでない）。



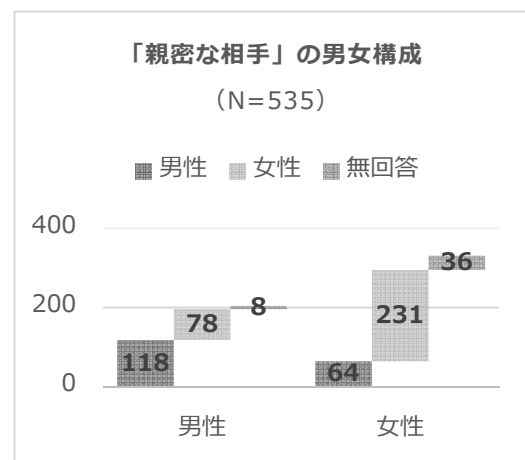
4. 2 「親密な関係の相手」との関係性

重要なことを相談できる親しい相手には、親類（配偶者や親・子ども、兄弟姉妹などを含む）が43.4%と最も多く、次に友人の28.8%、仕事関係者の8.8%、近所の人8.0%と続く。



4. 3 男女構成

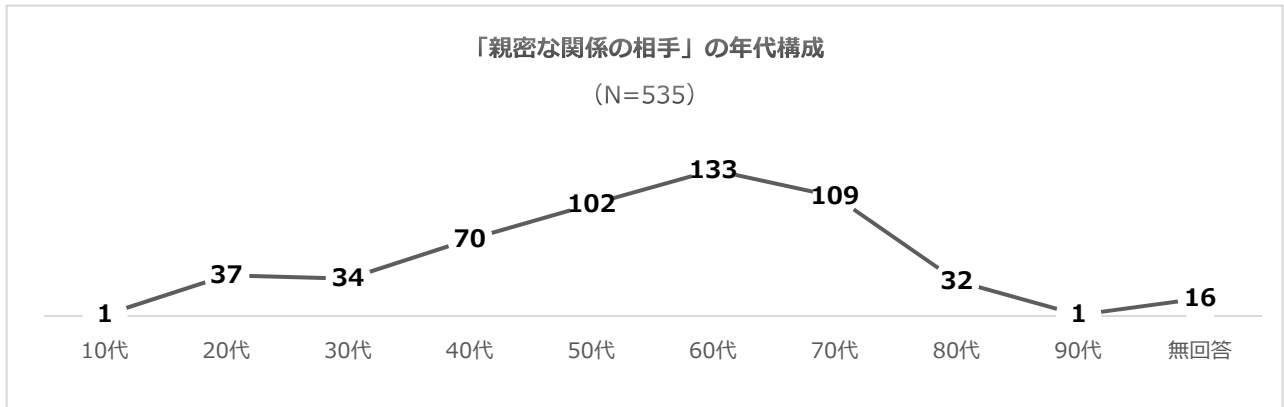
重要な相談事をするほど親密な相手には、同性を選ぶ傾向があった¹。男性の同性率は57.8%、女性の同性率は69.8%と、特に女性にその傾向が強く表れている。



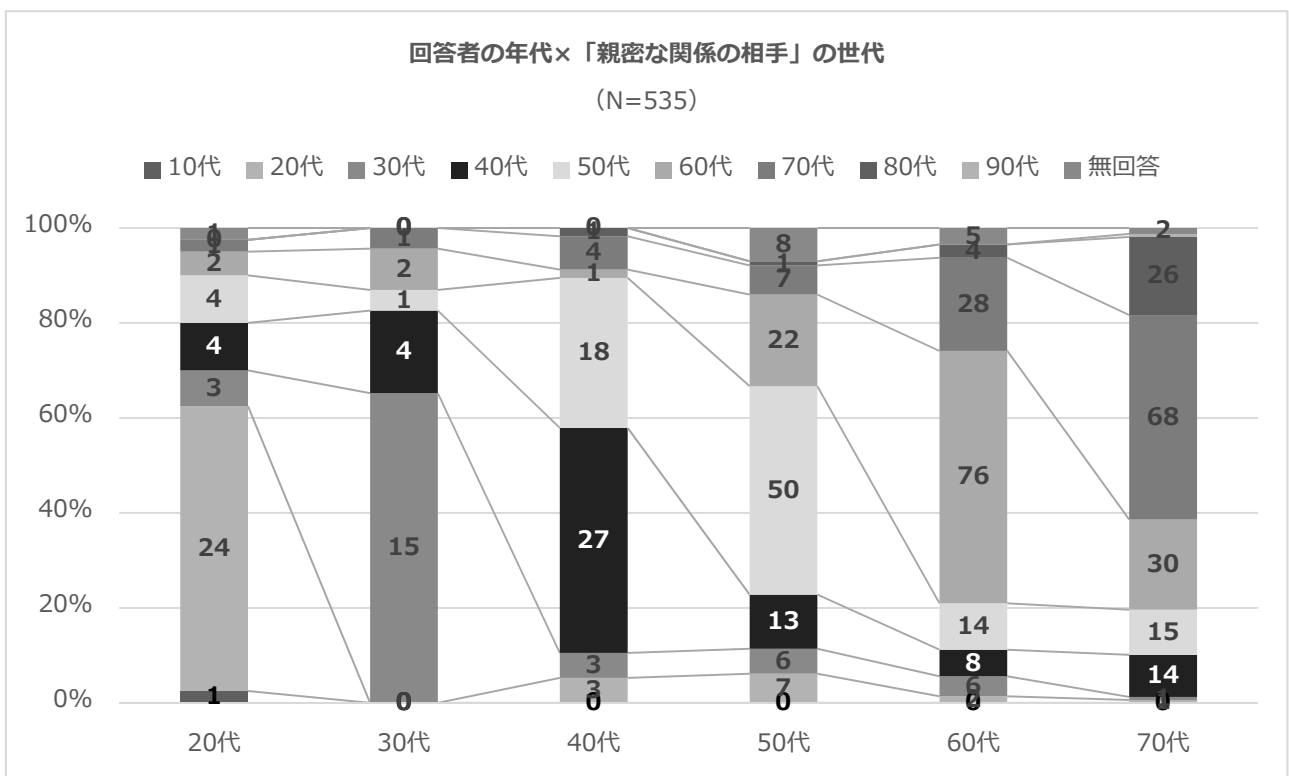
¹ 統計的にもカイ二乗検定の結果、同性を選ぶ傾向が有意（ $\chi^2=74.86, df=1, p<.001$ ）であった。

4. 4 年代構成

「親密な関係の相手」の平均年齢は 57.9 歳 (SD=15.79) であった。年代別に整理してみると、60 代の 133 人 (24.9%) を筆頭に、70 代の 109 人 (20.4%)、50 代の 102 人 (19.1%) と続き、壮年層から高齢層に多いことがわかる。



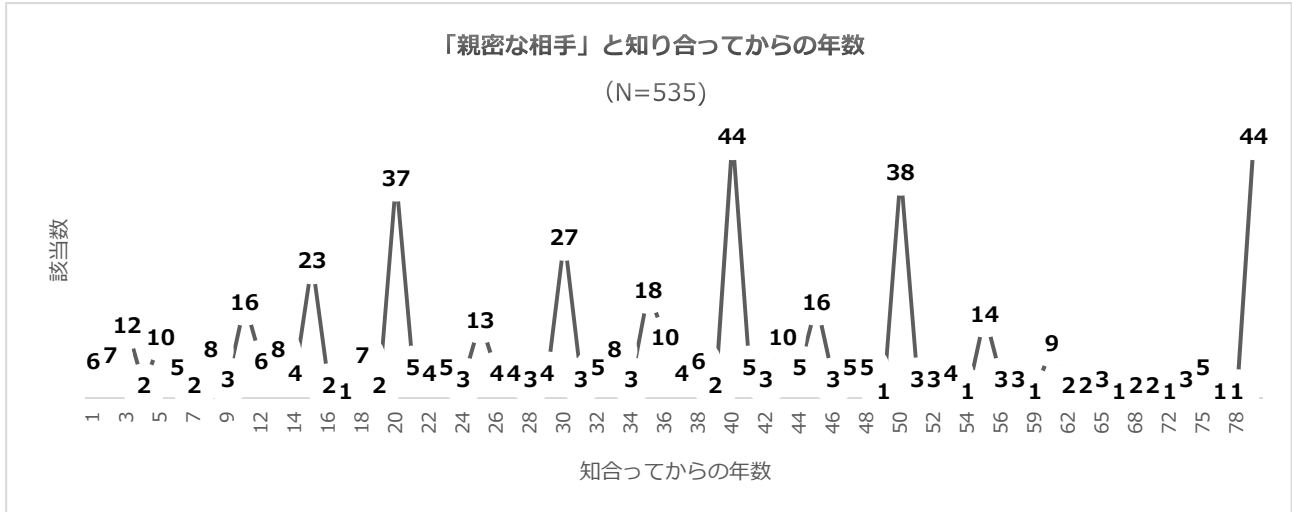
回答者の年代と「親密な相手」の年代との関係性を分析した。「回答者の年代×親密な相手の年代」との間に統計的に有意な関係性が確認されている²。またグラフからも、同世代の相手が最も多いことがわかる。



² カイ二乗検定の結果、統計的に有意な関係性があった ($\chi^2=638.295, df=45, p < .001$)。

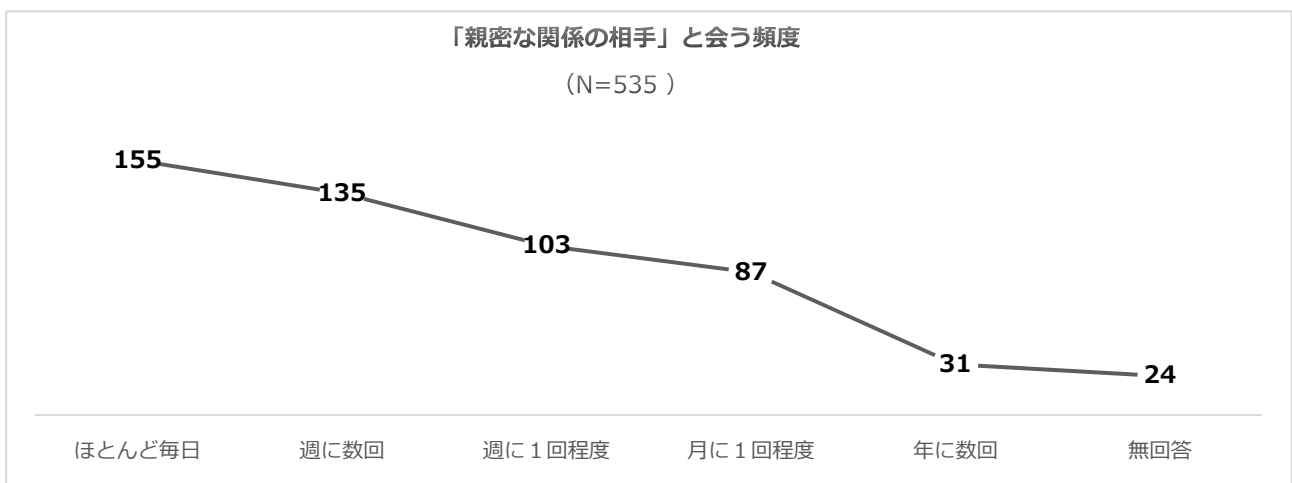
4. 5 知り合ってから年数

重要な事柄を相談するほど親密な相手との知合ってから年数について質問している。「親密な相手」との付き合いの長さの平均年数は32.3年 (SD=17.77) で、最短が1年、最長が78年であった。相手の年齢が高いほど、長い付き合いをしている³。また、回答者の年齢が高いほど、長いつきあいの「相手」がいることになる⁴。



4. 6 相手と会う頻度

「親密な関係の相手」と直接会う頻度について質問している。「親密な相手」の155人 (29.0%) とはほぼ毎日会っていて、135人 (25.2%) とは週に数回はあっているなど、「親密な相手」とは頻繁に接触していることがわかる。これは「親密な相手」の多くが家族や職場の人間であるため、ほぼ毎日のように会うことにつながっているようである。また、友人とも高い比率で「ほぼ毎日」「週に数回」ほど会っているようである。

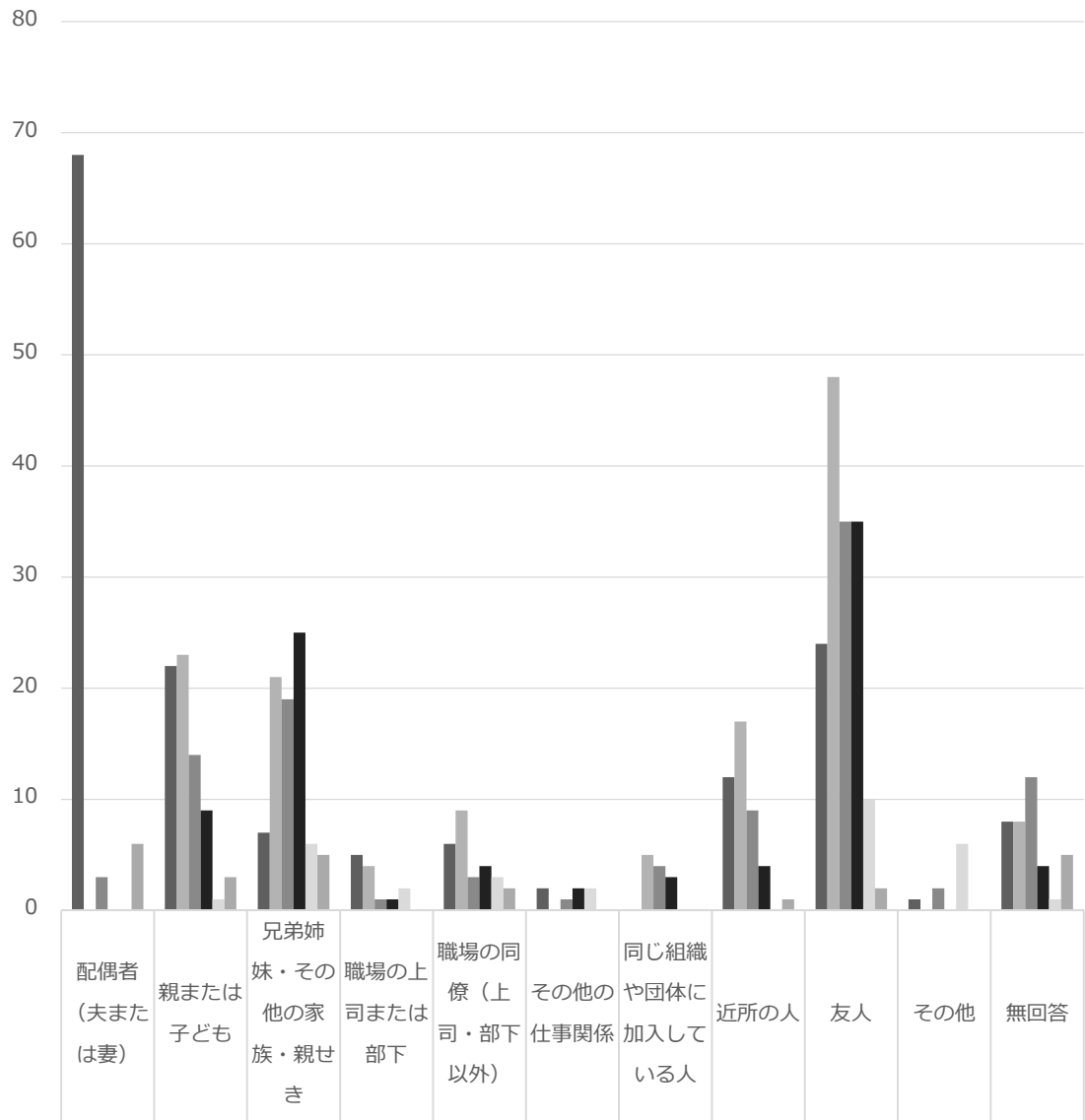


³ 相手と知合ってから年数は、相手の年齢と正の相関を示している ($r = .452, p < .001$)。

⁴ 相手と知合ってから年数は、回答者の年齢とも正の相関を示している ($r = .660, p < .001$)。

「関係性」×「会う頻度」

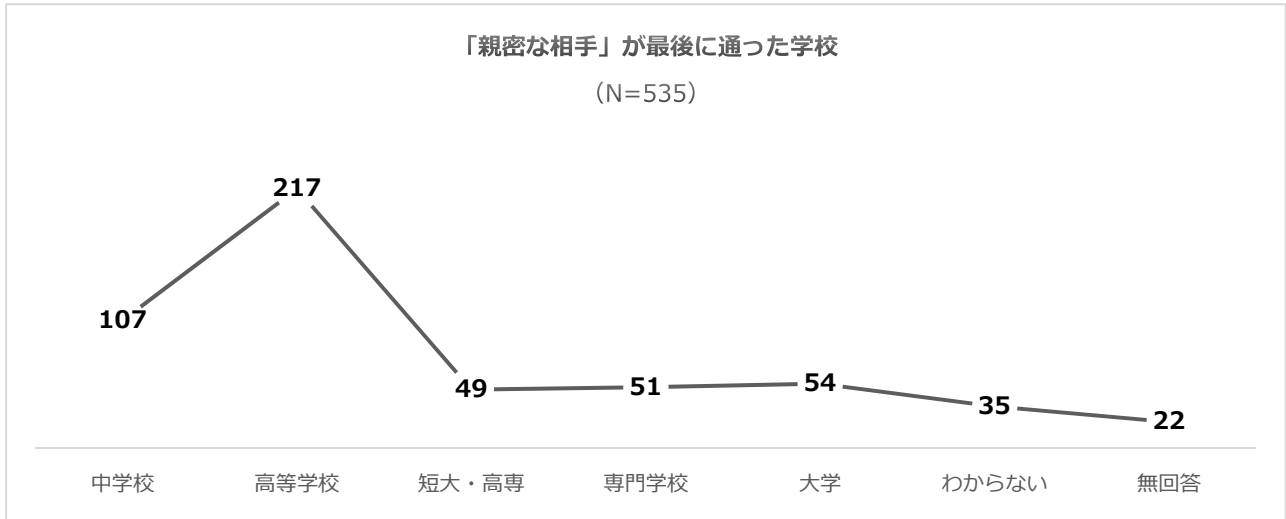
(N=535)



	配偶者 (夫または妻)	親または 子ども	兄弟姉 妹・その 他の家 族・親せ き	職場の上 司または 部下	職場の同 僚(上 司・部下 以外)	その他の 仕事関係	同じ組織 や団体に 加入して いる人	近所の人	友人	その他	無回答
■ ほとんど毎日	68	22	7	5	6	2	0	12	24	1	8
■ 週に数回	0	23	21	4	9	0	5	17	48	0	8
■ 週に1回程度	3	14	19	1	3	1	4	9	35	2	12
■ 月に1回程度	0	9	25	1	4	2	3	4	35	0	4
■ 年に数回	0	1	6	2	3	2	0	0	10	6	1
■ 無回答	6	3	5	0	2	0	0	1	2	0	5

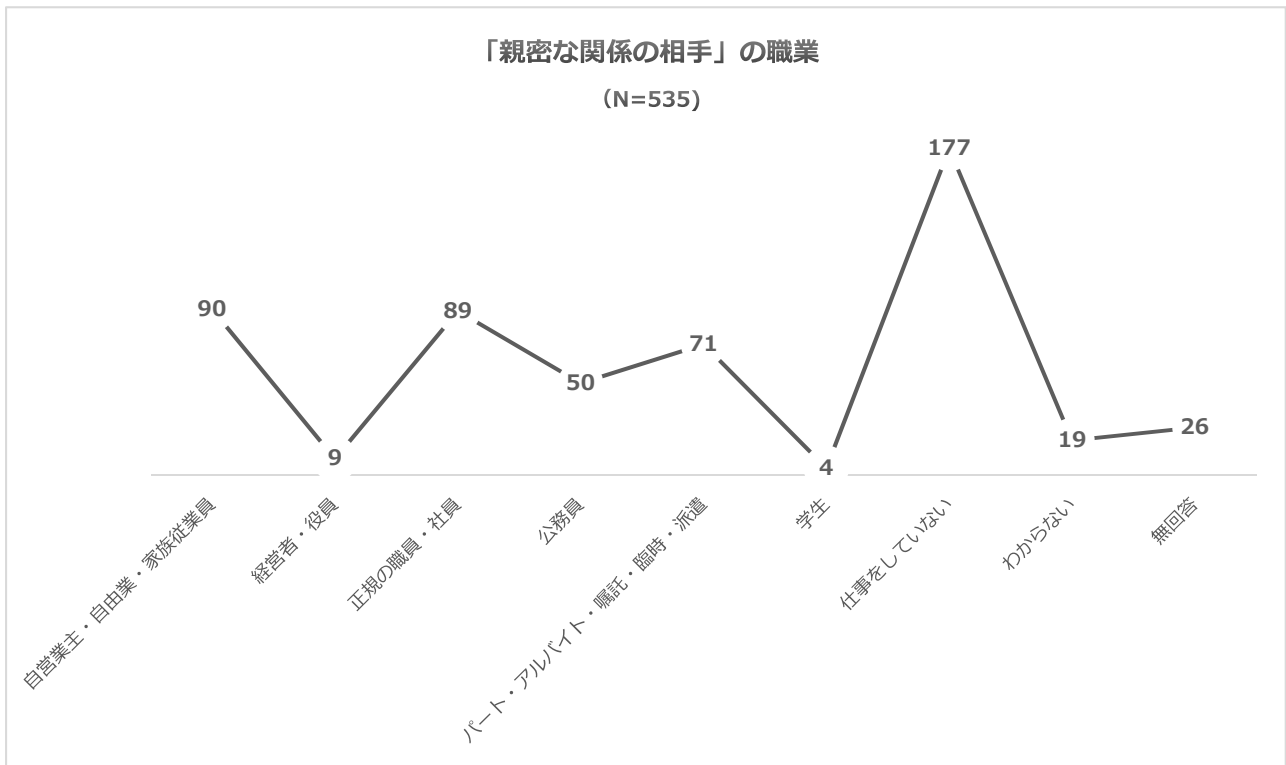
4. 7 教育歴

「親密な関係の相手」が最後に通った学校について質問している。結果として、高等学校が217人(40.6%)で最も多く、中学校の107人(20.0%)が続く。時代背景からも、年代が高くなるほど中学校・高等学校が増える傾向がみられる⁵。一方、若い世代ほど高学歴になる傾向にあるが、高齢者層が多いため、全体としては高等学校や中学校が多い結果となったと考えられる。

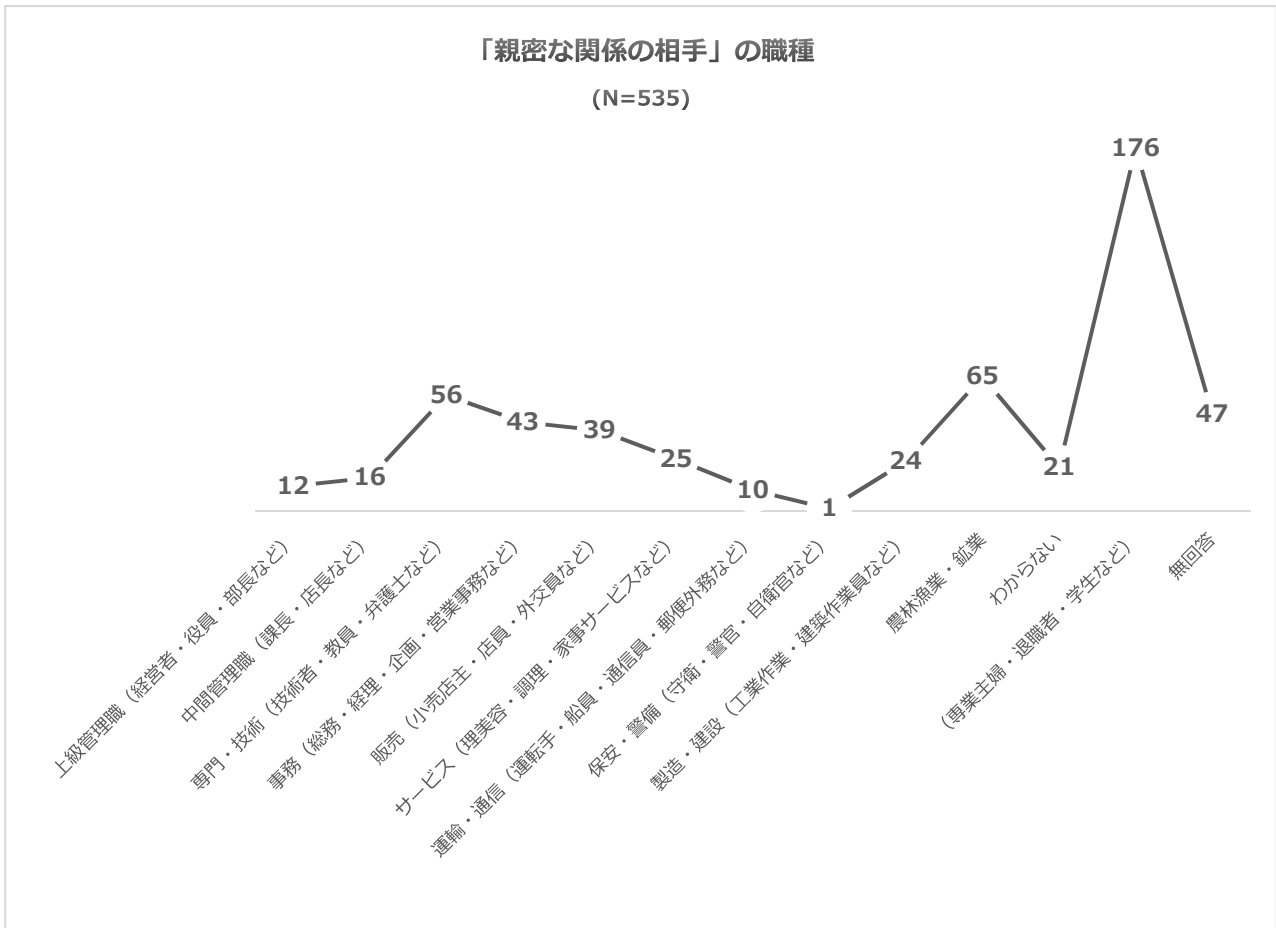


4. 8 職業・職種

「親密な関係の相手」が「仕事をしていない」が177人(33.1%)と最も多かった。これは、「親密な関係の相手」に専業主婦や退職者が多いと推測される。

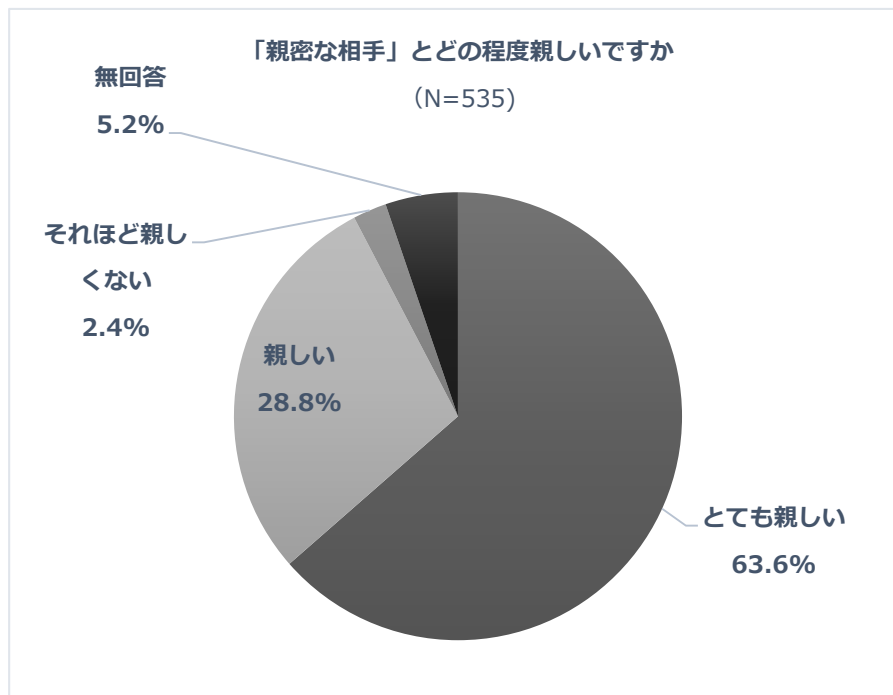


⁵ 年齢と教育歴との間には負の相関 ($r = -.466, p < .001$) が確認できる。

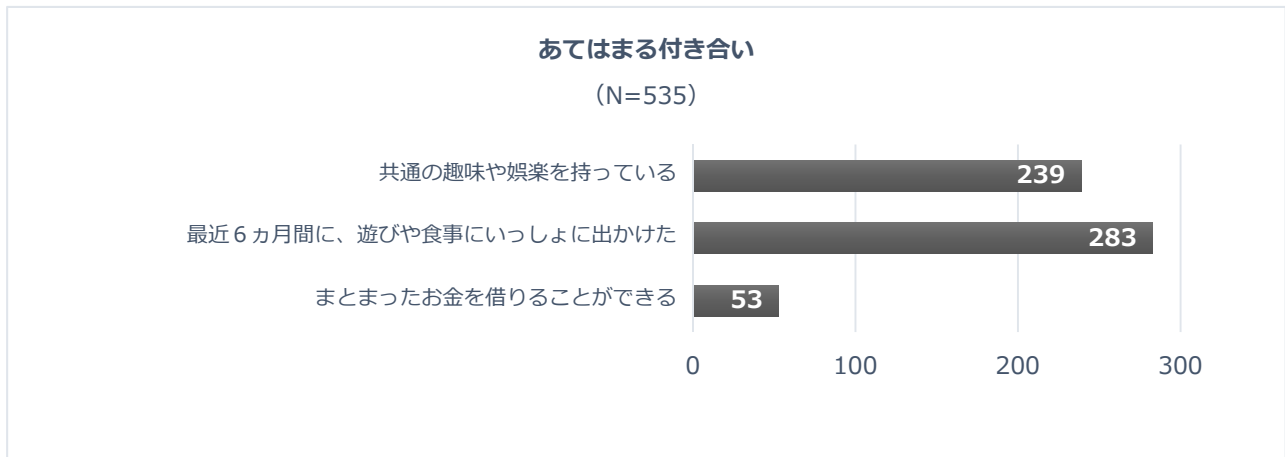


4.9 付き合いのかたち

重要な事柄を相談したりする相手との「親密度」について3段階で評価してもらった。重要な事柄を相談するほど「親密な関係の相手」であるが、2.4%は「それほど親しくない」と評価している。



「親密な関係の相手」と具体的にどのような「付き合い」をしているのか、「共通の趣味や娯楽を持っている」、「最近6カ月間に、遊びや食事をいっしょに出かけたことがある」、「まとまったお金を借りることができる」の三つの選択肢から該当するものを選んでもらっている（複数回答）。「共通の趣味や娯楽を持っている」（239人、44.7%）と「最近6カ月間に、遊びや食事をいっしょに出かけたことがある」（283人、52.9%）は過半数近くが当てはまる相手であった。しかしながら、大きな信用が関わる「まとまったお金を借りることができる」（53人、9.9%）は1割程度の相手に限定されていた。実際に「まとまったお金を借りることができる」相手は、家族や友人に限定され、仕事関係や近所の人は含まれていなかった。

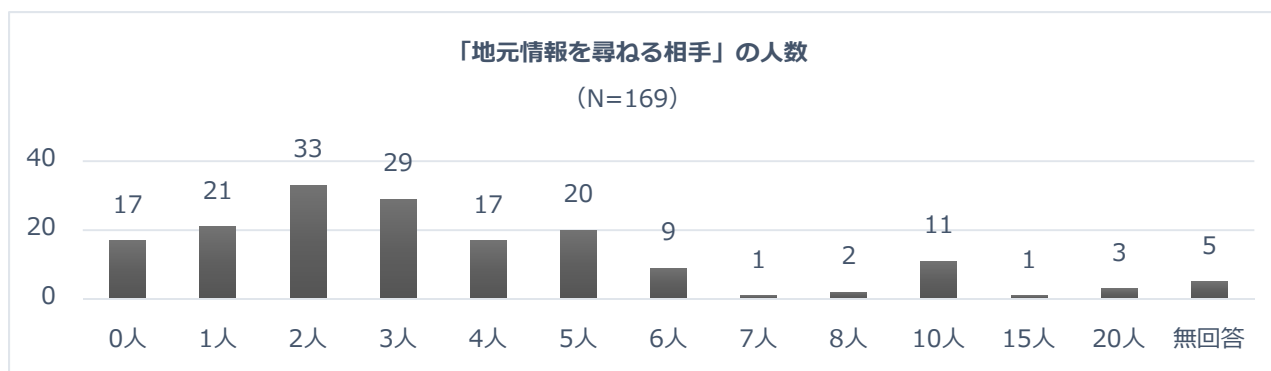


第5章 地元情報を尋ねる関係の社会ネットワーク

調査票では、回答者が地元・黒潮町の詳しい情報（近々どのような行事が行われるのか、どこそこに新しいお店が開店したのか、町がどのような現状にあるのか、など）について知りたい場合、それについて尋ねたりよく話をしたりする方たちについて質問している（「地元情報を尋ねる相手」）。

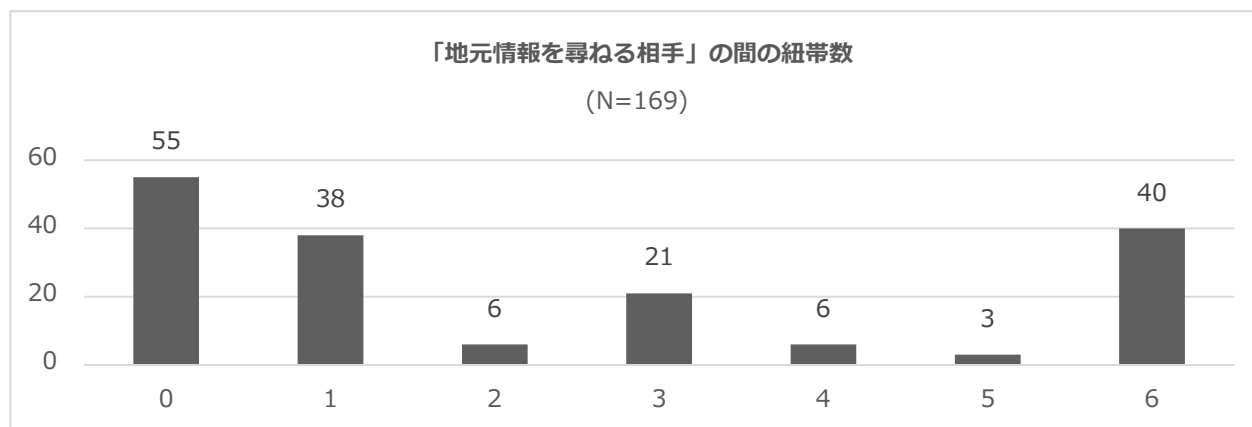
5.1 「地元情報を尋ねる相手」とのつながり

回答者が地元・黒潮町の詳しい情報を知りたい場合に尋ねる相手の人数について質問している。人数は自由回答であり、最小人数ゼロから最大人数20人であった。「地元情報を尋ねる相手」がいない（“孤立者”）と回答したのが17人（10.1%）いた。集計の結果、「地元情報を尋ねる相手」の平均値は3.7人（SD=3.49）で、中央値は3人であった。



次に、回答者が提示した「地元情報を尋ねる相手」の間の紐帯の数についてみていく。調査票では、地元・黒潮町の詳しい情報（近々どのような行事が行われるのか、どこそこに新しいお店が開店したのか、など）について知りたい場合、それについて尋ねたりよく話をしたりする相手を4人まで挙げてもらい、これらの相手についての特徴や関係性を記述してもらっている。本調査では4人を上限として質問しているため、回答者と「地元情報を尋ねる相手」との紐帯を除いた、「相手」同士のみの紐帯の最大数は6である。

集計の結果、「地元情報を尋ねる相手」の間の紐帯数の平均値は2.32（SD=2.38）で、中央値は紐帯1であった。また、相手同士が全く“つながっていない”（つまり紐帯数0）の該当者が55人（32.5%）と最も多く（ただし、ここには相手を全く指名していない“孤立者”17人が含まれる）、次に最大数の6（40人、23.7%）が続いた。

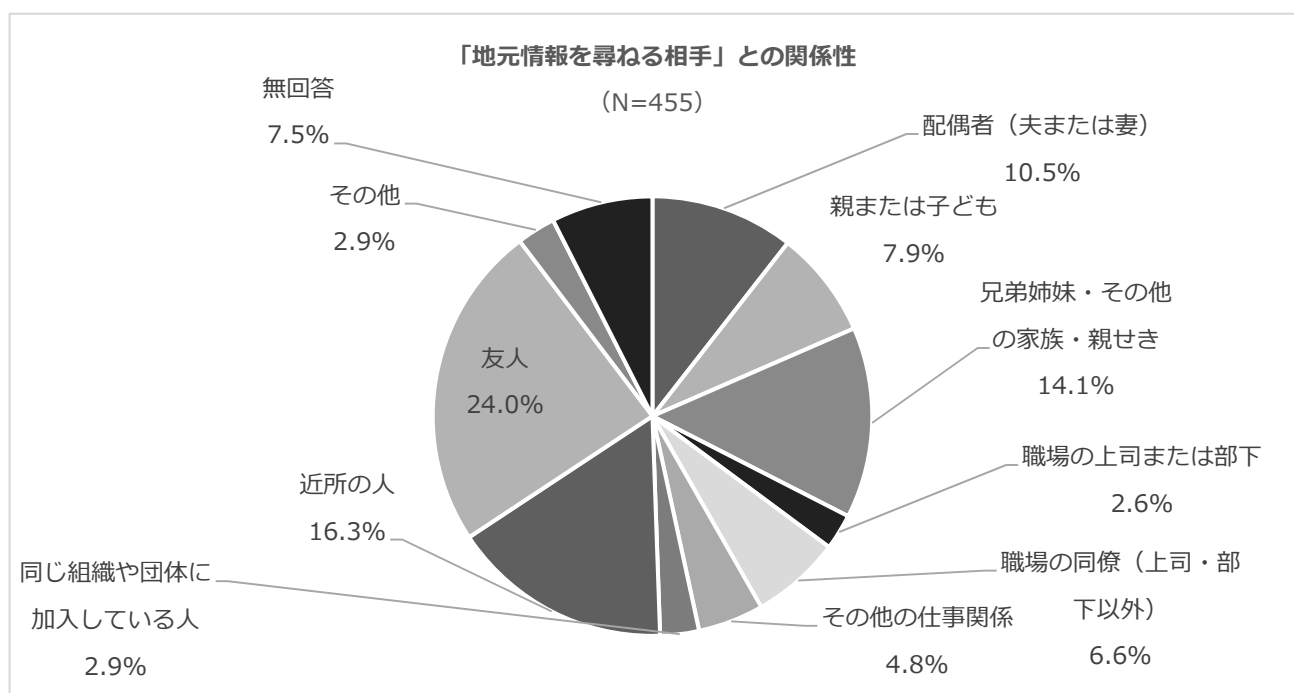


「地元情報を尋ねる相手」の数と紐帯の中央値による標準的な社会ネットワーク構成は右図のようになる。中心となる回答者自身は他の3人とつながり、相手の3人の間に1つの紐帯がある（図であれば「相手E」－「相手F」のみが知合いである状態）。



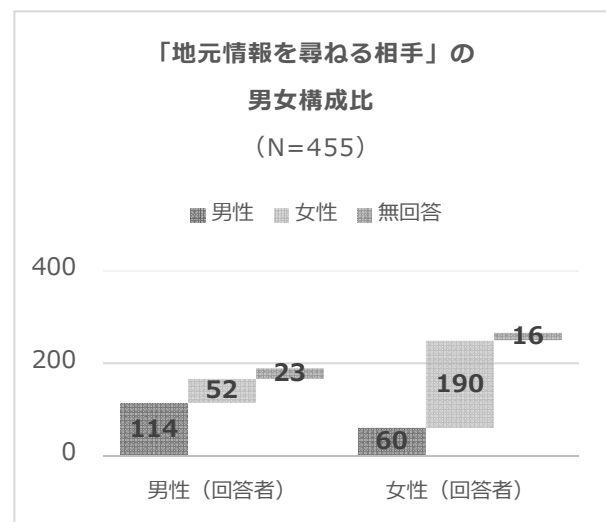
5. 2 地元情報を尋ねる相手との関係性

地元の情報について尋ねる相手との関係性について質問している。圧倒的に多かったのが「友人」（109人、24.0%）であった。次に多かったのが「近所の人」（74人、16.3%）で、配偶者や親・子以外の「家族・親せき」（64人、14.1%）が続く。



5. 3 男女構成

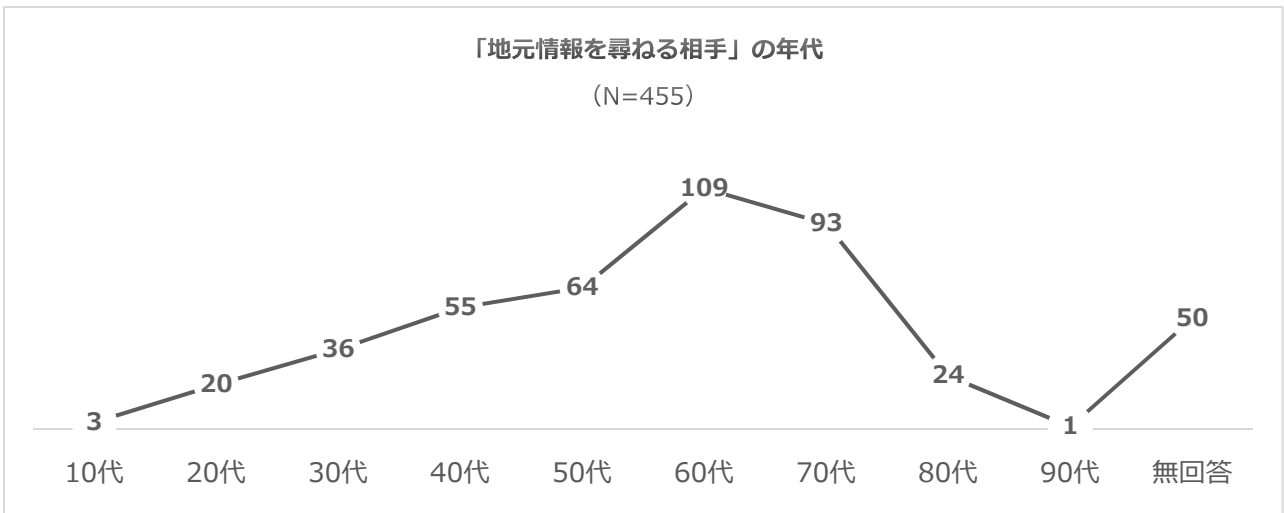
「地元情報を尋ねる相手」には、同性を選ぶ傾向がより強くあった¹。男性の同性率は60.3%、女性の同性率は71.4%と、特に女性にその傾向が強く表れている。



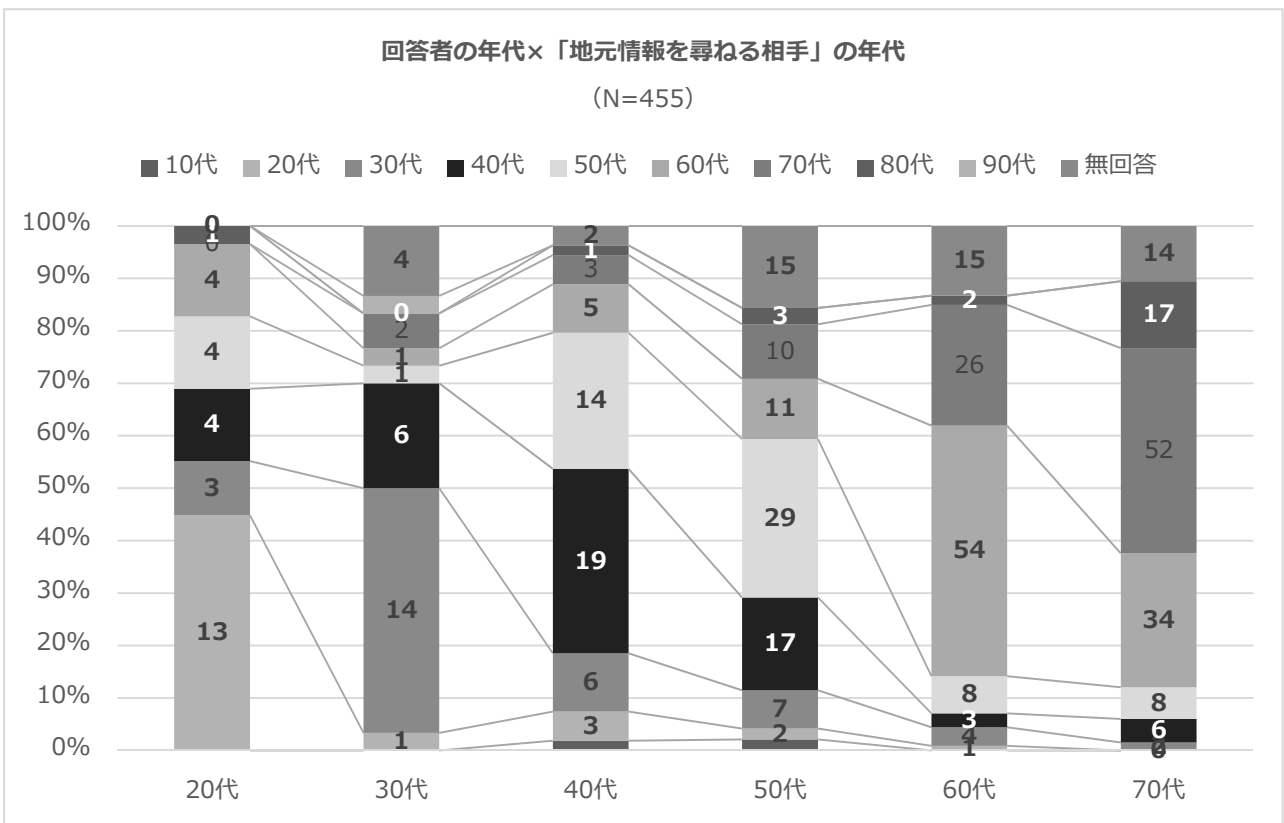
¹ 統計的にもカイ二乗検定の結果、同性を選ぶ傾向が有意（ $\chi^2=86.15, df=1, p<.001$ ）であった。

5. 4 年代構成

「地元情報を尋ねる相手」の平均年齢は 58.0 歳 (SD=) 15.88 であった。「地元情報を尋ねる相手」を年代別に集計すると下図のようになる。60代から70代の構成が多いのがわかる。



回答者の年代と「親密な相手」の年代との関係性を分析した。「回答者の年代×親密な相手の年代」との間に統計的に有意な関係性が確認されている²。またグラフからも、同世代の相手が最も多いことがわかる。

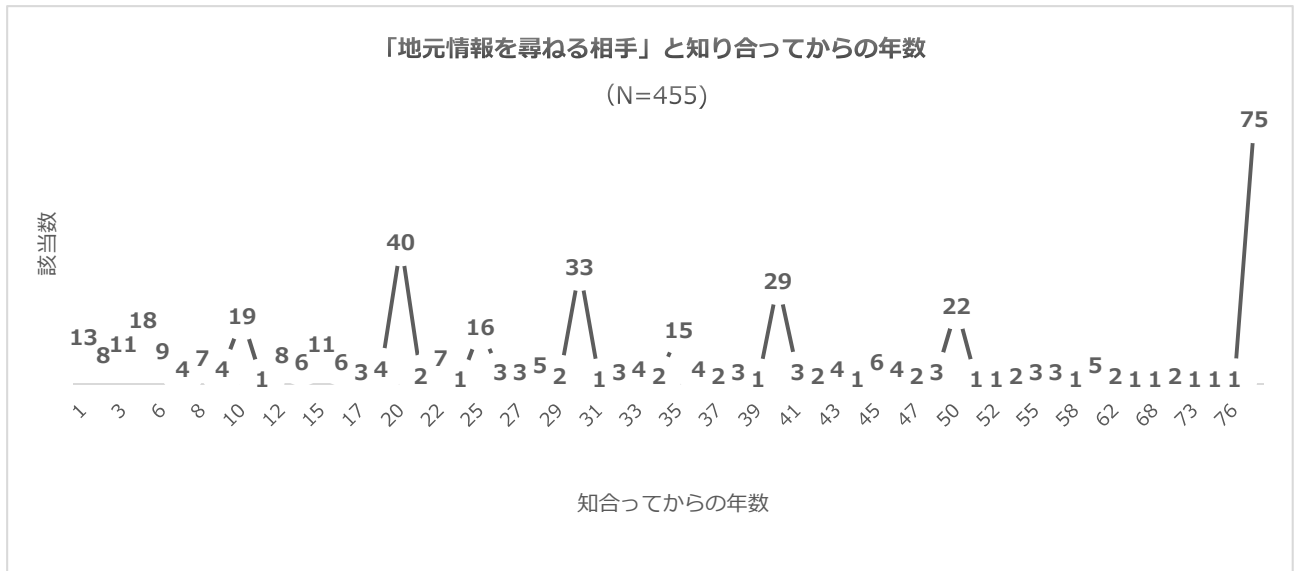


² カイ二乗検定の結果、統計的に有意な関係性があった ($\chi^2=400.38, df=45, p<.001$)。

5. 5 知り合ってから年数

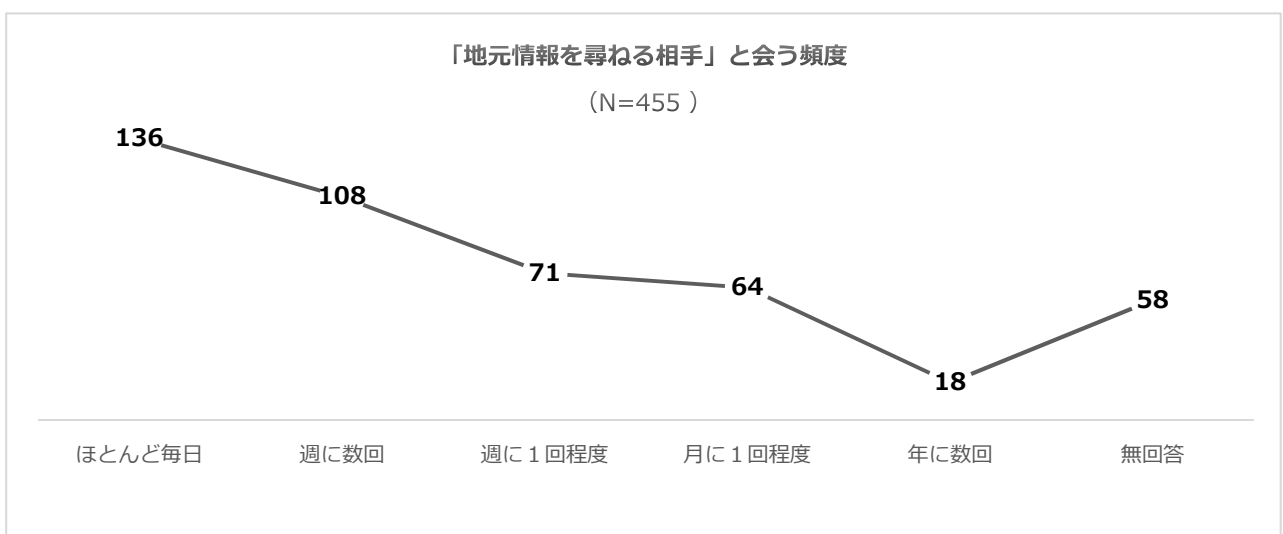
「地元情報を尋ねる」相手と知り合ってからのおよその年数を質問している。20年、30年、40年など区切りの良い年数が多く選択されている。

「地元情報を尋ねる相手」との付き合いの長さの平均年数は26.2年 (SD=16.95) で、最短が1年、最長が76年であった。相手の年齢が高いほど、長い付き合いであり、回答者の年齢が高いほど、相手と長い付き合いであることもわかっている³。



5. 6 相手と会う頻度

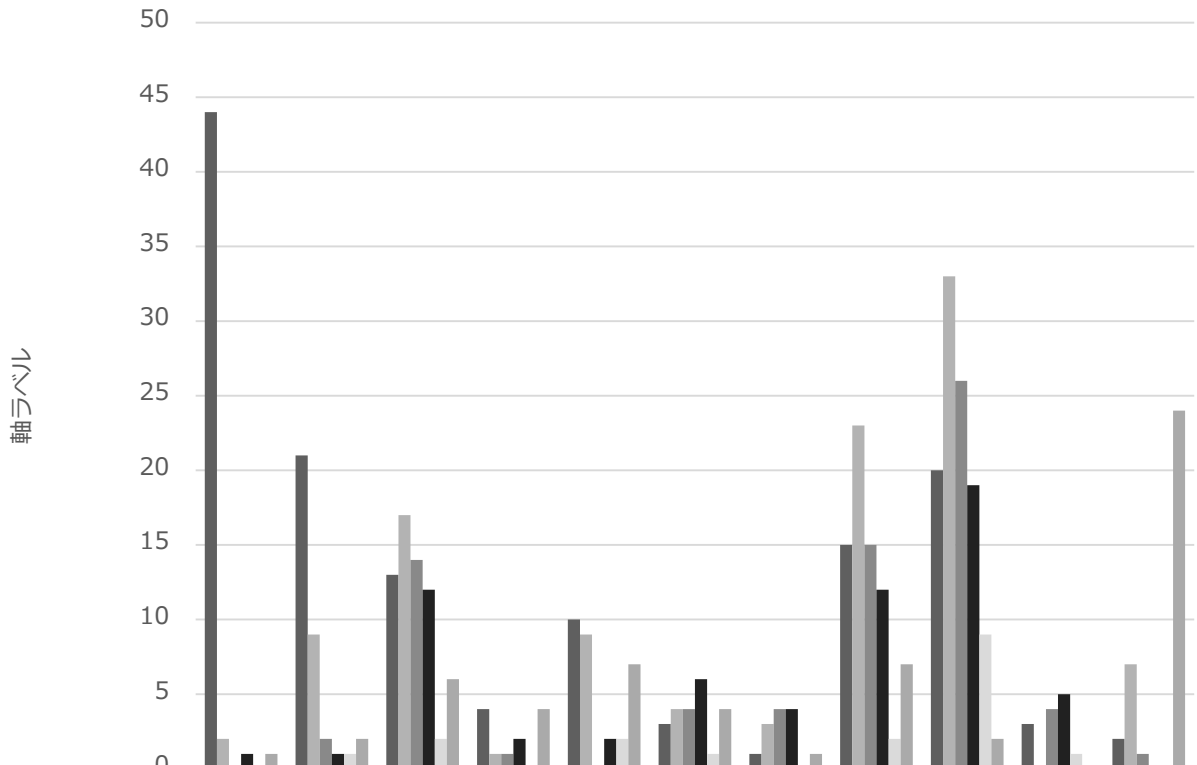
「地元情報を尋ねる相手」の136人 (29.9%) とはほぼ毎日会っていて、108人 (23.7%) とは週に数回は会っているなど、「親密な関係の相手」ほどではないが、「地元情報を尋ねる相手」と頻繁に接触していることがわかる。「地元情報を尋ねる相手」の中で構成比の高い「友人」や「近所の人」とも、多くが「ほとんど毎日」「週に数回」会っている。家族とは当然「ほとんど毎日」会うことが多いため、全体として「ほとんど毎日」会っている人の比率が高くなっていると考えられる。



³ 相手と知合ってから年数は、相手の年齢と正の相関を示している ($r = .450, p < .001$)。また、回答者の年齢とも弱い正の相関を示している ($r = .385, p < .001$)。

「関係性」×「会う頻度」

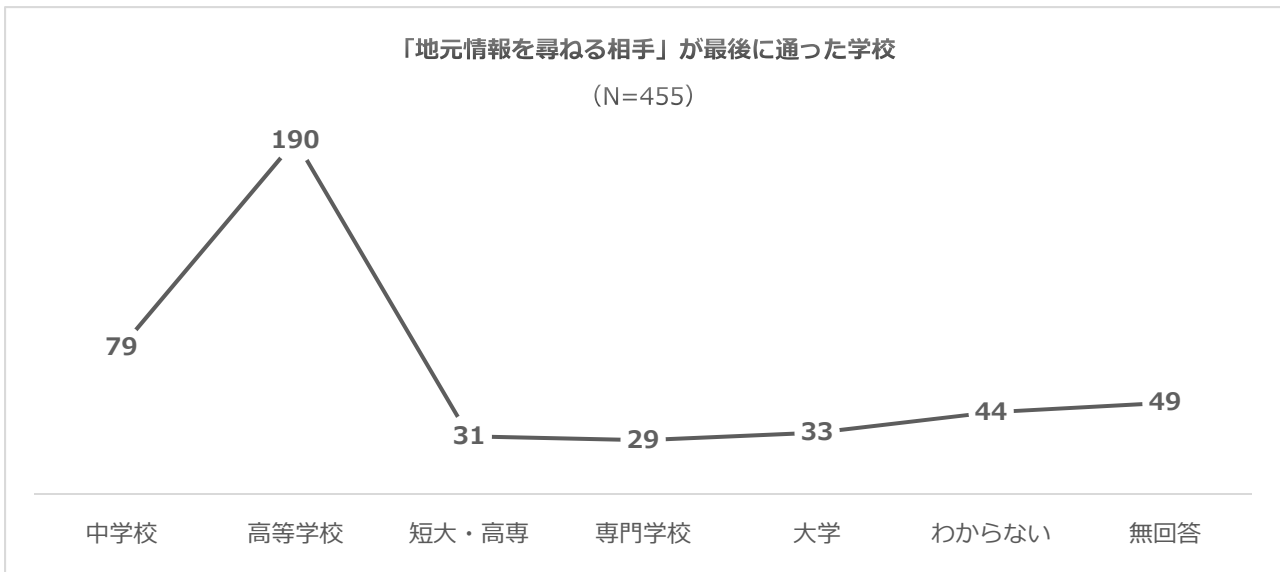
(N=455)



	配偶者 (夫または妻)	親または子ども	兄弟姉妹・その他の家族・親せき	職場の上司または部下	職場の同僚(上司・部下以外)	その他の仕事関係	同じ組織や団体に加入している人	近所の人	友人	その他	無回答
■ ほとんど毎日	44	21	13	4	10	3	1	15	20	3	2
■ 週に数回	2	9	17	1	9	4	3	23	33	0	7
■ 週に1回程度	0	2	14	1	0	4	4	15	26	4	1
■ 月に1回程度	1	1	12	2	2	6	4	12	19	5	0
■ 年に数回	0	1	2	0	2	1	0	2	9	1	0
■ 無回答	1	2	6	4	7	4	1	7	2	0	24

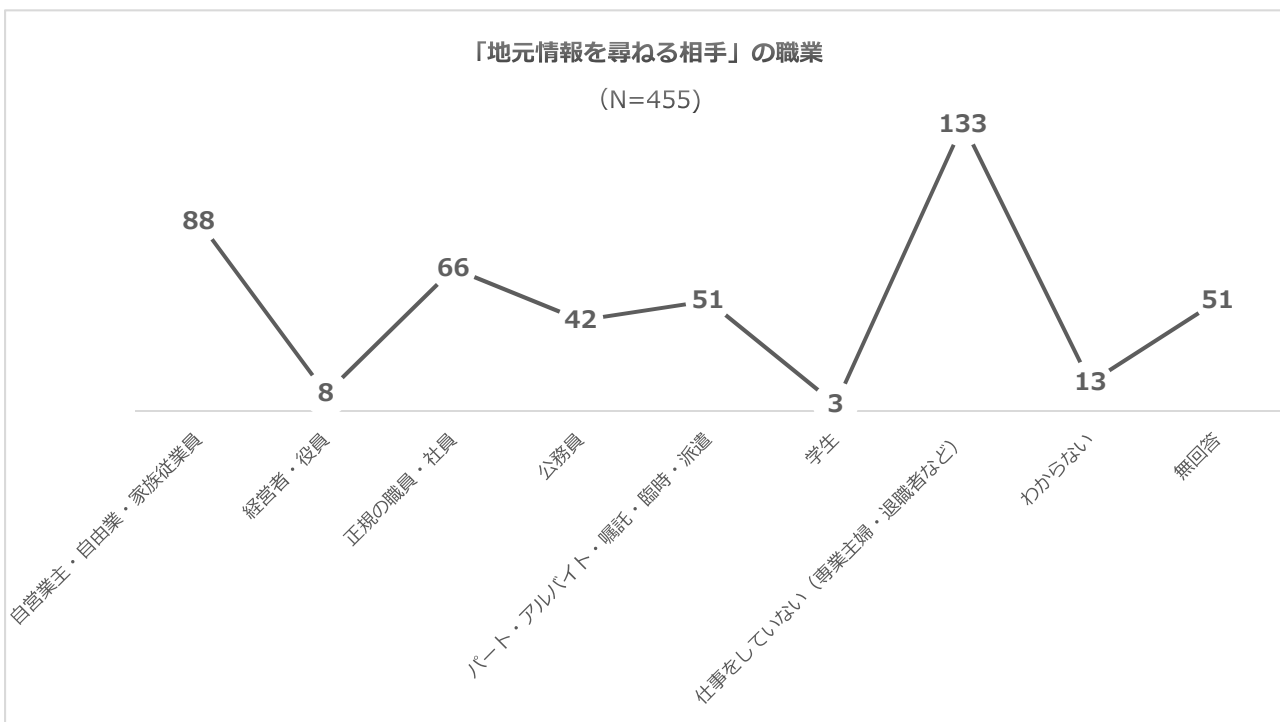
5.7 教育歴

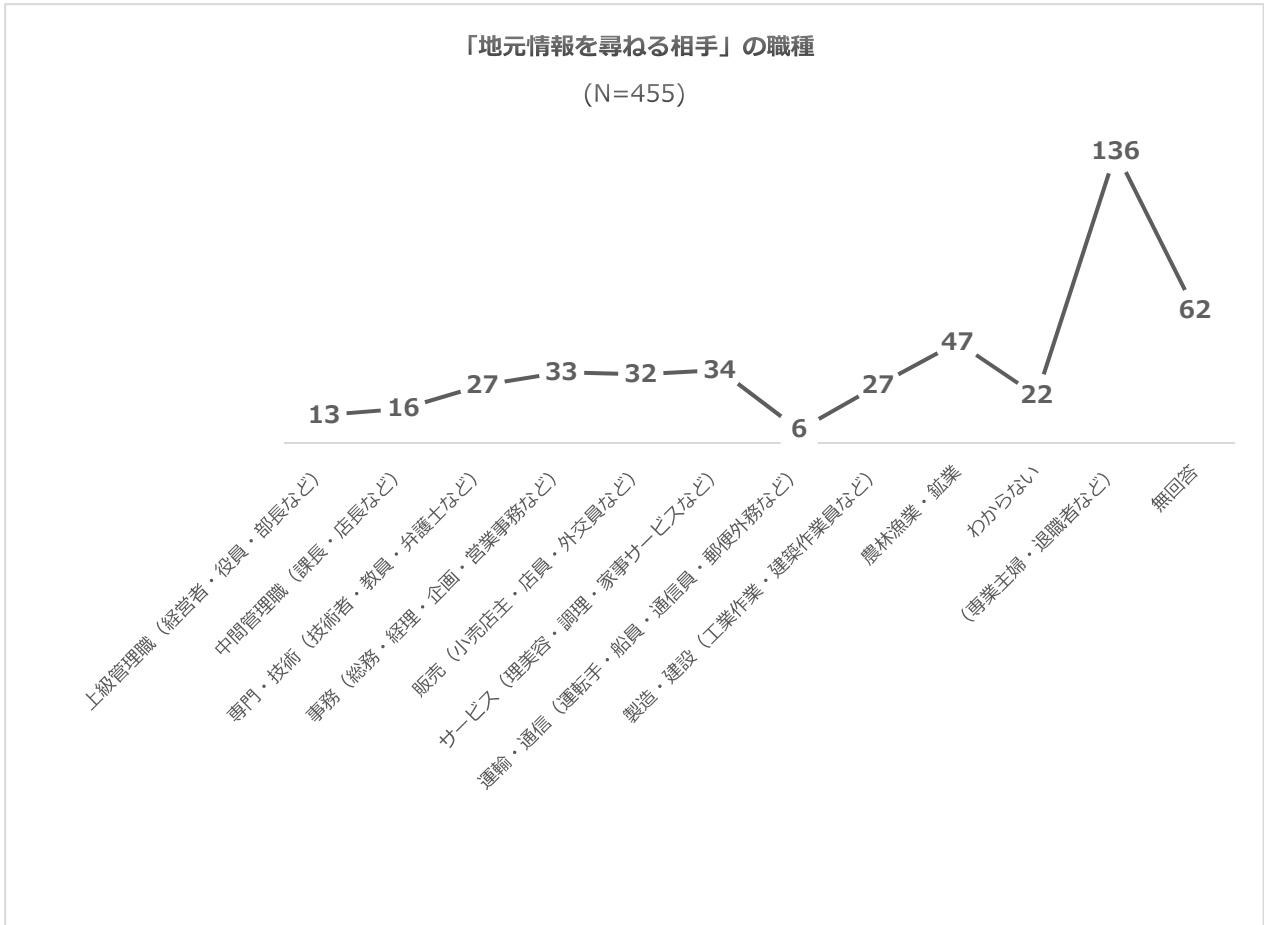
「地元情報を尋ねる相手」が最後に通った学校はグラフの通りである。高等学校が圧倒的に多いの
 がわかる。



5.8 職業・職種

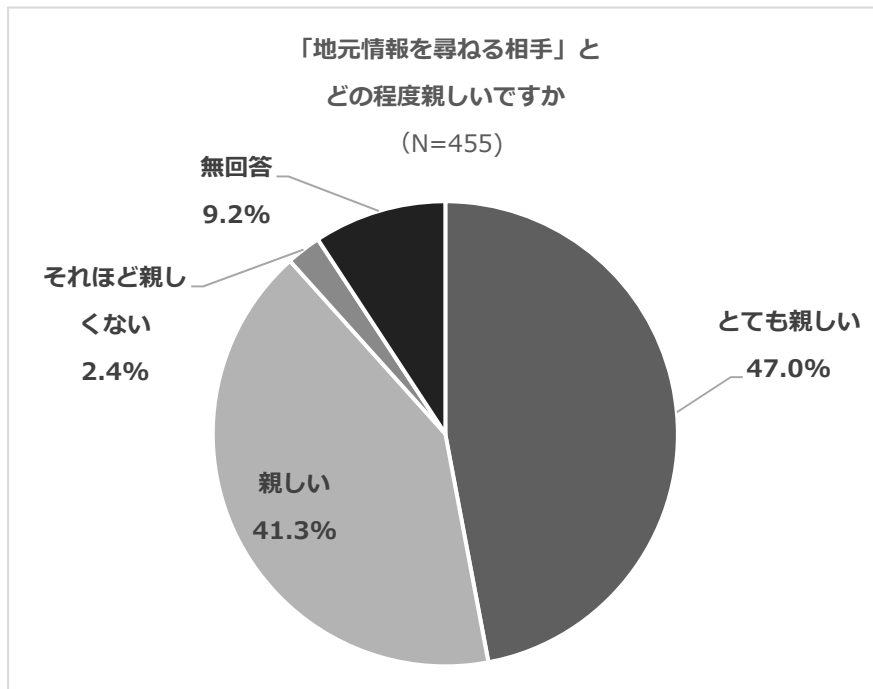
「地元情報を尋ねる相手」が仕事をしていない」ケースが 133 人 (29.2%) で最も多かった。次に多
 かったのが自営業主などの 88 人 (19.3%) であり、比較的時間の融通の利く立場の相手が多いよう
 であった。



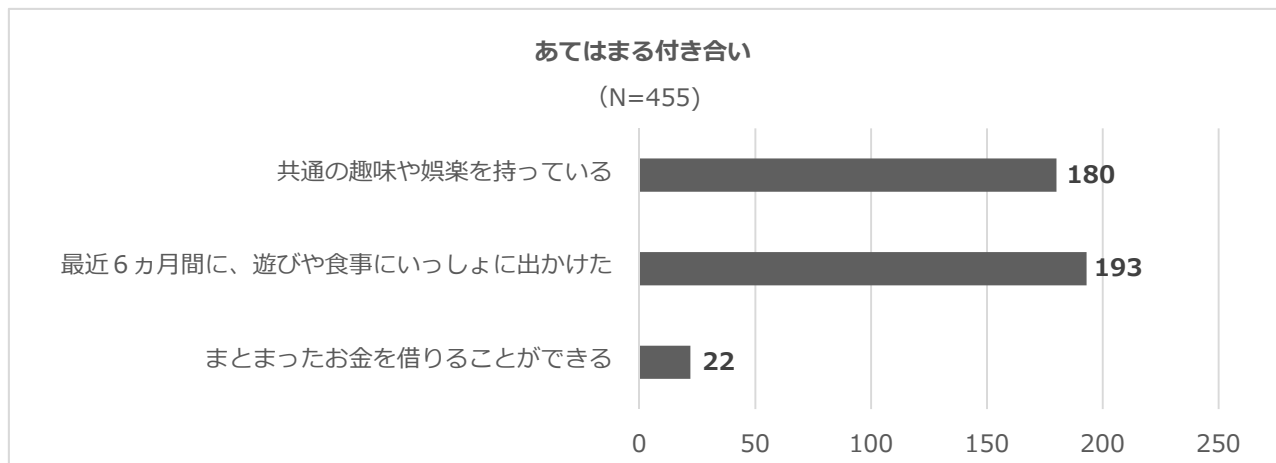


5.9 付き合いのかたち

地元に関する情報を提供してもらった相手との親密度は、半数近くが「とても親しい」間柄である一方で、2.4%は「それほど親しくない」と答えている。



また、「地元情報を尋ねる相手」と具体的にどのような「付き合い」をしているのか、「共通の趣味や娯楽を持っている」、「最近6カ月間に、遊びや食事をいっしょに出かけたことがある」、「まとまったお金を借りることができる」の三つの選択肢から該当するものを選んでもらっている（複数回答）。「共通の趣味や娯楽を持っている」（180人、39.6%）と「最近6カ月間に、遊びや食事をいっしょに出かけたことがある」（193人、42.4%）は四割近くが当てはまる相手であった。しかしながら、大きな信用が関わる「まとまったお金を借りることができる」（22人、4.8%）は5%を切るほど少数派であった。実際に「まとまったお金を借りることができる」相手は、家族や友人に限定され、仕事関係や近所の人には含まれていなかった。

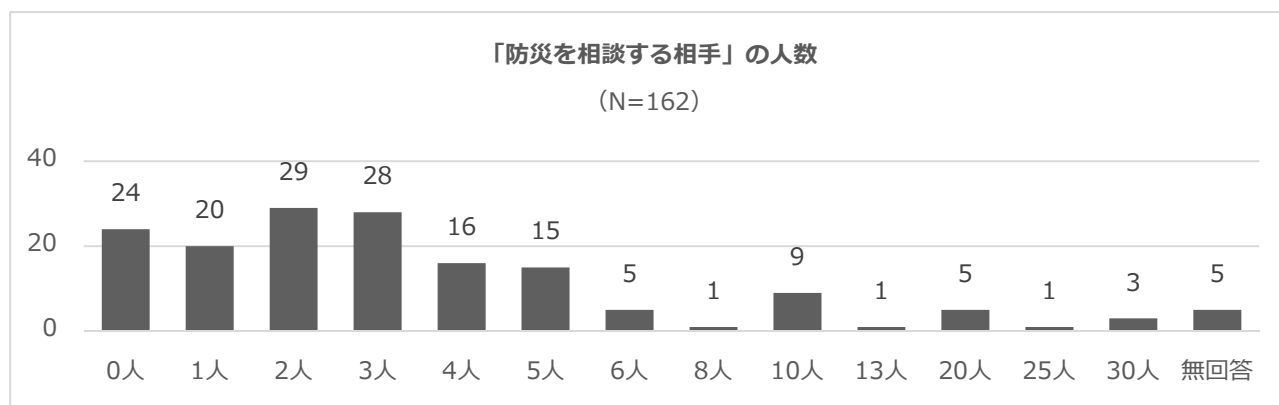


第6章 防災について相談する関係の社会ネットワーク

調査票では、回答者が「防災情報や災害時の備えに関する情報などを詳しく知りたい場合、これらについて話し合ったり情報収集に協力してくれたりする方たち」について質問している（「防災相談の相手」）。

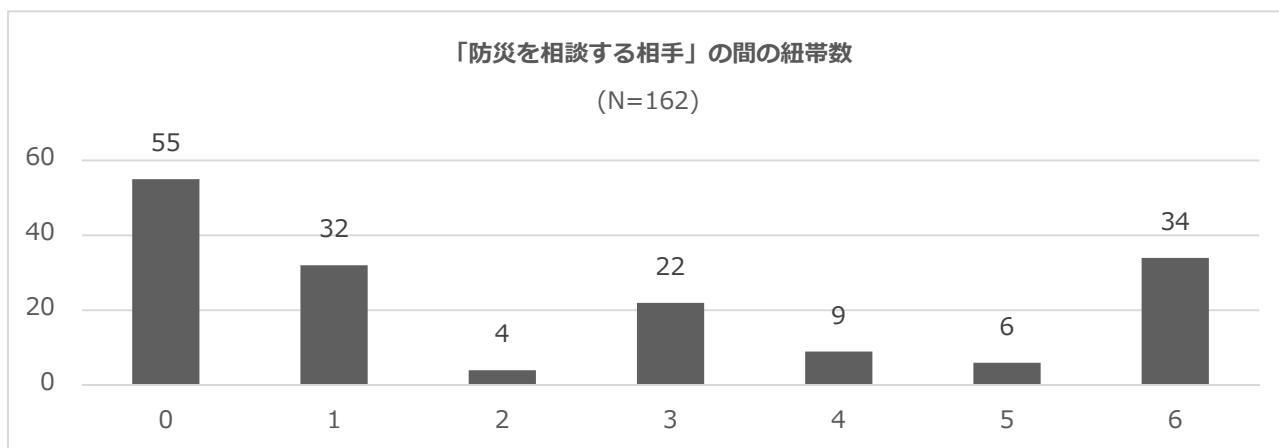
6.1 「防災の相談相手」とのつながり

回答者が防災情報や災害時の備えに関する情報などを詳しく知りたい場合に相談する相手の人数について質問している。人数は自由回答であり、最小人数はゼロで、最大人数は30人であった。「防災の相談相手」がない（“孤立者”）と回答したのが24人（14.8%）もいた。集計の結果、「防災の相談相手」の平均値は4.2人（SD=5.61）で、中央値は3人であった。

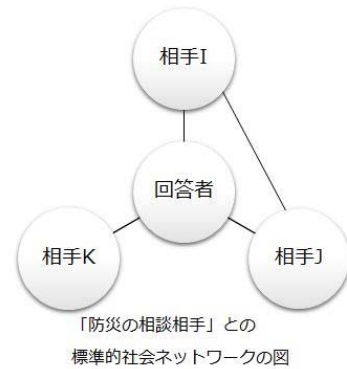


次に、回答者が提示した「防災の相談相手」の間の紐帯数についてみていく。調査票では、回答者が防災情報や災害時の備えについて相談する相手を4人まで挙げてもらい、これらの相手についての特徴や関係性を記述してもらっている。本調査では4人を上限として質問しているため、回答者と「防災の相談相手」との紐帯を除いた、「相手」同士のみの紐帯の最大数は6である。

集計の結果、「防災の相談相手」の間の紐帯数の平均値は2.32（SD=2.35）で、中央値は紐帯1であった。また、相手同士が全く“つながっていない”（つまり紐帯数0）の該当者が55人（34.0%）と最も多く（ただし、ここには相手を全く指名していない“孤立者”24人が含まれる）、次に最大数の6（34人、21.0%）が続いた。

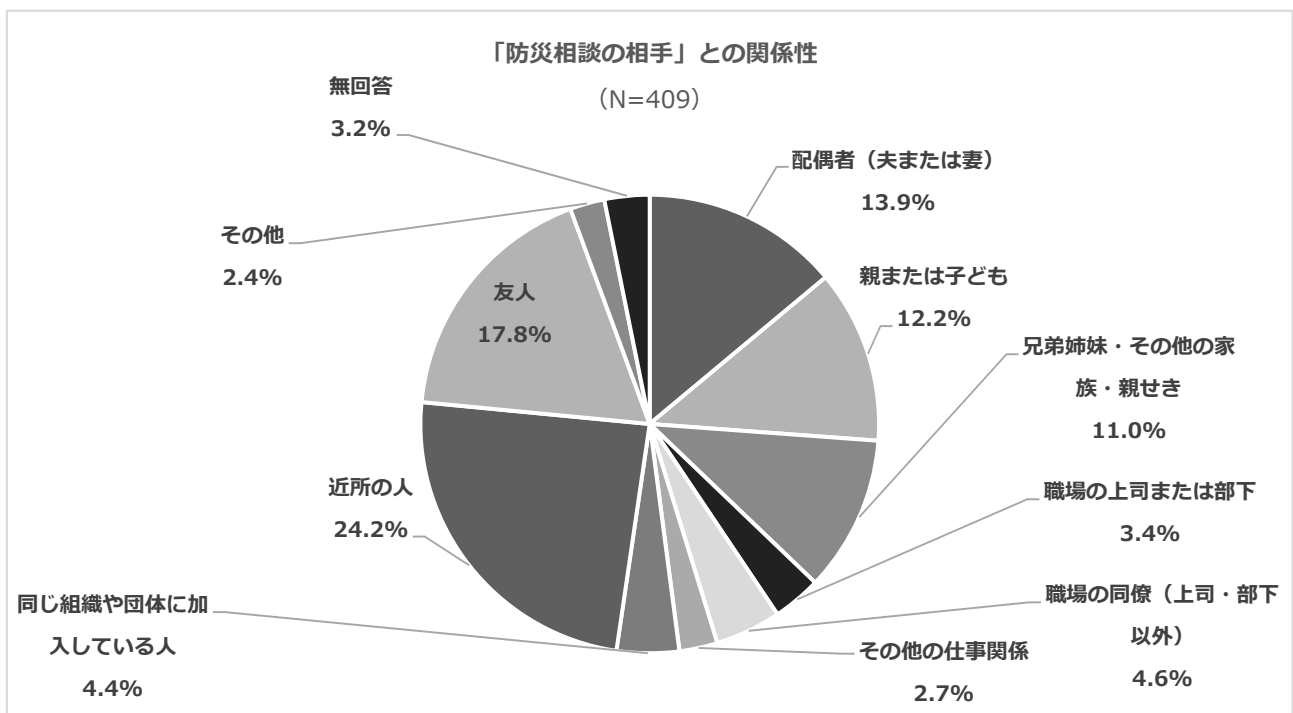


「防災の相談相手」の数と紐帯の中央値による標準的な社会ネットワーク構成は右図のようになる。中心となる回答者自身は他の3人とつながり、相手の3人の間に1つの紐帯がある（図であれば「相手I」－「相手J」のみが知合いである状態）。



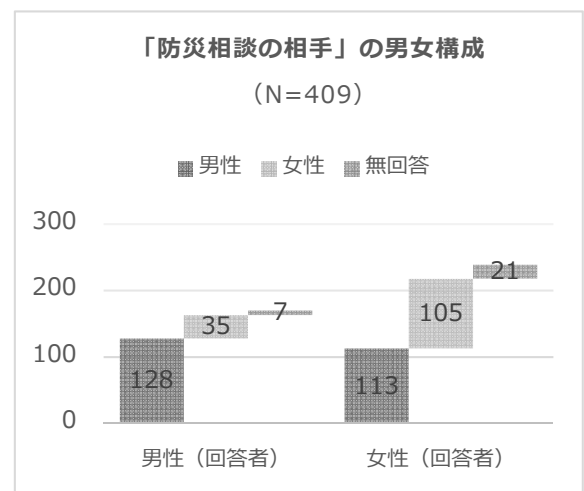
6. 2 防災相談の相手との関係性

防災や災害の備えについて相談する相手との関係性について質問している。最も多かったのが「近所の人」（99人、24.2%）で、「友人」（73人、17.8%）がそれに続く。配偶者や親子・親せきなどを含めた親族の合計では152人（37.2%）と最も多くなる。



6. 3 男女構成

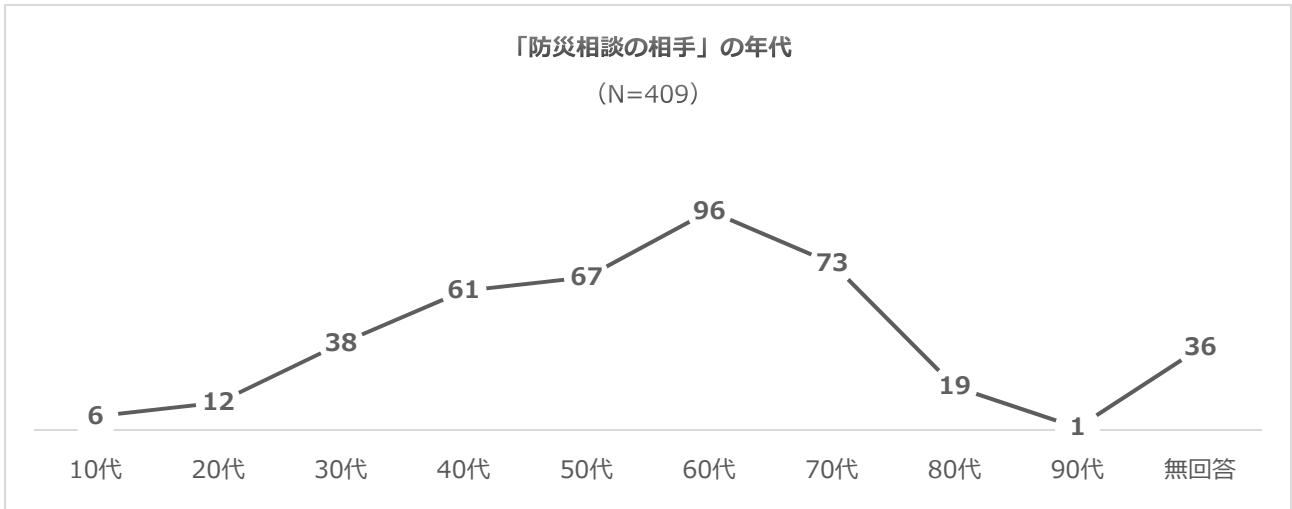
「防災相談の相手」には、同性を選ぶ傾向がより強くあった¹。男性の同性率は75.3%、女性の同性率は43.9%と、特に男性にその傾向が強く表れている。女性の同性率が高くないのは、防災関連の専門知識を持っているのが男性に多いためであると推測される。



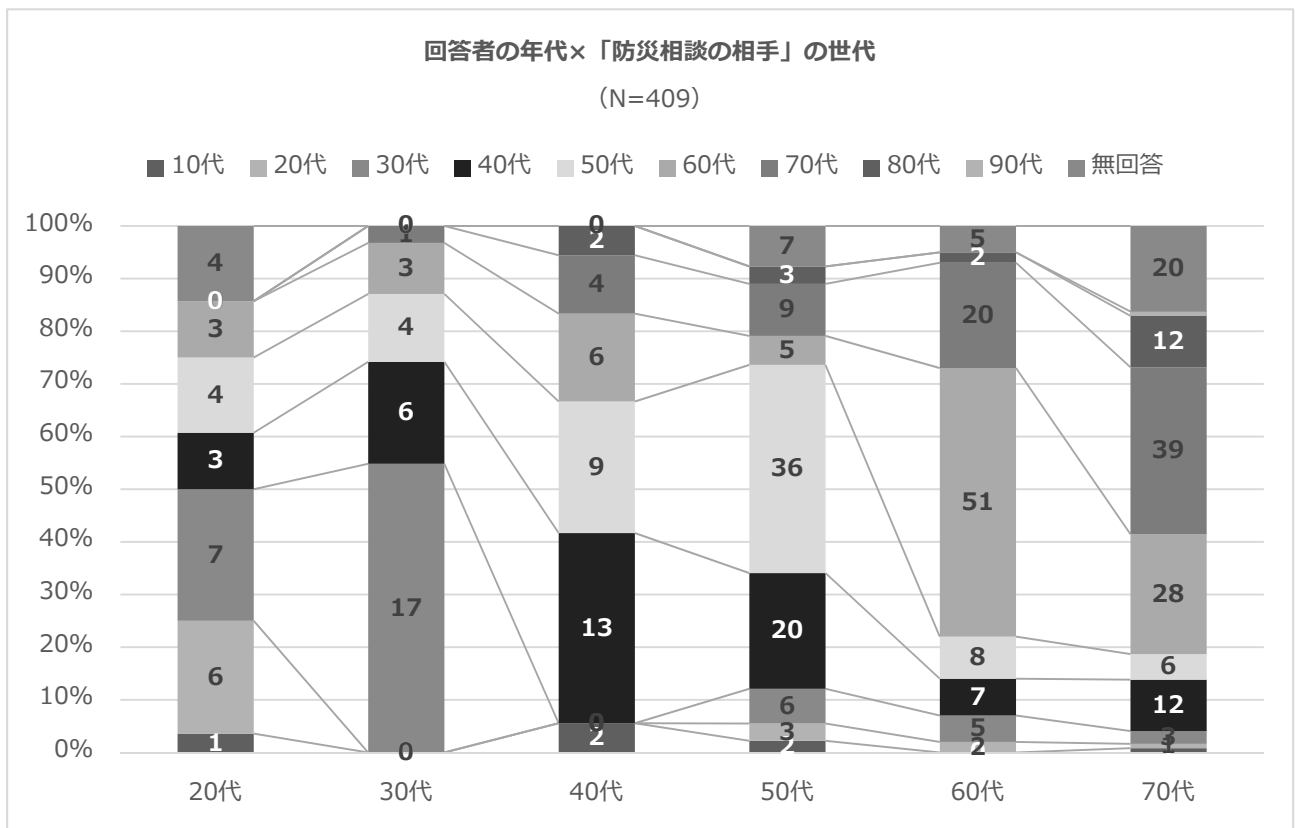
¹ 統計的にもカイ二乗検定の結果、同性を選ぶ傾向が有意 ($\chi^2=28.59, df=1, p<.001$) であった。

6. 4 年代構成

「防災相談の相手」の平均年齢は 56.8 歳 (SD=15.93) であった。「防災相談の相手」を年代別に集計すると下図のようになる。60代が最も多いが、70代、50代、40代と続く。



回答者の年代と「防災相談の相手」の年代との関係性を分析した。「回答者の年代×防災相談の相手の年代」との間に統計的に有意な関係性が確認されている²。また、下図からは、40代は自らの家族と相談する傾向にあるのか、10代や20代の人数が多い。50代以上になると同年代の相手が最も多くなる傾向にあった。

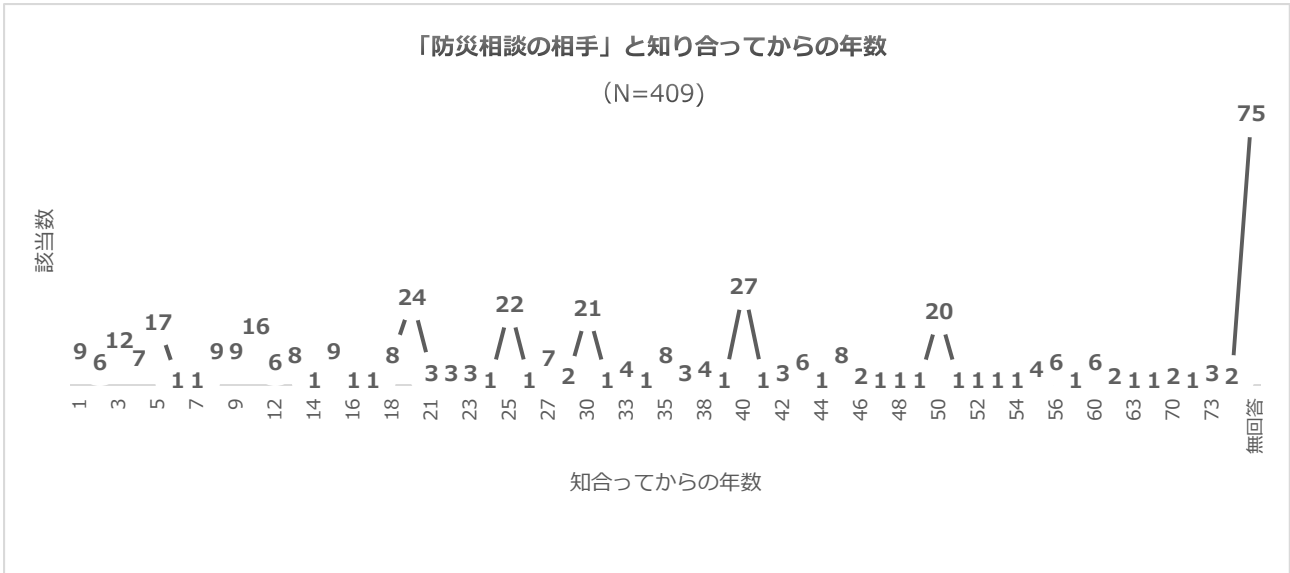


² カイ二乗検定の結果、統計的に有意な関係性があった ($\chi^2=307.00, df=45, p<.001$)。

6. 5 知り合ってから年数

防災について相談する相手と知り合ってからのおよその年数を質問している。10年、20年、25年、30年、40年など区切りの良い年数が多く選択されている。

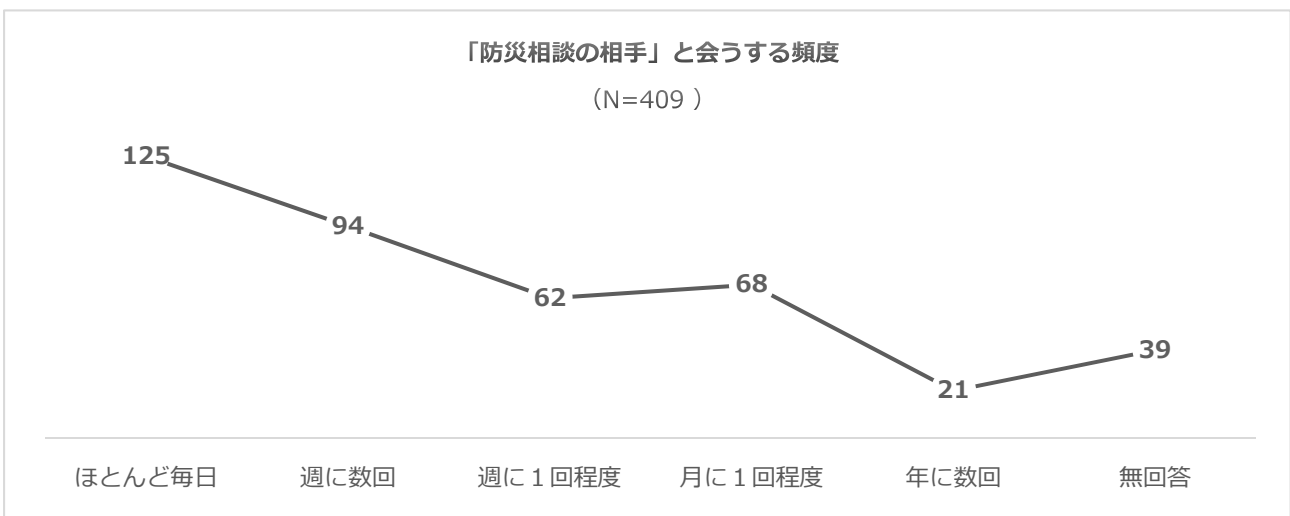
「防災相談の相手」との付き合いの長さの平均年数は27.22年（SD=18.32）で、最短が1年、最長が75年であった。また、相手の年齢が高いほど、長い付き合いであり、回答者の年齢が高いほど、相手と長い付き合いであることがわかった³。



6. 6 相手と会う頻度

「防災相談の相手」の125人（30.6%）とはほぼ毎日会っていて、94人（23.0%）とは週に数回は会っているなど、「親密な相手」や「地元情報を尋ねる相手」と比べるとやや頻度は少なくなっているが、「防災相談の相手」とも7割近くが最低でも週に1回は会っている。

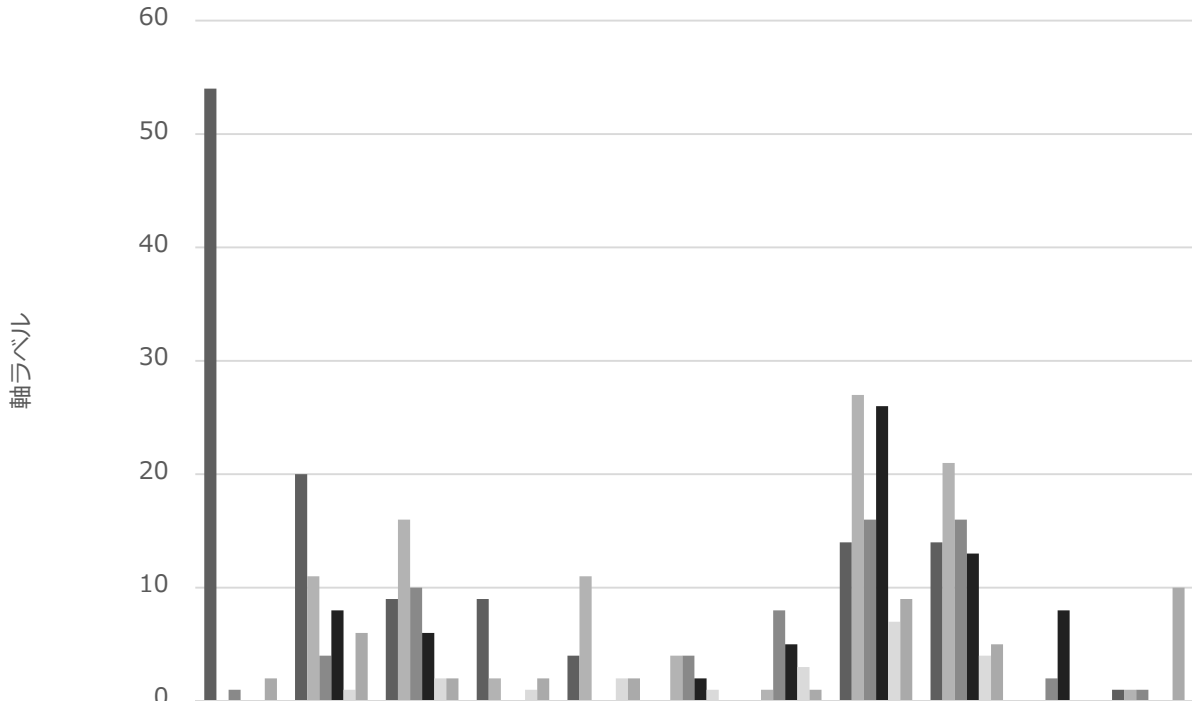
「防災相談の相手」の中で構成比の高い「友人」や「近所の人」では、「ほとんど毎日」から「月に1回程度」まで広く頻度が分布している。このことが、「親密な相手」や「地元情報を尋ねる相手」よりも頻度が低くなっている要因であると考えられる。



³ 相手と知合ってから年数は、相手の年齢と正の相関を示している ($r = .445, p < .001$)。また、回答者の年齢とも正の相関を示している ($r = .448, p < .001$)。

「関係性」×「会う頻度」

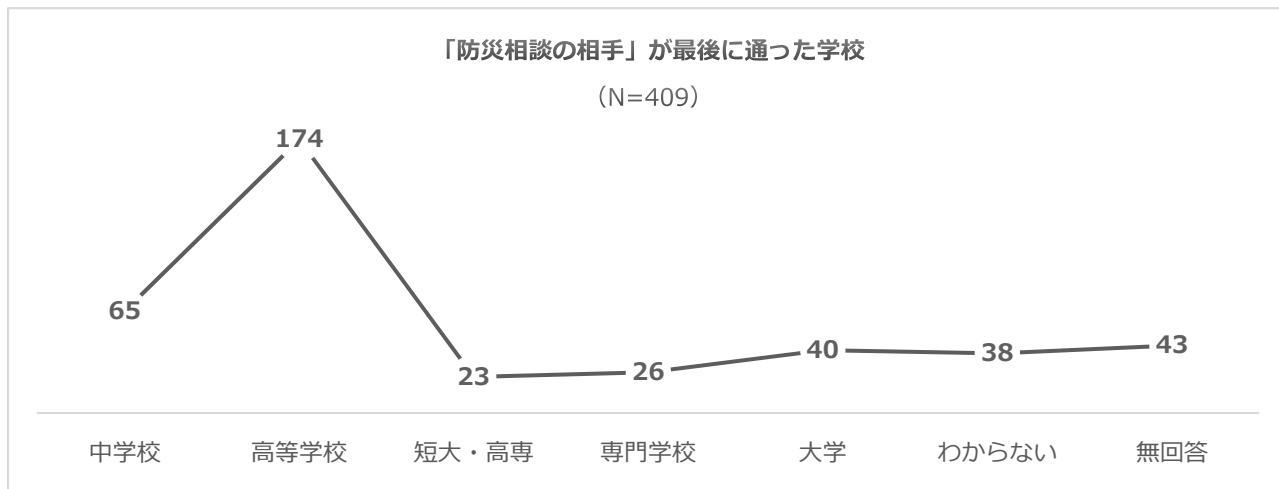
(N=409)



	配偶者 (夫または妻)	親または子ども	兄弟姉妹・その他の家族・親せき	職場の上司または部下	職場の同僚(上司・部下以外)	その他の仕事関係	同じ組織や団体に加入している人	近所の人	友人	その他	無回答
■ ほとんど毎日	54	20	9	9	4	0	0	14	14	0	1
■ 週に数回	0	11	16	2	11	4	1	27	21	0	1
■ 週に1回程度	1	4	10	0	0	4	8	16	16	2	1
■ 月に1回程度	0	8	6	0	0	2	5	26	13	8	0
■ 年に数回	0	1	2	1	2	1	3	7	4	0	0
■ 888	2	6	2	2	2	0	1	9	5	0	10

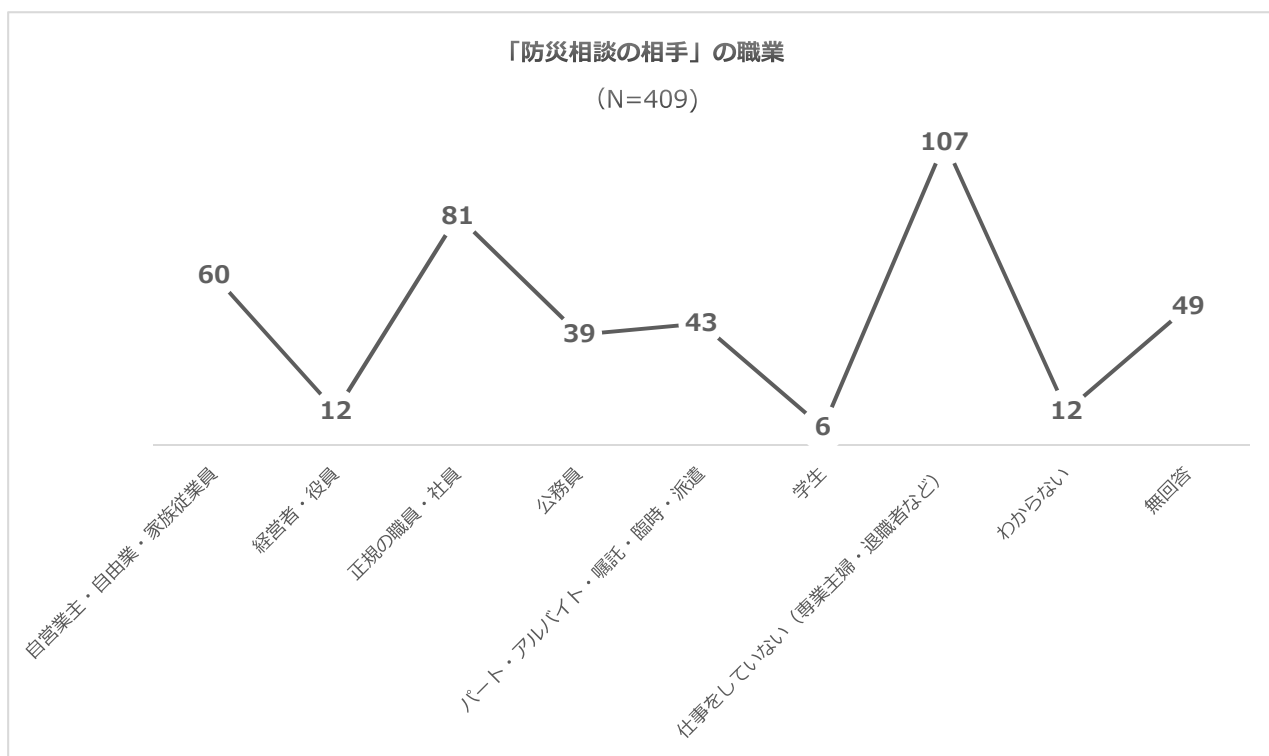
6. 7 教育歴

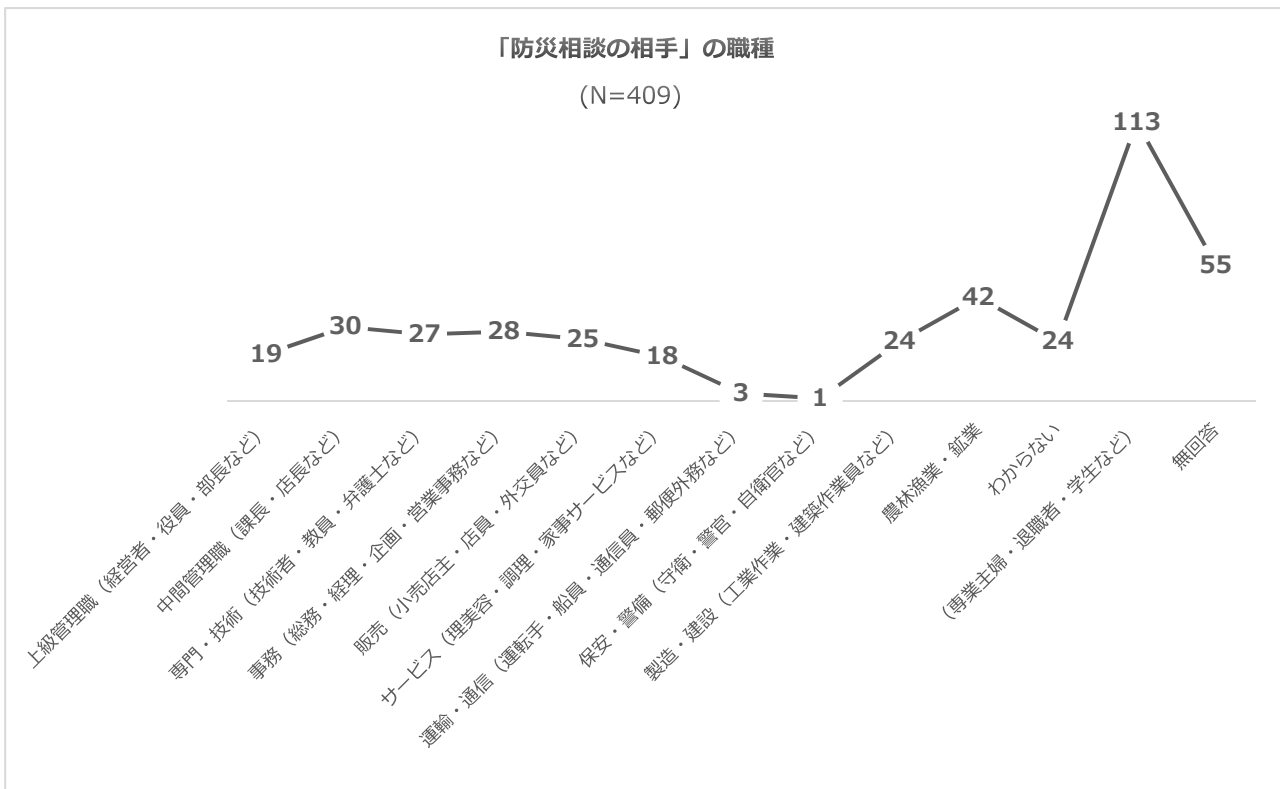
「防災相談の相手」が最後に通った学校はグラフの通りである。高等学校が最も多かった。



6. 8 職業・職種

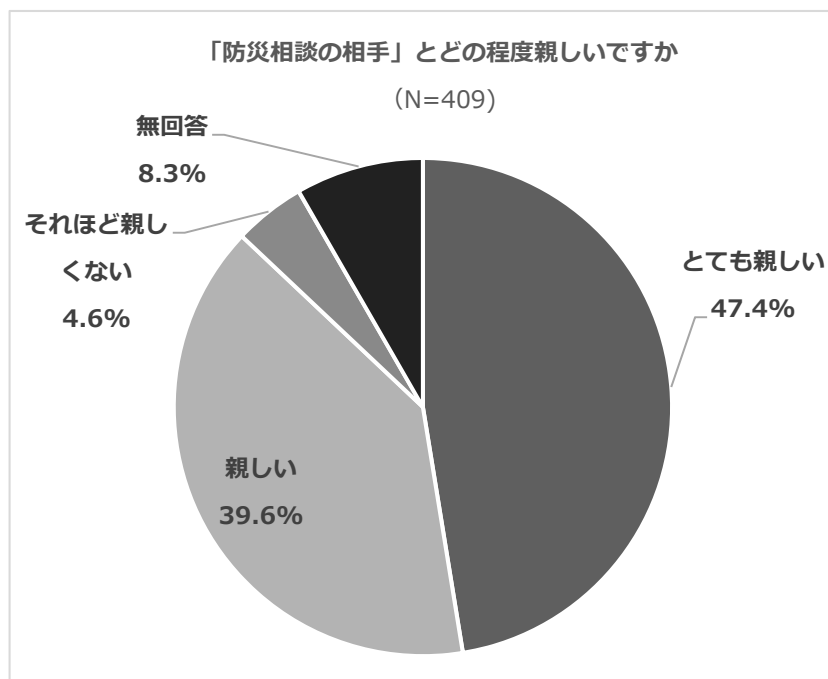
「防災相談の相手」が仕事をしていない」ケースが最も多かった。相談相手が家族・親族で、専業主婦や学生の子どもの子どもが多いためと推測される。次に正規雇用や自営業が多くなっているのは、近所の人や友人がこれらの職業が多いと推測される。



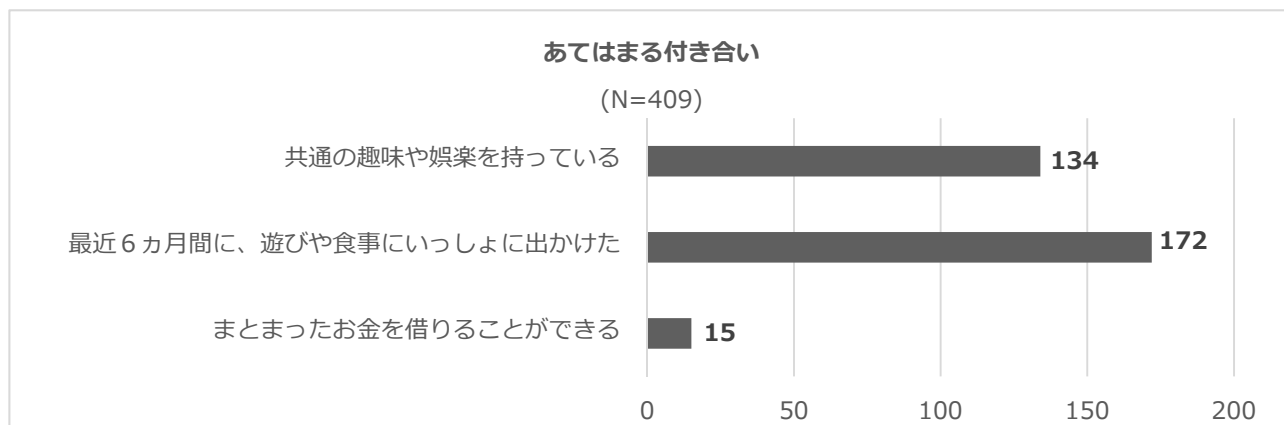


6. 9 付き合いのかたち

防災について相談する相手との親密度は、半数近くが「とても親しい」間柄である一方で、4.6%は「それほど親しくない」と答えている。



また、「防災相談の相手」と具体的にどのような「付き合い」をしているのか、「共通の趣味や娯楽を持っている」、「最近6カ月間に、遊びや食事をいっしょに出かけたことがある」、「まとまったお金を借りることができる」の三つの選択肢から該当するものを選んでもらっている（複数回答）。「共通の趣味や娯楽を持っている」（134人、32.8%）と「最近6カ月間に、遊びや食事をいっしょに出かけたことがある」（172人、42.1%）は四割近くが当てはまる相手であった。しかしながら、大きな信用が関わる「まとまったお金を借りることができる」（15人、3.7%）は5%を切るほど少数派であった。実際に「まとまったお金を借りることができる」相手は、家族に集中しているが、友人や近所の人も一人ずつだけ含まれていた。

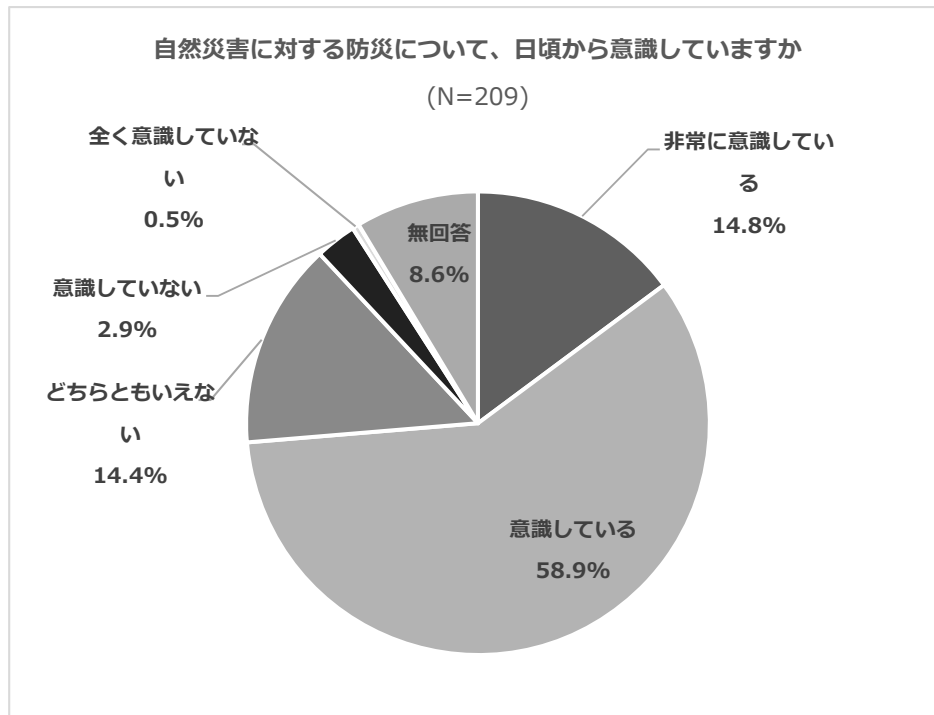


第7章 防災・災害に対する意識や備えの状況

調査票では、防災・災害への意識に関する事柄について質問している。

7. 1 防災意識（自己評価）

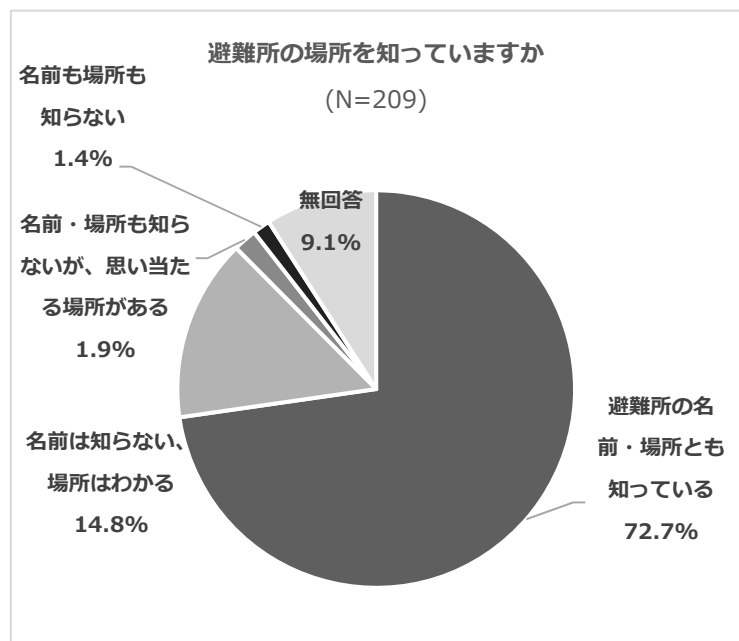
回答者の日頃の自然災害への防犯意識について五段階で質問している。防犯意識の高い人（「非常に意識している」と「意識している」）は154人（73.7）と圧倒的多数である一方で、防犯意識が希薄な人（「意識していない」「全く意識していない」）は7人（3.3）とごく少数であった。黒潮町住民が非常に高い防災意識をもっていることがわかる。



7. 2 避難所の認識

回答者の住む地域の避難所の場所に対する認識について質問している。「避難所の場所も名前とも知っている」と答えたのは152人（72.7%）であり、「名前は知らないが、場所はわかる」との答えは31人（14.8%）であった。自然災害の脅威が迫った場合、避難所を目指してすぐに行動できる準備のある人が183人

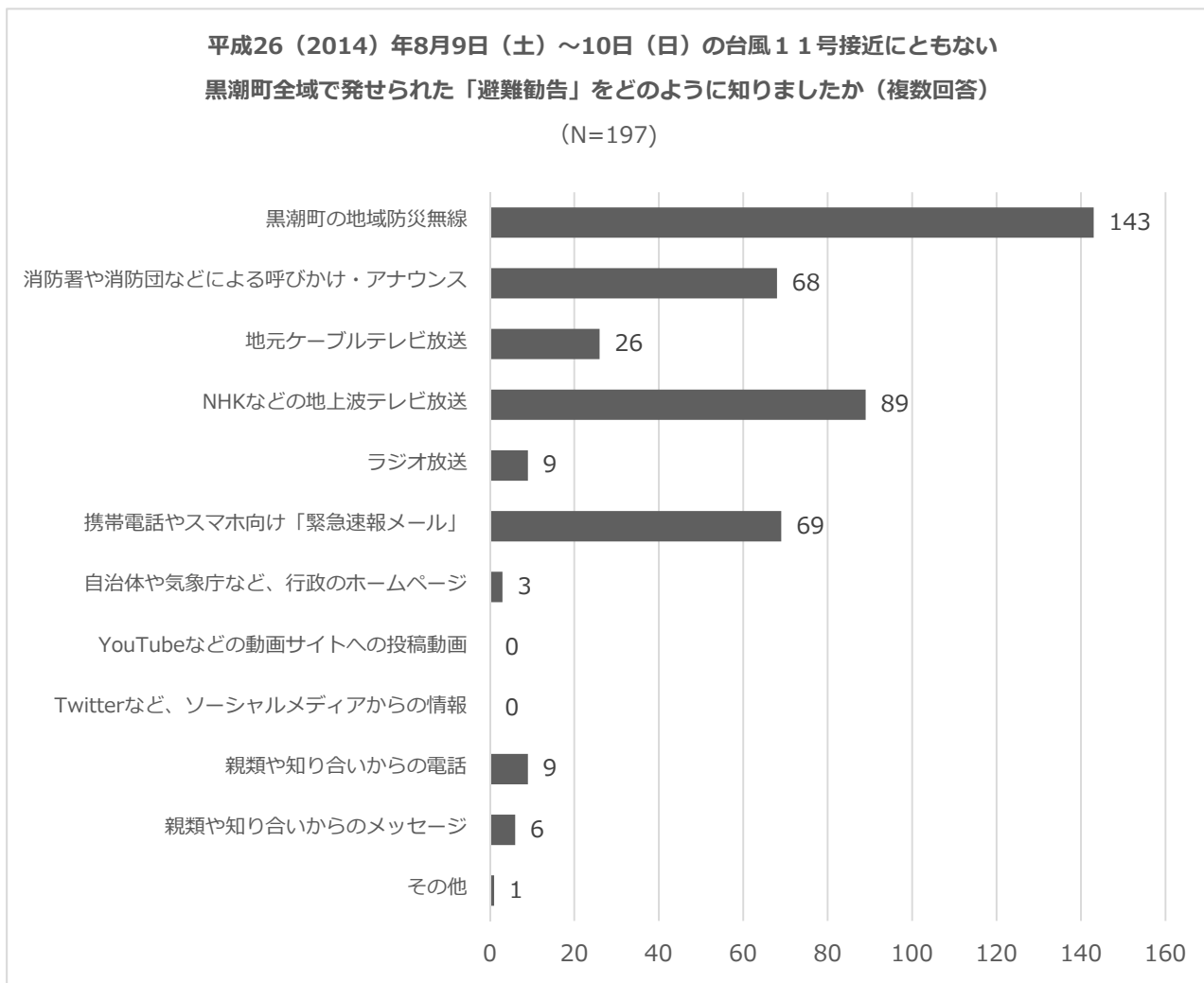
（87.6%）いることになる。ただし、少数派であるが残りの26人（12.4%）への対応は今後の課題となろう。



7. 3 「避難勧告」の通知について

平成26(2014)年8月9日(土)～10日(日)の台風11号接近にともない黒潮町全域で発せられた「避難勧告」について質問している。この質問は、自然災害による被害が想定される実際の状況において、どのような情報経路で災害情報を入手しているのかを検証するためのものである。集計結果は下図の通りである。

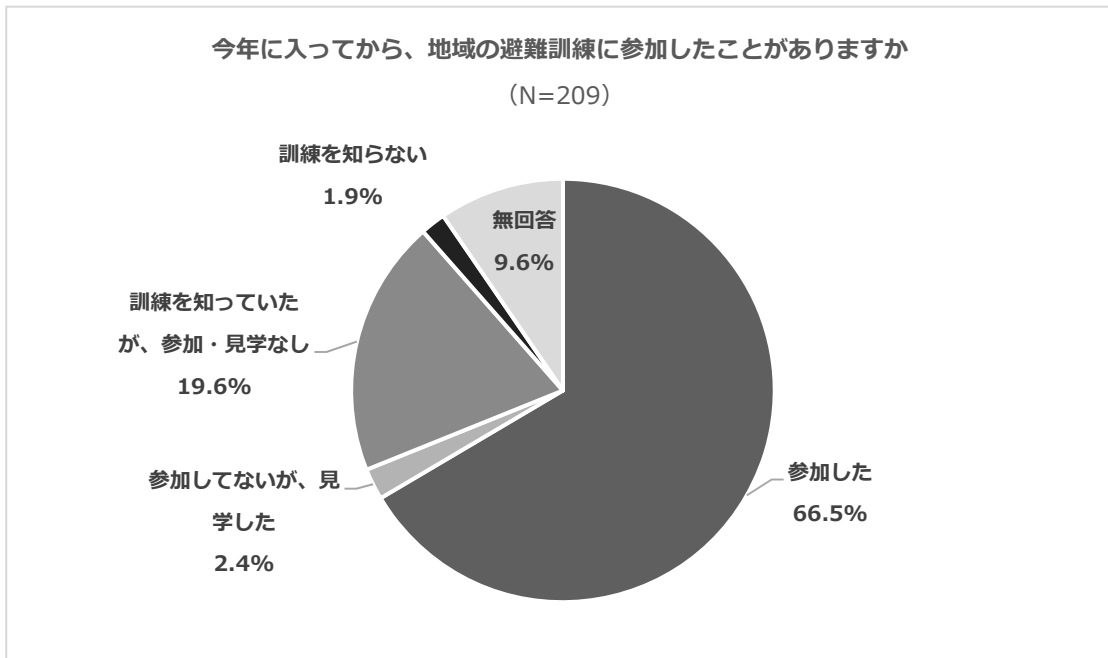
最も多かったのが「地域防災無線」の143(72.6%)で、「NHKなどの地上波テレビ放送」(89、45.2%)、「携帯電話やスマートホン向けの「緊急速報メール」」(69、35.0%)、「消防署や消防団などによる呼びかけ・アナウンス」(68、34.5%)と続く。黒潮町の防災無線の普及状況が(間接的にはあるが)非常に高いことが確認でき、また十分に機能していることがわかる。また、消防署や消防団によるアナウンスも高い効果を挙げていて、コミュニティとしての災害対策機能が十分に働いているようである。また、大きな自然災害の情報源として地上波テレビの存在の大きさを確認できたとともに、急激に普及してきた「緊急速報メール」も機能していることが確認できよう。一方でインターネット経由での情報へは全く依存していない状況も確認された。デジタル機器の普及の問題や情報インフラ整備状況なども関連していようが、インターネット発信の情報への信頼度の問題もあるのかもしれない。



7. 4 避難訓練への参加状況

「今年に入ってから、地域の避難訓練に参加したことがありますか」という質問をし、5つの選択肢から近いものを1つ選んでもらった。選択肢は下図にある通りである。

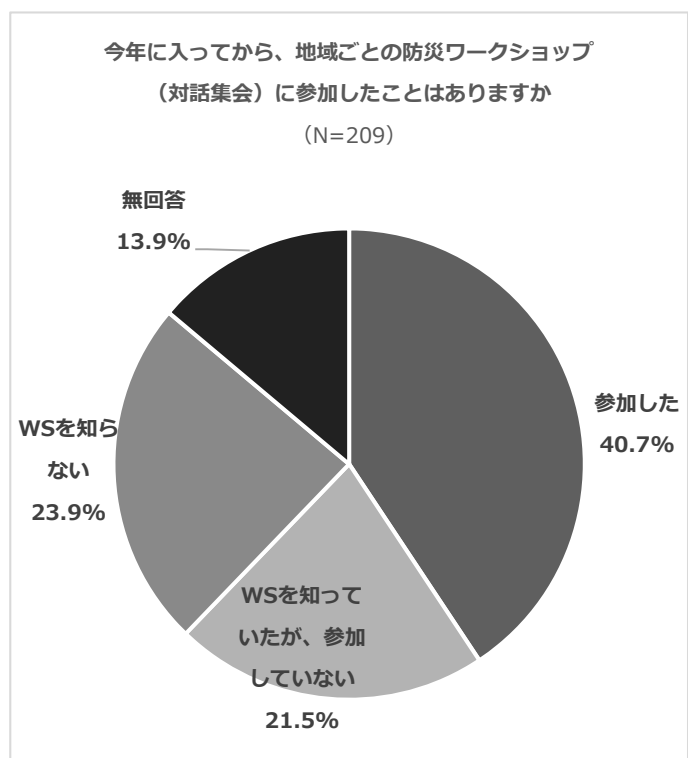
実際に参加・見学した回答者は144人（68.9%）と7割近くを占めた。一方で、3割近くの住民が参加・見学しておらず、これらの人びとへの対応は今後の課題となりそうである。



7. 5 区民集会への参加状況

黒潮町は、政府の南海トラフ地震シミュレーションにおける34mの津波想定が出された後、町を集落ごとの区に分けてきめ細やかな災害対策を試みてきた。その一つが地区ごとの防災ワークショップ（WS）と聞いている。この「防災ワークショップ」への参加について質問している。集計結果は右図の通りである。

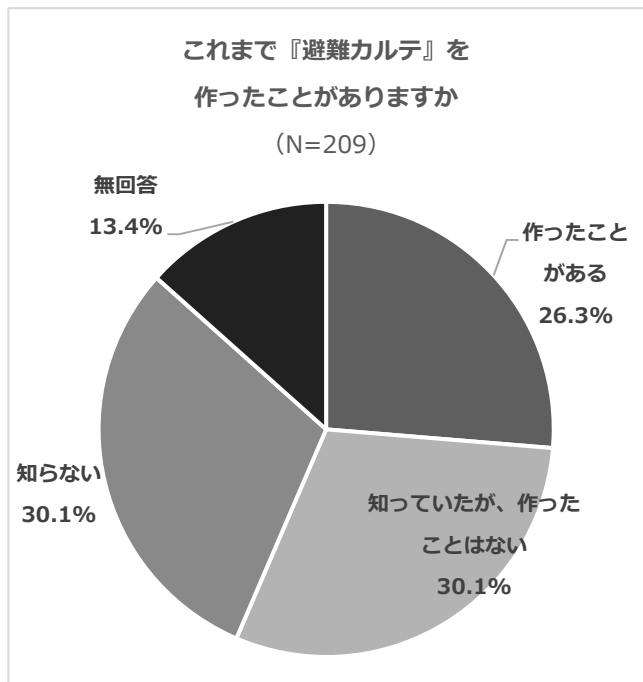
「防災ワークショップ」へ参加したと答えたのが85人（40.7%）、ワークショップについて知っていたが参加していない人が45人（21.5%）、ワークショップそのものを知らないと答えたのが50人（23.9%）であった。少なくとも「知らない」と答えた1/4の住民への広報活動は今後重要になろう。ワークショップを知っていながら参加できていない住民に対しては、ワークショップ開催の日時や場所の調整の工夫が必要なのかもしれない。



7. 6 『避難カルテ』の作成について

調査票では、「これまで『避難カルテ』を作ったことがありますか」と質問している。従来の想定から大幅に外れた津波想定により、地域の「面的」な一斉避難という画一的な考えではなく、各家庭の実際の環境を考慮した、家庭独自の避難計画が重要となってきたため、『避難カルテ』の作成が推奨されている。集計結果は右図の通りである。

実際に作ったことがあると答えたのは55人(26.3%)であった。7割近い家庭では避難カルテを作成した経験がないことになる。しかしながら、「知っていたが、作ったことはない」と合わせると過半数を超えており、『避難カルテ』の認知度は高いと言えるのではないかと。『避難カルテ』についても地道な広報活動も重要であろうし、実際にカルテ作成の機会をいかに創るかについても検討していく必要がある。



7. 7 自然災害への準備活動について

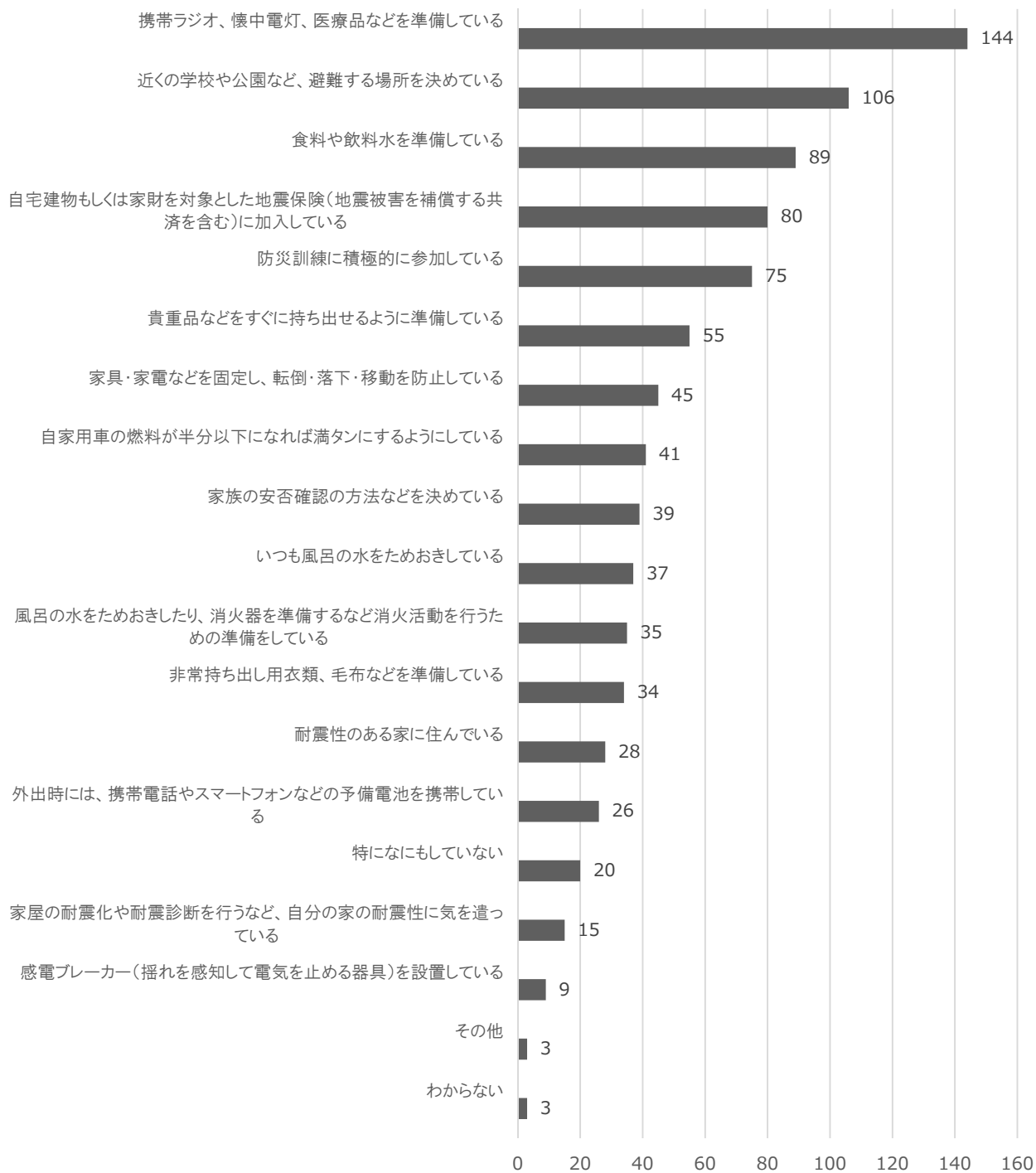
調査票では、自然災害に備えて取り組んでいる活動17項目について、実際に対処しているか否かを質問している。なお17項目については、内閣府が平成11年6月に実施した「防災と情報に関する世論調査」¹の調査票における「大地震に備えてとっている対策」の質問項目を参考に作成した。集計結果は下図の通りである。

過半数の該当数を得たのは「携帯ラジオ、懐中電灯、医療品などを準備している」(該当数144、73.1%)と「近くの学校や公園など、避難する場所を決めている」(該当数106、53.8%)の2項目のみであった。続く「食料や飲料水を準備している」(該当数89、45.2%)と「自宅建物もしくは家財を対象とした地震保険(地震被害を補償する共済を含む)に加入している」(該当数80、40.6%)も4割は超えていた。「防災訓練に積極的に参加している」(該当数75、38.1%)も4割近くの回答を得ている。ただし、7.4において7割近くの住民が実際に防災訓練に参加したと答えているので、積極性がなくとも、しっかり地域の防災訓練に多くの人が参加していると推測される。

¹ 内閣府大臣官房政府広報室「防災に関する世論調査」のHPを参照 (HP: <http://survey.gov-online.go.jp/h25/h25-bousai/index.html>; アクセス: 2016年4月22日)

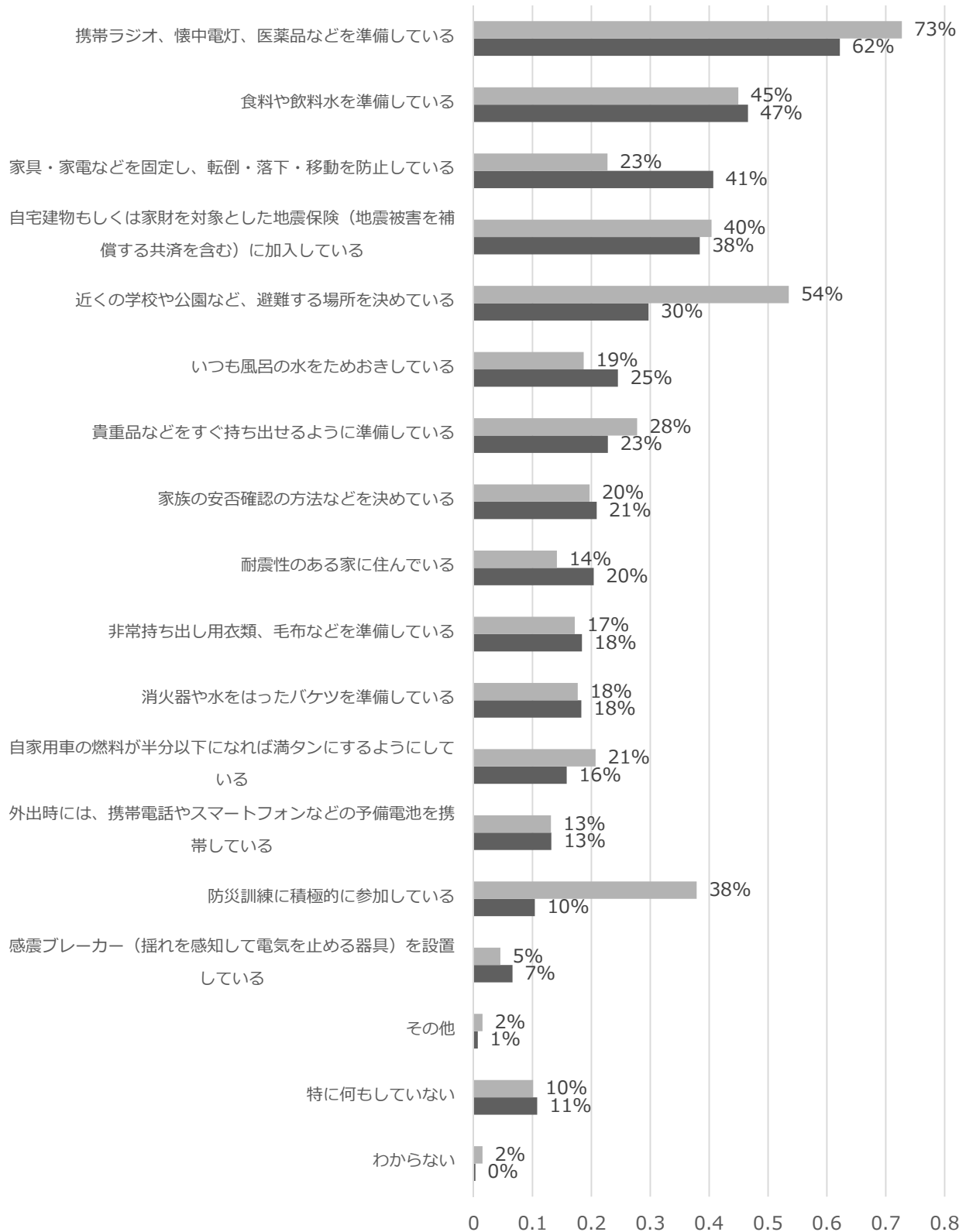
自然災害に備えてとっている対策について、
あてはまるものすべてを選んでください（複数回答）

(N=198)



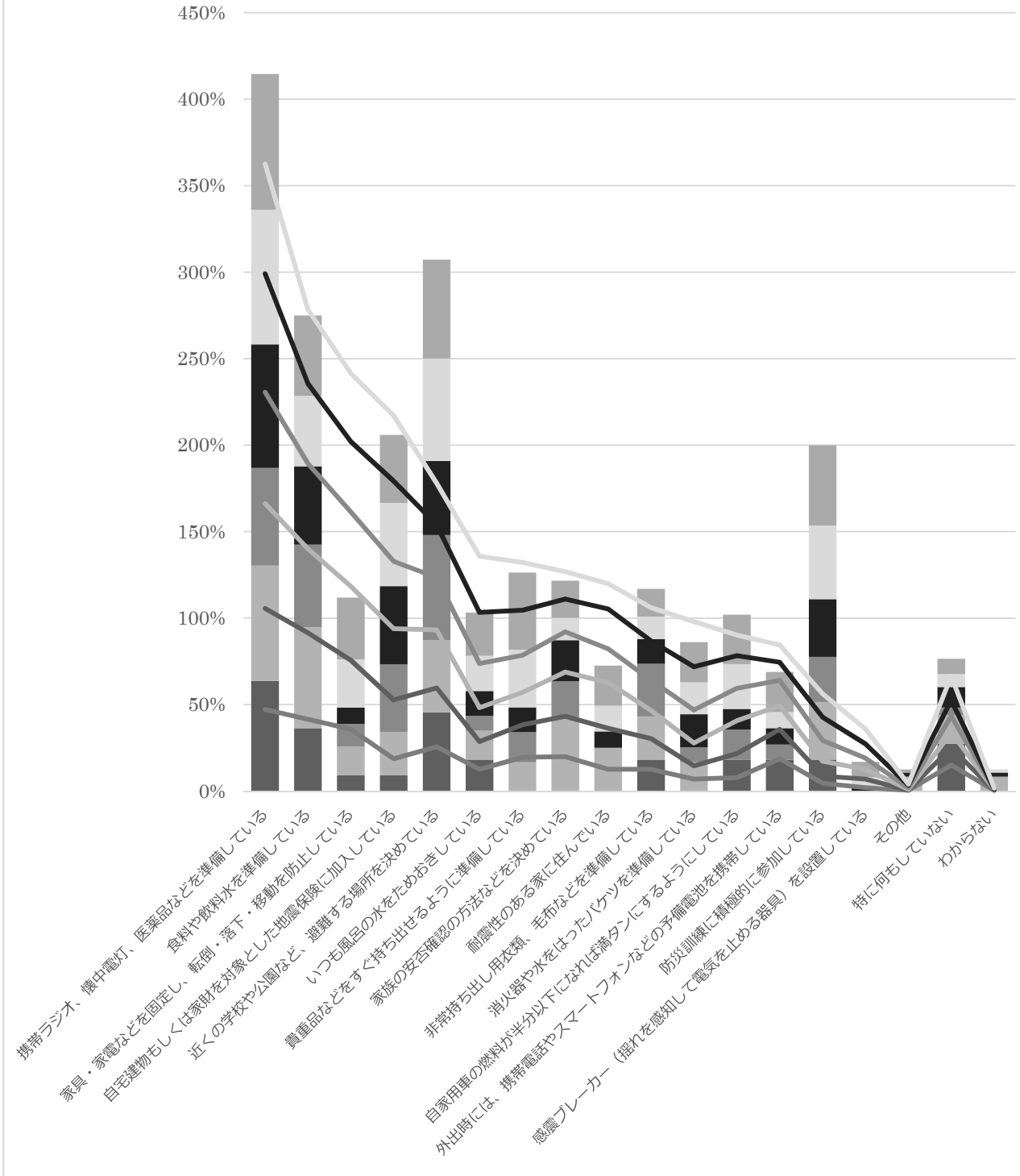
自然災害（大地震）に備えていること

■ 黒潮町(N=198) ■ 内閣府(N=3110)



自然災害（大地震）に備えていること（年代別）

（黒潮町民と内閣府調査との比較）



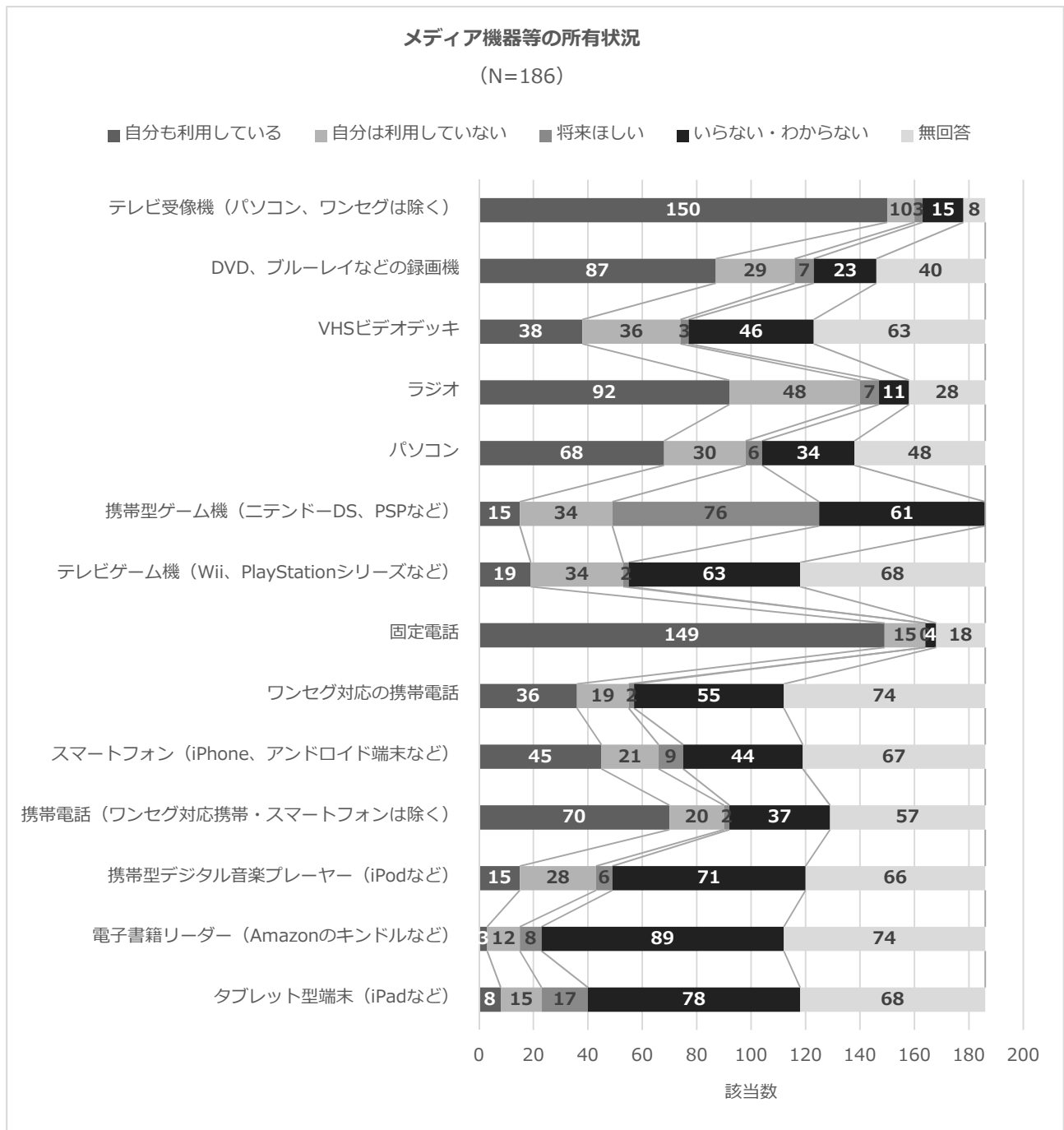
注) 「黒潮町調査」と「内閣府調査」とのそれぞれにおいて、各項目において各世代に該当する人数比率 (%) を積み上げたグラフ

第8章 普段のコミュニケーション状況

調査票では、回答者の日常生活における多様なコミュニケーションについて質問している。

8.1 メディア機器の所有状況

各種メディアの所有状況について、「(家にあって) 自分も利用している」、「(家にあって) 自分は利用していない」、「(家になくて) 将来ほしい」、「(家になくて) いらぬい・わからない」の4択で質問している。集計結果は下図の通り。



テレビ放送関連のメディア機器の世帯普及率が高い傾向にあり、テレビ受信機（160）は世帯普及率86.0%、DVD やブルーレイの録画機（116）は62.4%であった。ラジオ（140）についても世帯普及率が75.3%と高く、放送機器の普及の高さを再確認した。

パーソナルメディアの代表である電話においては、固定電話（164）の世帯普及率が88.2%となっている一方で、何らかのケータイ（携帯電話およびスマートフォンも含む）を自分で利用している人は132人で、普及率は71.0%であった。ケータイの高い普及率も確認できる。しかしながらスマートフォンについては、自身で利用しているのが45人で、普及率は24.2%と調査時においてはそれほど高くない状況にあった。

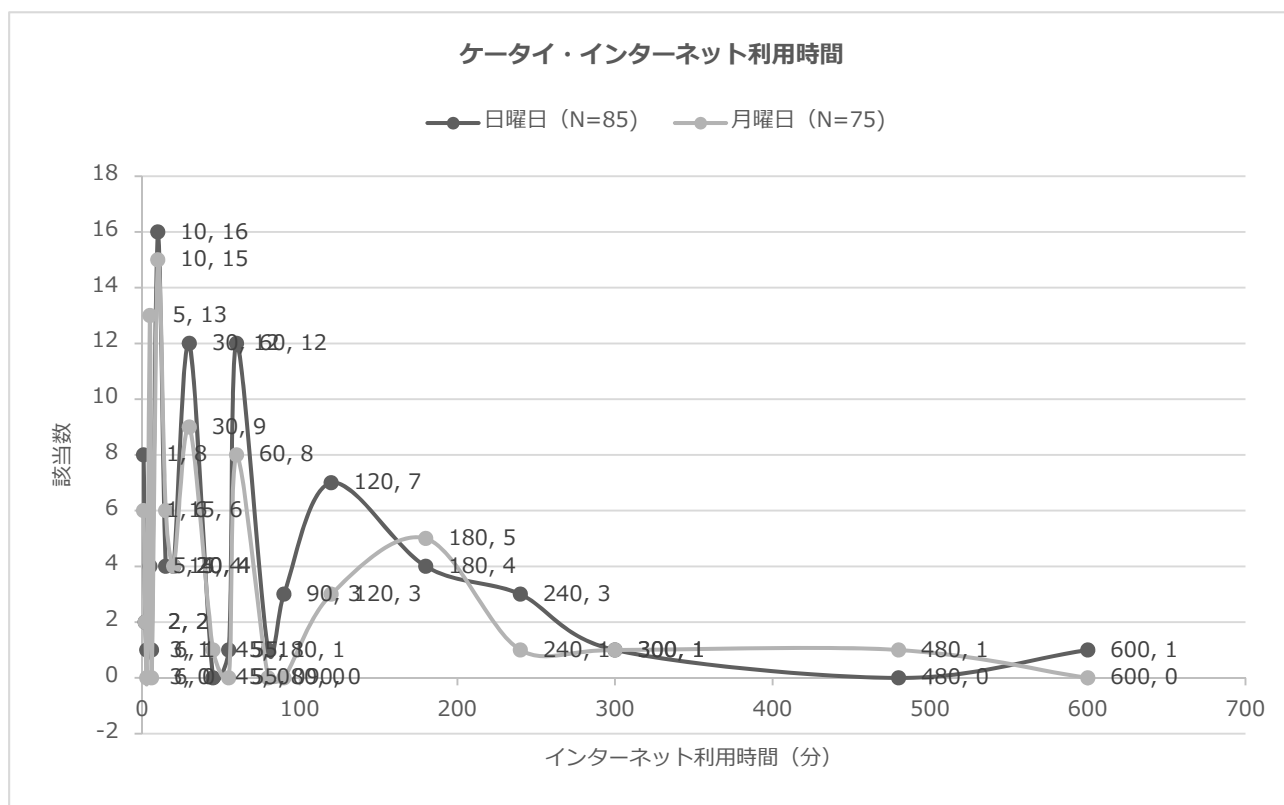
デジタルメディアについては、パソコン（98）の世帯普及率が52.7%と過半数を超えているが、その他のゲーム機（テレビゲーム（53、28.5%）、携帯型ゲーム（49、26.3%））や音楽プレーヤー（43、23.1%）、タブレット端末（23、12.4%）などの世帯普及率は3割にも満たない現状であった。

8. 2 “ケータイ”・インターネット・サービスの利用状況

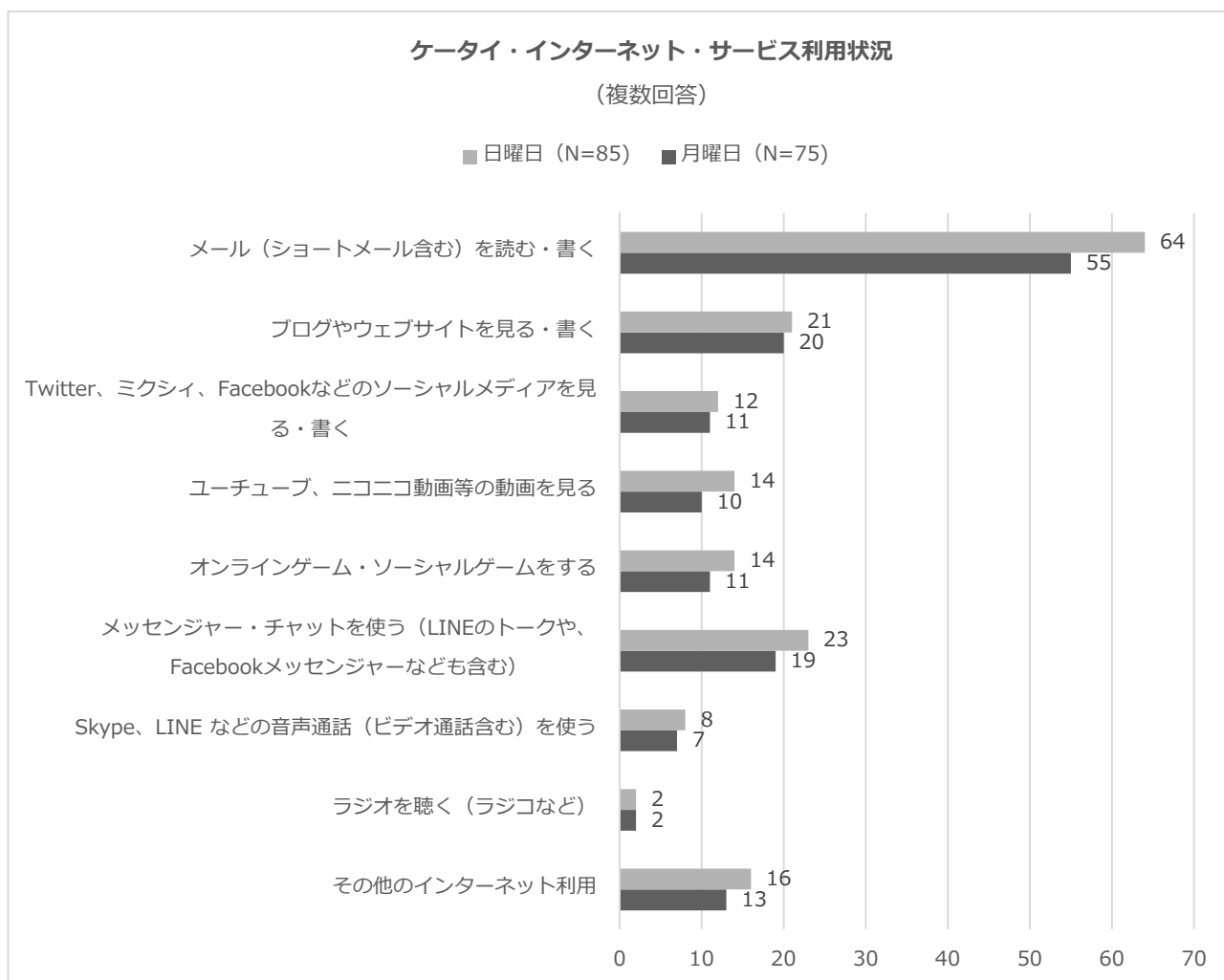
ケータイ（携帯電話やスマートフォンを含む総称として、以下では“ケータイ”と記す）からのインターネット・サービスの利用状況について質問している。

ケータイからインターネット・サービスを利用しているおよその時間について、日曜日（週末）と月曜日（平日）について質問した。日曜日のケータイ・インターネットの平均利用時間（N=85）は58.9分（SD=87.99）と、およそ1時間であった。平日の月曜日のケータイ・インターネットの平均利用時間（N=75）は46.3分（SD=79.39）であり、週末の日曜日より短いことがわかった。

1時間以下の利用者数は、日曜日は65人（76.5%）で、月曜日は64人（85.3%）であった。ほとんどのケータイ・インターネット利用者は、1日に1時間程度の利用であることがわかる。1時間を超える利用者が多くないが、一部に10時間（日曜日）や8時間（月曜日）を超える利用もあり、ヘビーユーザーの存在が少数ではあるが確認できる



実際に利用しているインターネット・サービスについてしてみると、メールの読み書きが圧倒的に多いのがわかる。その次に多い利用は、ウェブページの閲覧や、LINE やメッセージなどのチャットであり、親しい友人・知人とのコミュニケーションに利用している時間が多いことがわかる。

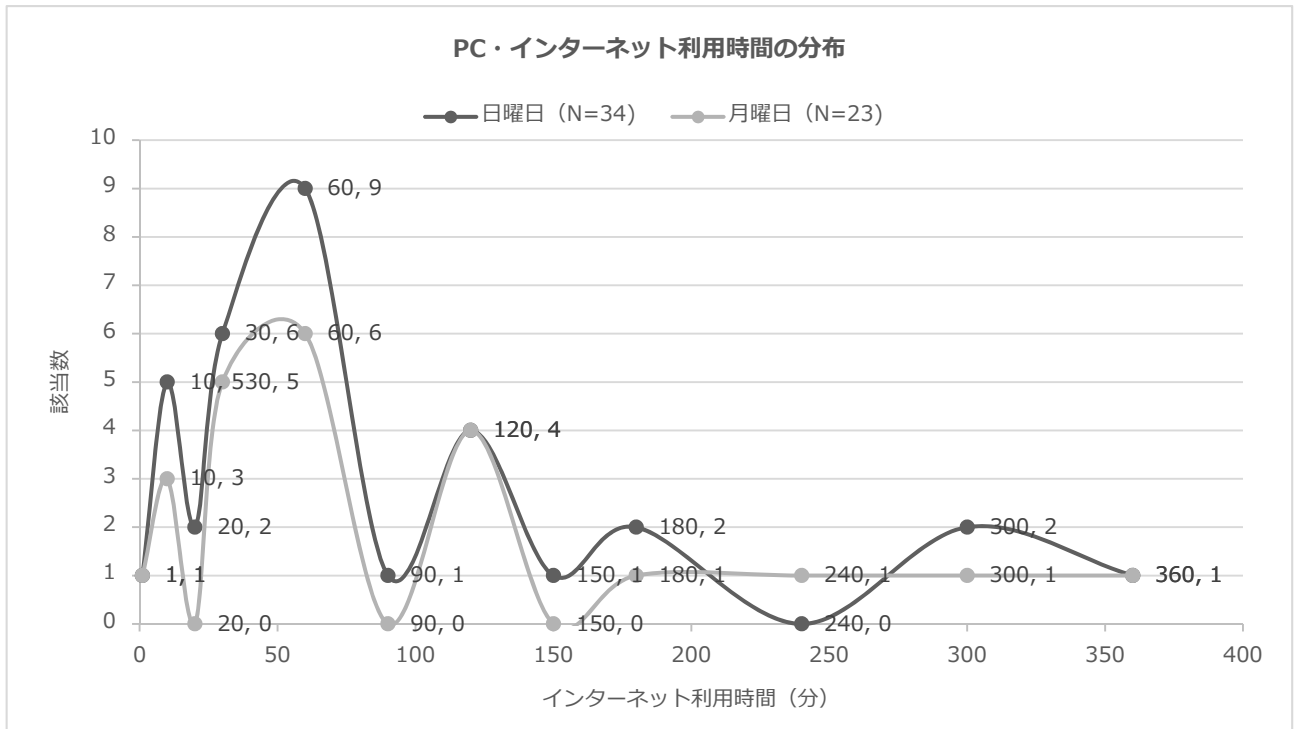


8. 3 PC インターネット・サービスの利用状況

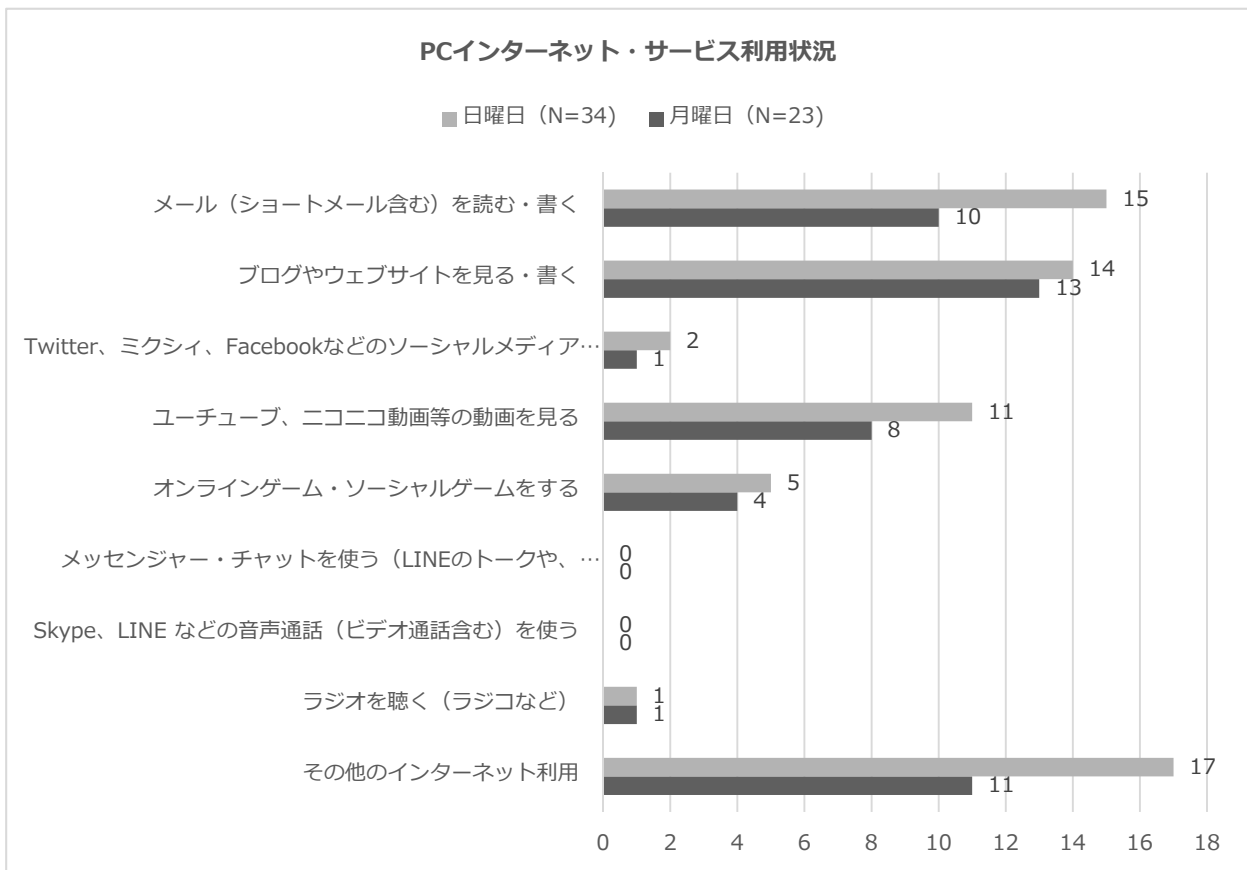
パソコン (PC) からのインターネット・サービスの利用状況について質問している。

PC からインターネット・サービスを利用しているおおよその時間について、日曜日 (週末) と月曜日 (平日) について質問した。日曜日の PC インターネットの平均利用時間 (N=34) は 83.9 分 (SD=89.21) と、およそ 1 時間半弱であった。平日の月曜日のケータイ・インターネットの平均利用時間 (N=23) は 91.4 分 (SD=95.75) であり、週末の日曜日より長かった。

1 時間以下の利用者数は、日曜日は 23 人 (67.6%) で、月曜日は 15 人 (65.2%) であり、ケータイ・インターネットよりも利用時間が長い傾向が読み取れる。3 時間以上のヘビーユーザーをみると、日曜日で 5 人 (14.7%)、月曜日で 4 人 (17.4%) となっており、15% 前後で存在している。ただし、ケータイのように常時携帯する機器ではないため、PC インターネット利用時間は最長でも 6 時間に留まり、超ヘビーユーザー間の比較ではケータイのほうが長くインターネットを利用していることがわかる。PC インターネット利用は、平均時間はケータイより長いものの、超ヘビーユーザーのレベルではケータイ・インターネットのほうが利用時間が長いことがわかる。

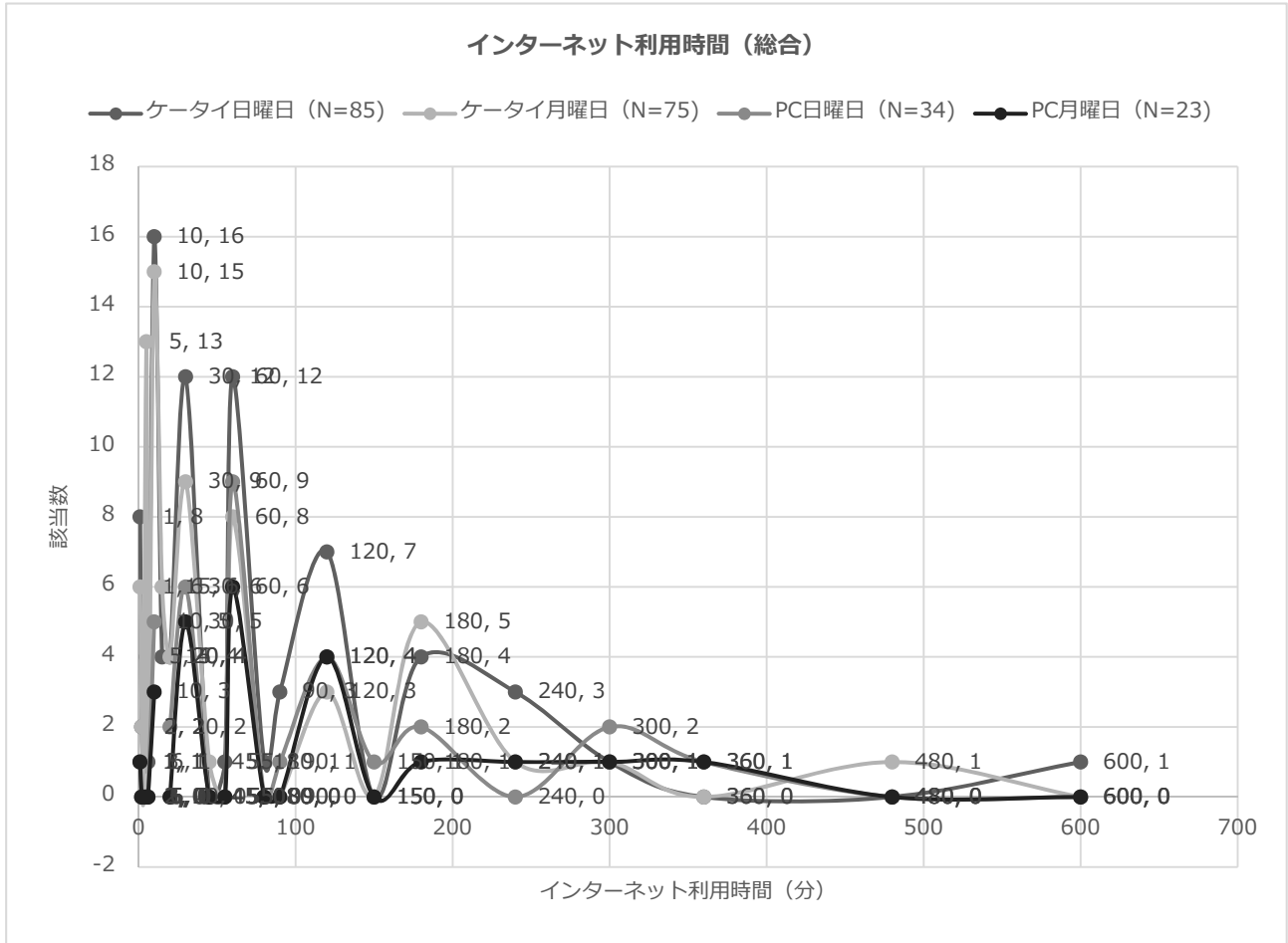


実際に利用しているインターネット・サービスについてしてみると、メールの読み書きやウェブ閲覧が圧倒的に多く、この点ではケータイ・インターネットとの差がない。しかしながら、動画視聴においてはPCからの利用が非常に多い。また、その他の利用も多く、PCインターネット利用のほうが多様性があることがわかる。

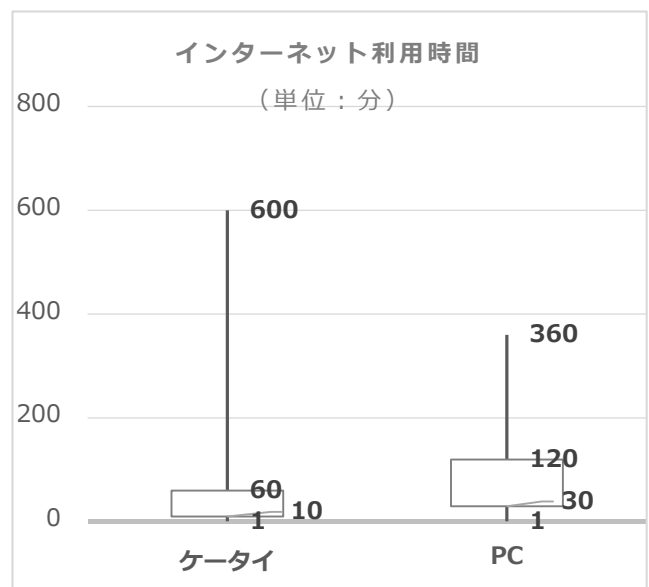


8. 4 インターネットの利用について（全体）

全体としてのインターネット利用時間について分析している。ケータイとPCとの両方の端末からのインターネット・サービス利用時間について集計した。全体の平均利用時間は61.9分（SD=87.04）で、最短が1分で、最長が600分（10時間）であった。



ケータイからのインターネット平均利用時間（53.0分、SD=85.04）とPCからのインターネット平均利用時間（86.9分、SD=91.13）とを比較すると、PCのほうがケータイよりも長時間インターネットを利用している傾向がわかった¹。しかしながら、日曜日と月曜日との間には統計的な有意差は確認されなかった。

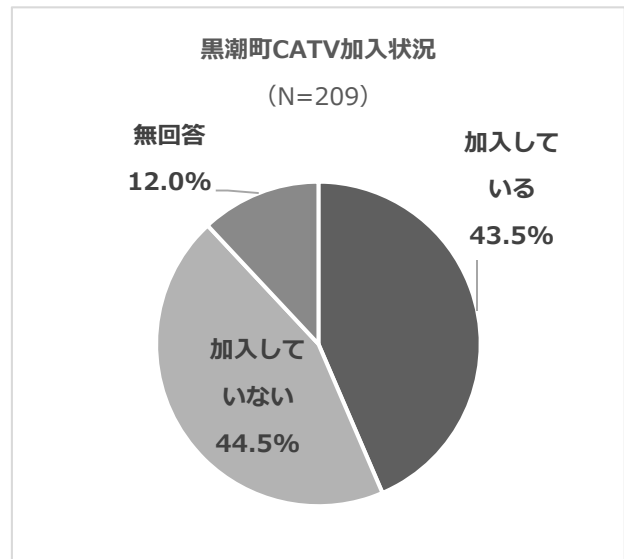


¹ t検定の結果（ $t=2.557, df=215, p<.05$ ）、統計的に有意差が確認された。

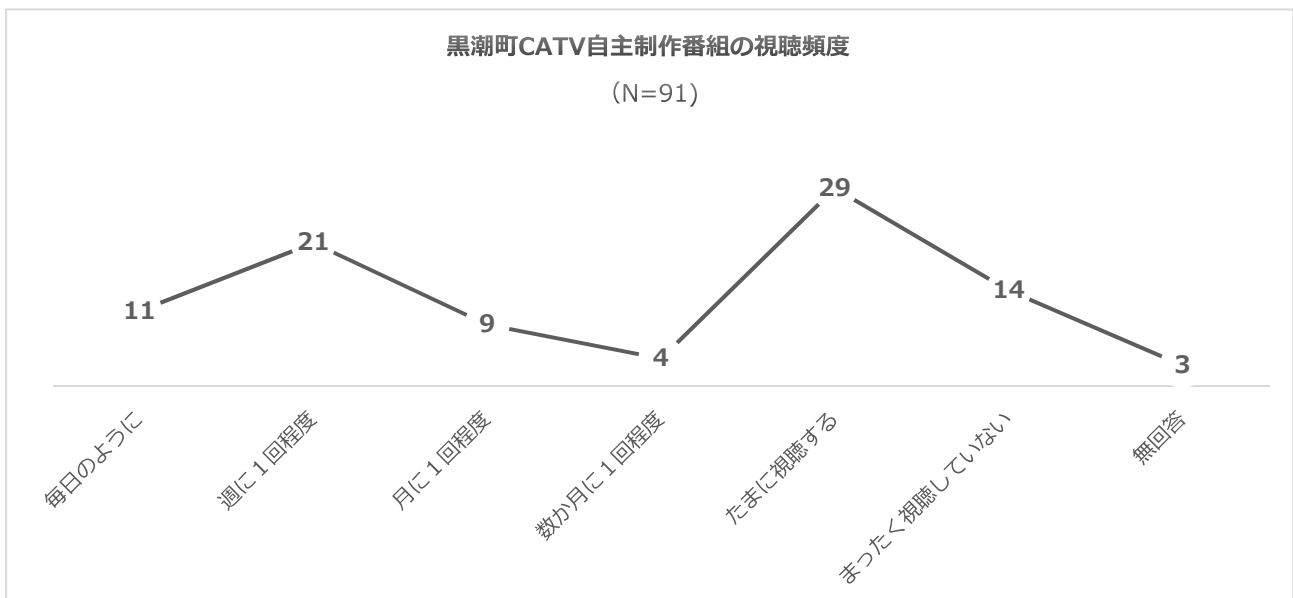
8. 5 黒潮町ケーブルテレビについて

黒潮町営ケーブルテレビへの加入状況について質問している。

調査時点でケーブルテレビに加入しているのが91人で43.5%であり、過半数を下回っていた。



黒潮町ケーブルテレビの自主制作番組の視聴頻度についても質問している。週1回以上、自主制作番組を視聴していると答えたのが33人（「毎日のように」11人と「週に1回程度」21人の合計）で36.3%であり、積極的に自主制作番組を視聴して層が1/3程度いることがわかった。一方、「たまに視聴する」は29人の31.9%で、「まったく視聴しない」も14人（15.4%）いた。



調査票では、よく視聴している自主制作番組についても自由記述してもらっている。傾向としては、町議会中継や行事・イベント、そして釣り番組などが挙げられていた。

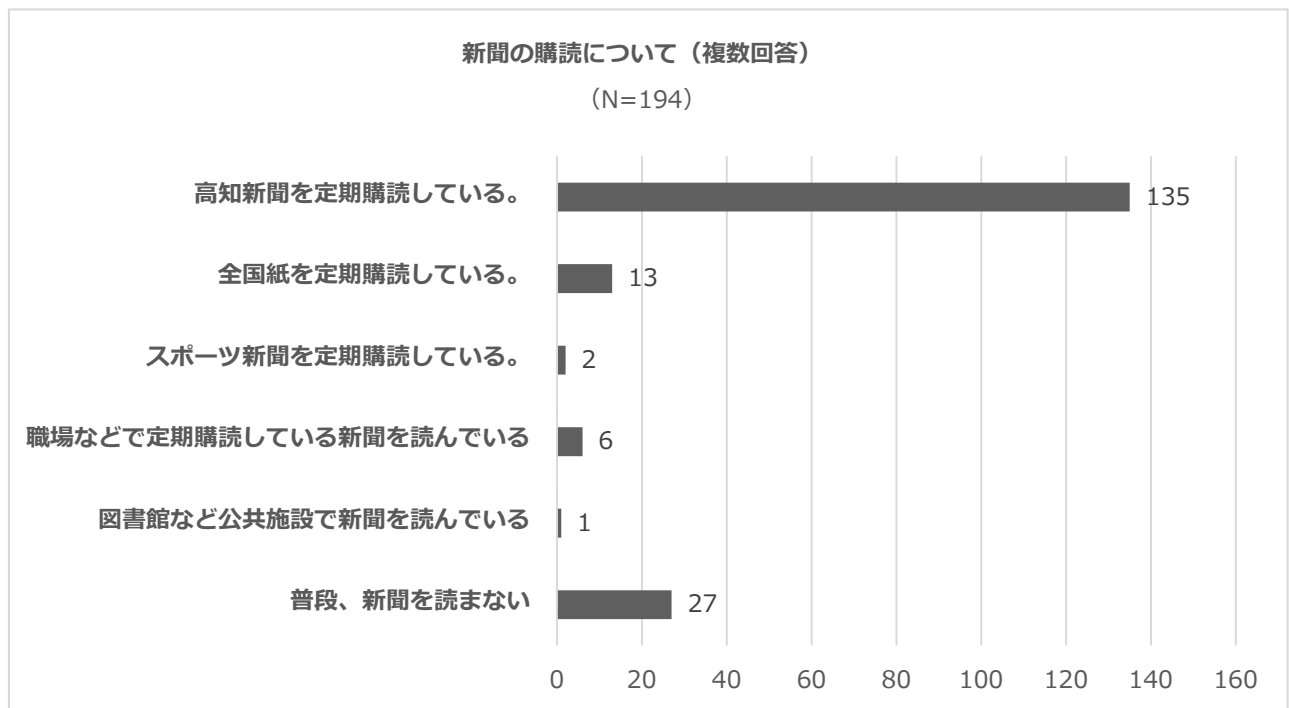
よく視ている番組名	黒潮町町議会放送(3)、町の行事・イベント(2)、つり(2)、IWK ニュース(1)、いとたら(1)、イベント(1)、お天気(1)、くろしおチルドレン(1)、ロコクロ体操(1)、教えて食改さん(1)、耳をすませば(1)、防災等(1)
ときどき視ている番組名	運動会など行事の特集(7)、黒潮町議会(6)、片さんの釣番組(3)、IWK NEWS(1)、おしえて食改さん(1)、くろしおチルドレン(1)、健康体操(1)、行政チャンネル(1)、黒潮人(1)、町のイベント(1)

注：カッコ () 内は回答数

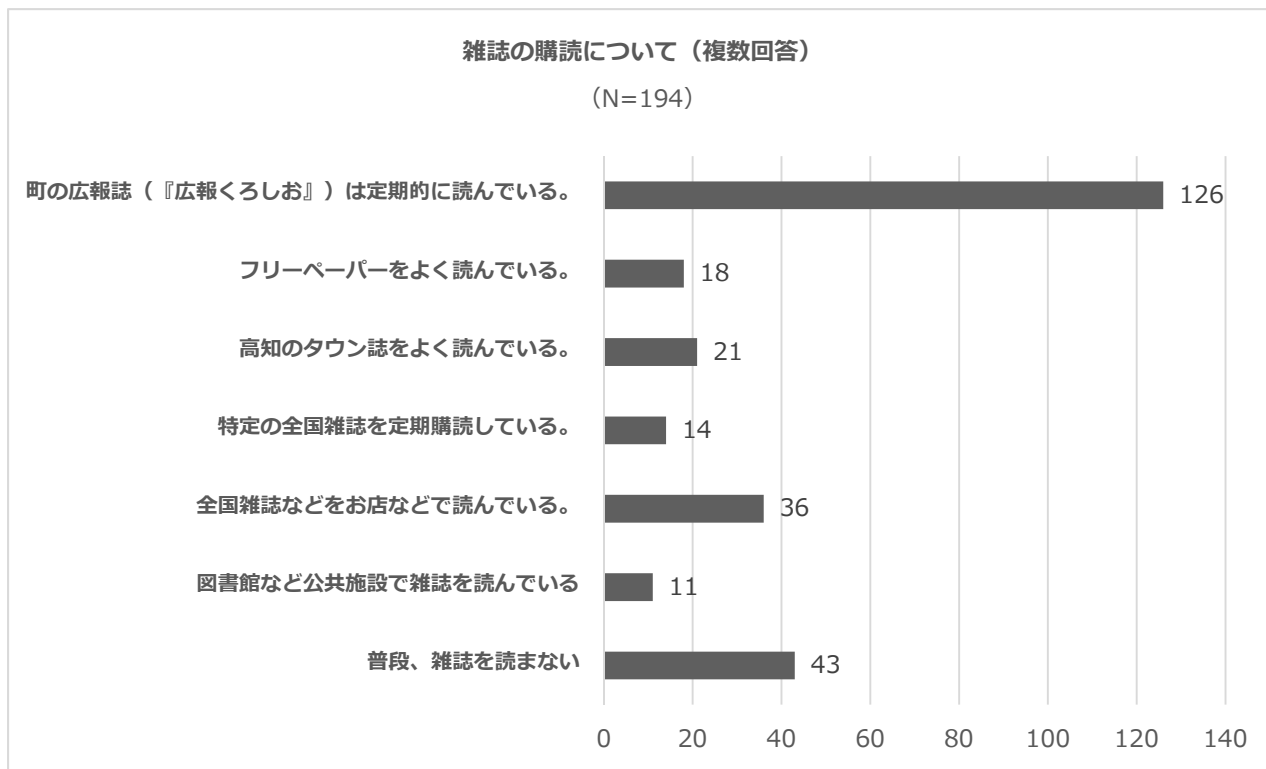
8. 6 新聞・雑誌の購読について

新聞や雑誌の購読状況について質問している。

新聞の購読については、地元紙・高知新聞を購読していると答えたのが 135 人 (69.6%) で、7 割近くの世帯で高知新聞を購読していることがわかった。一方、全国紙を定期購読しているとは回答したのは 13 人 (6.7%) と 1 割にも満たない状況であった。「普段、新聞を読まない」と回答した人も 27 人 (13.9%) いた。



雑誌についても質問している。黒潮町が発行している広報誌『広報くろしお』を定期的に読んでいると回答したのが126人(64.9%)、町民の間に浸透している現状がわかる。一方、一般に発行されている雑誌については、お店などで読む人が36人(18.6%)ほどいるが、自ら雑誌を入手して読む層(「フリーペーパーをよく読んでいます」(18人、9.3%)、「高知のタウン誌をよく読んでいます」(21人、10.8%)、「特定の全国雑誌を定期購読している」(14人、7.2%))は1割程度しか確認されず、雑誌はあまり読まれていない状況がみえてくる。

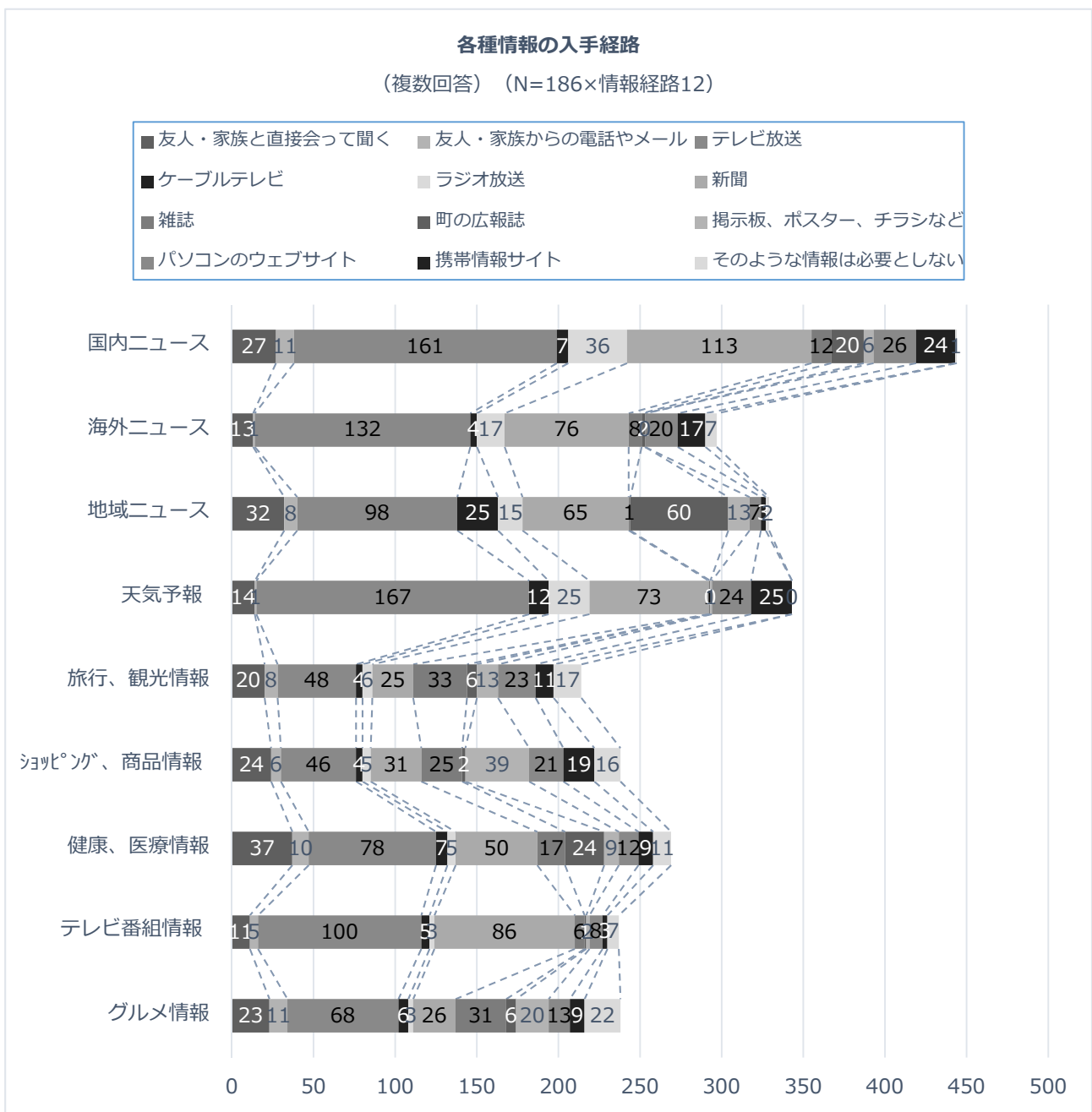


第9章 各種情報の入手経路

調査票では、回答者の日常生活における多様なコミュニケーションについて質問している。

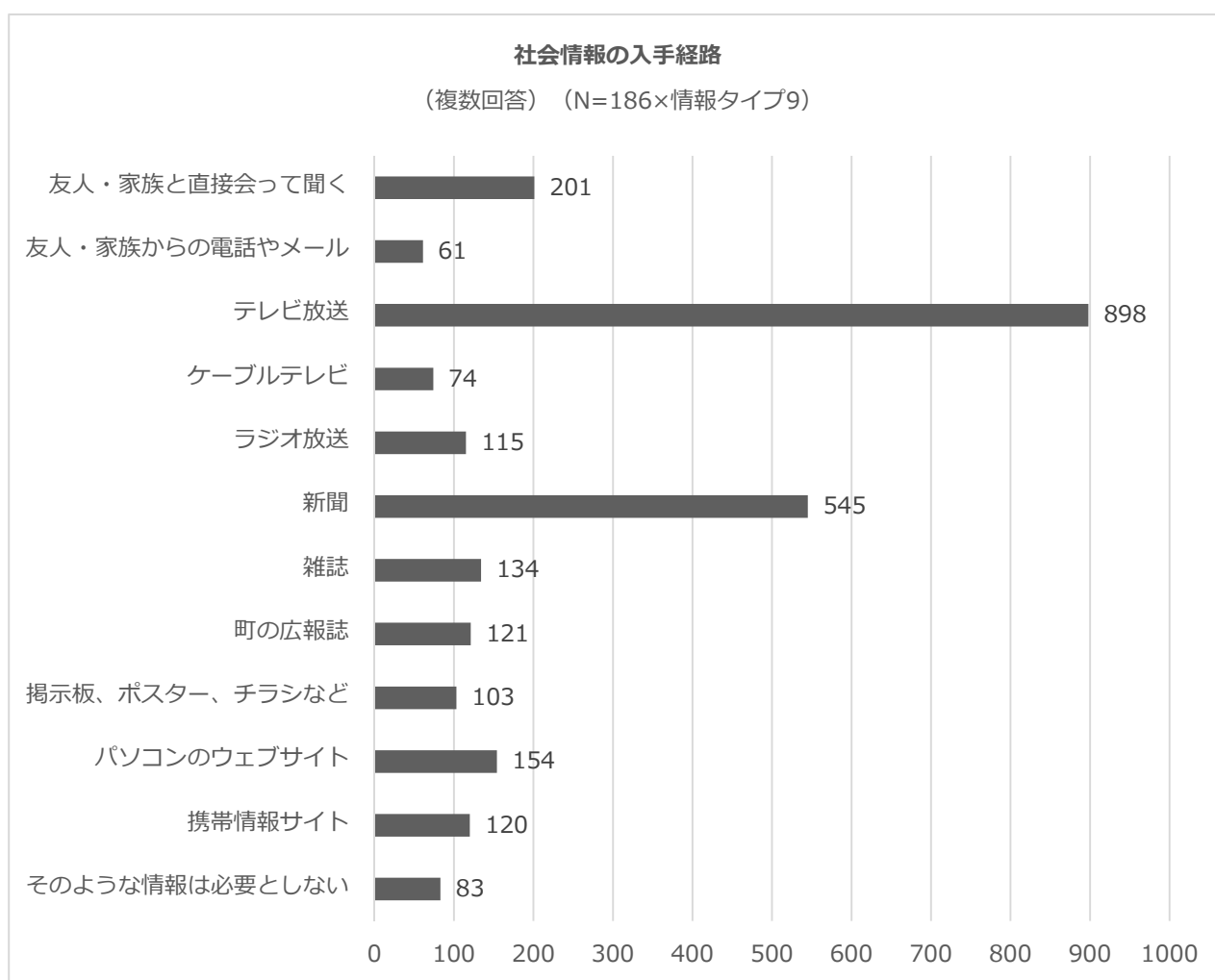
9.1 各種社会情報の入手経路

調査票では、社会情報を「国内ニュース」、「海外ニュース」、「地域（ローカル）ニュース」、「天気予報」、「旅行、観光情報」、「ショッピング、商品情報」、「健康、医療情報」、「テレビ番組情報」、「グルメ情報」の9種類に区分し、それぞれの情報入手経路について該当するもの全てを選択してもらっている。集計結果は下図の通り。最も多くの回答を得ていたのが「国内ニュース」（444、19.9%）、それに「天気予報」（343、15.4%）、「地域（ローカル）ニュース」（329、14.7%）、「海外ニュース」（297、13.3%）、「健康、医療情報」（269、12.1%）が続く。これらの情報が多くの回答者の関心事となっていることがわかる。



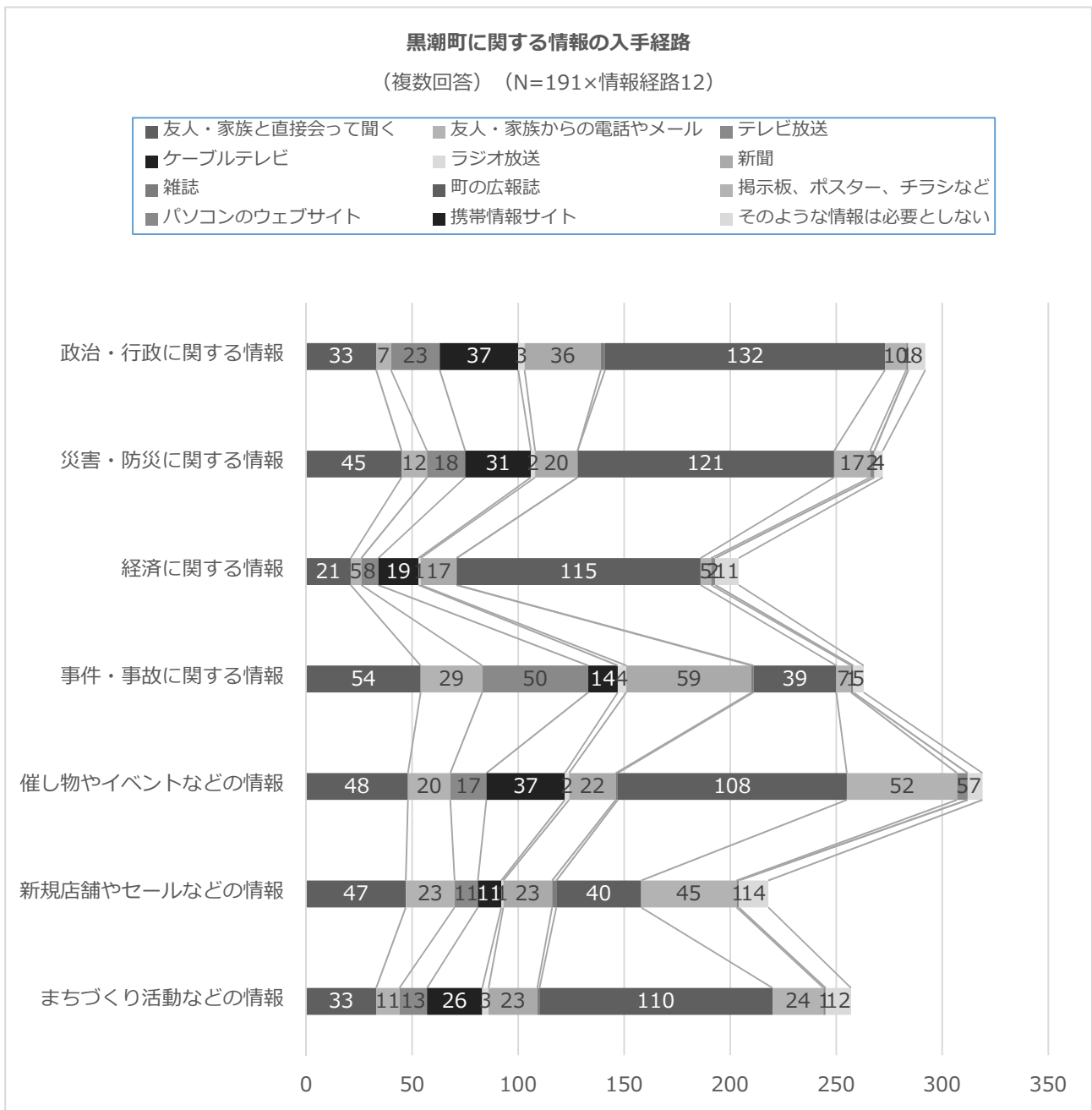
ほぼ全ての情報区分においてテレビと新聞が主要な情報経路となっていることがわかる。また、「地域（ローカル）ニュース」では町の広報誌もテレビや新聞の次に選ばれており、重要な情報源になっていることがわかる。さらに、「健康・医療情報」においては「友人・家族と直接会って聞く」の回答が多く、健康については身近な人に尋ねる傾向が読み取れる。

一方、情報入手経路別に集計したものが下図である。最も多く選ばれた情報経路は「テレビ放送」（898、53.6%）、次に「新聞」（545、32.6%）であった。マスメディアの主要媒体2つが圧倒的な上位を占めており、テレビや新聞が日常生活に必要とされる多くの情報の入手経路として定着していることがわかる。これらに続くのが「友人・家族と直接会って聞く」（201、12.0%）であり、人伝いに情報を入手する経路で、いわゆるクチコミに該当する。テレビ、新聞、クチコミ以降の情報経路についてはそれ程大きな差がみられない。ラジオや雑誌といったマスメディア媒体同様に、インターネット上の情報（PC ウェブサイトや携帯サイト）や地元密着の媒体（町の広報誌や掲示板など）も利用されている実態がわかる。



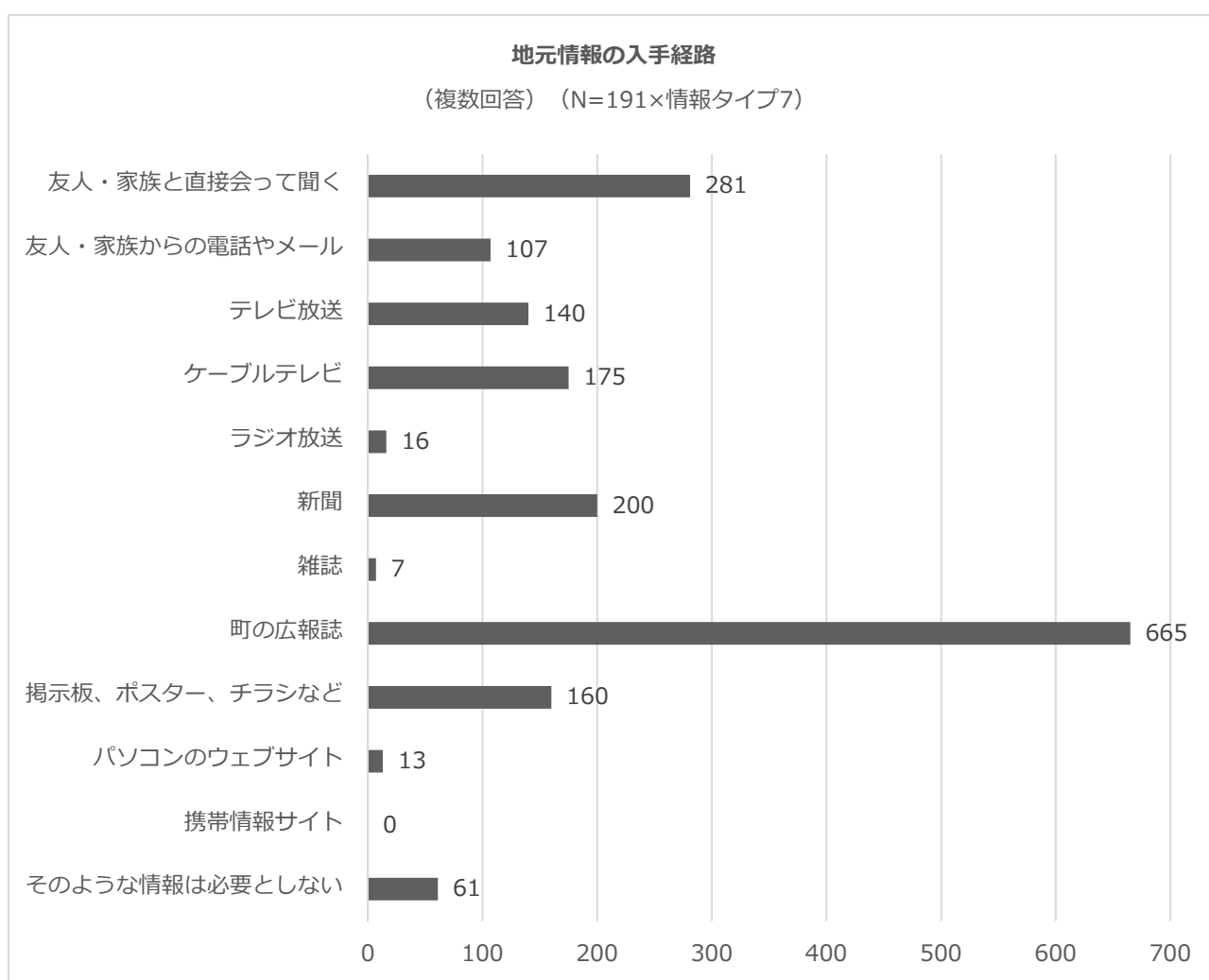
9. 2 地元情報の入手経路

調査票では、地元・黒潮町に関する情報を「黒潮町の政治・行政に関する情報（町長や議会の動向、行政手続きに関する情報など）」、「黒潮町における防災計画や避難場所、防災訓練開催などの情報」、「黒潮町の経済状況に関する情報」、「黒潮町における事件・事故などに関する情報」、「黒潮町において開催される催し物やイベントなどの情報」、「黒潮町における新規店舗や新商品、セールなどの情報」、「黒潮町におけるまちづくり活動などの情報」の7種類に区分して、それぞれの情報入手経路について該当するもの全てを選択してもらっている。集計結果は下図の通り。最も多くの回答を得ていたのが「催し物やイベントなどの情報」(319、13.9%)で、「政治・行政に関する情報」(292、12.7%)、「災害・防災に関する情報」(272、11.9%)と続く。全般的に情報区分間の差がそれ程大きくなく、地元に関しては多様な情報への関心が高く存在している傾向が読み取れる。



また、一般的に地元に着した情報の入手経路として町の広報誌の存在が大きいのが確認できる。さらに、「友人・家族と直接会って聞く」という人伝えによる情報入手や、町ケーブルテレビ経由の情報入手も高い傾向にあることも見て取れる。地元密着情報は、マスメディア媒体よりも、町の広報誌・クチコミ・地元ケーブルテレビが重要な情報経路になっている。

一方、情報入手経路別に集計したものが下図である。「町の広報誌」(665、49.7%)が圧倒的に利用されているのがわかる。次に多かったのが「友人・家族と直接会って聞く」(281、21.0%)で、「友人・家族からの電話やメール」(107、8.0%)を加えると、いわゆるクチコミ経路が3割弱を占めていて、重要な地元情報の流通経路となっていることがわかる。その他、「新聞」(200、15.0%)、「ケーブルテレビ」(175、13.1%)、「掲示板、ポスター、チラシなど」(160、12.0%)も地元情報源として重要な役割を果たしている。一般的社会情報入手がマスメディア経由であることと比較して、ローカル情報の入手経路が町の広報誌やケーブルテレビ、掲示板などが中心となっていて、これらの情報経路が独自の存在感を示している。

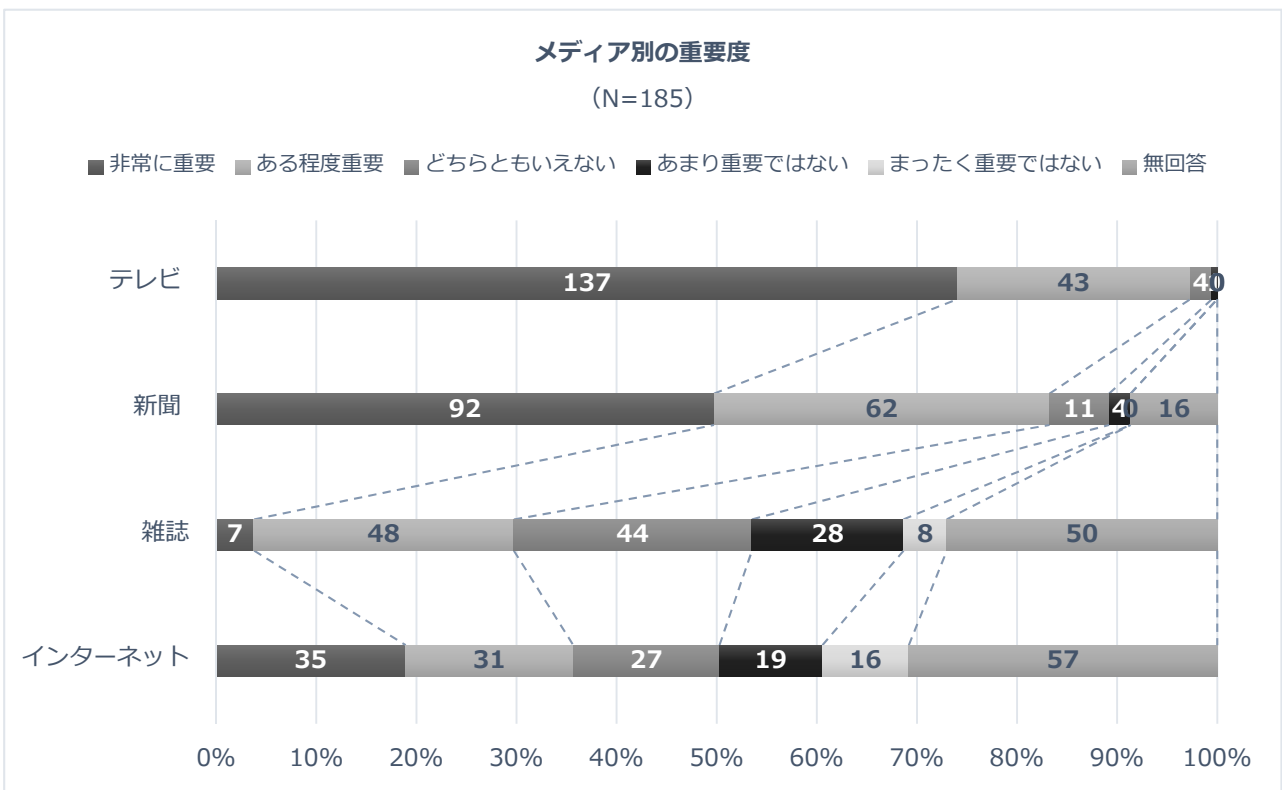


9. 3 情報メディアの重要度

調査票では、主要な情報源と考えられる「テレビ」「新聞」「雑誌」「インターネット」の4メディアに対する「重要度」について5段階で質問している。

情報メディアとして最も重要とされたのが「テレビ」であり、「非常に重要」(137、74.1%)と「ある程度重要」(43、23.2%)とを合わせると全体の97.3%が重要と回答していて圧倒的である。次に重要度が高かったのは「新聞」であり、「非常に重要」(92、49.7%)と「ある程度重要」(62、33.5%)とを合わせると全体の83.2%が重要と回答している。

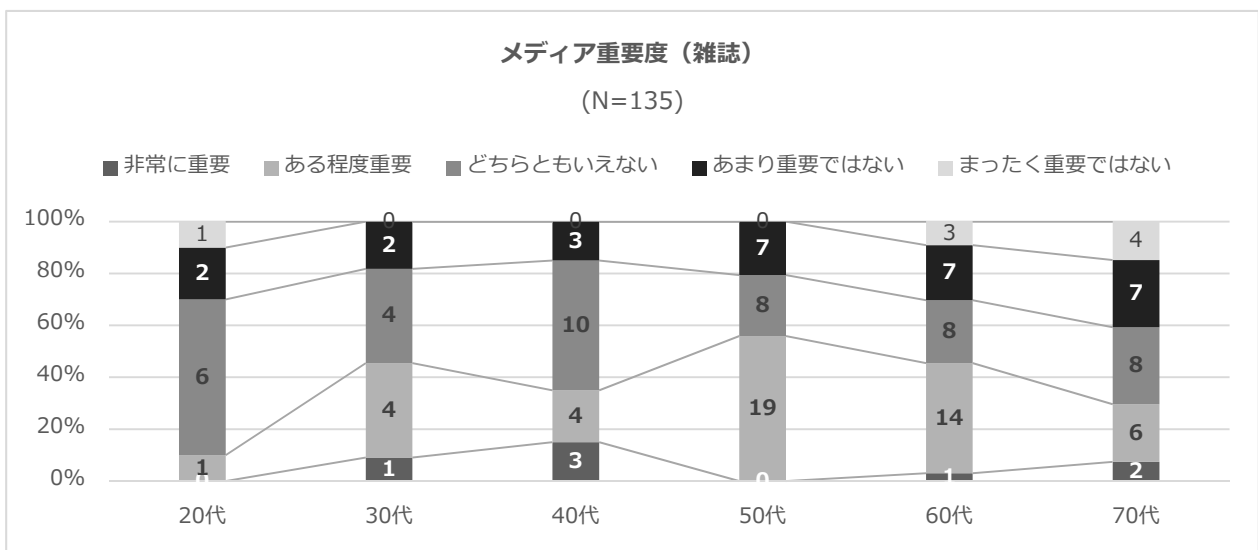
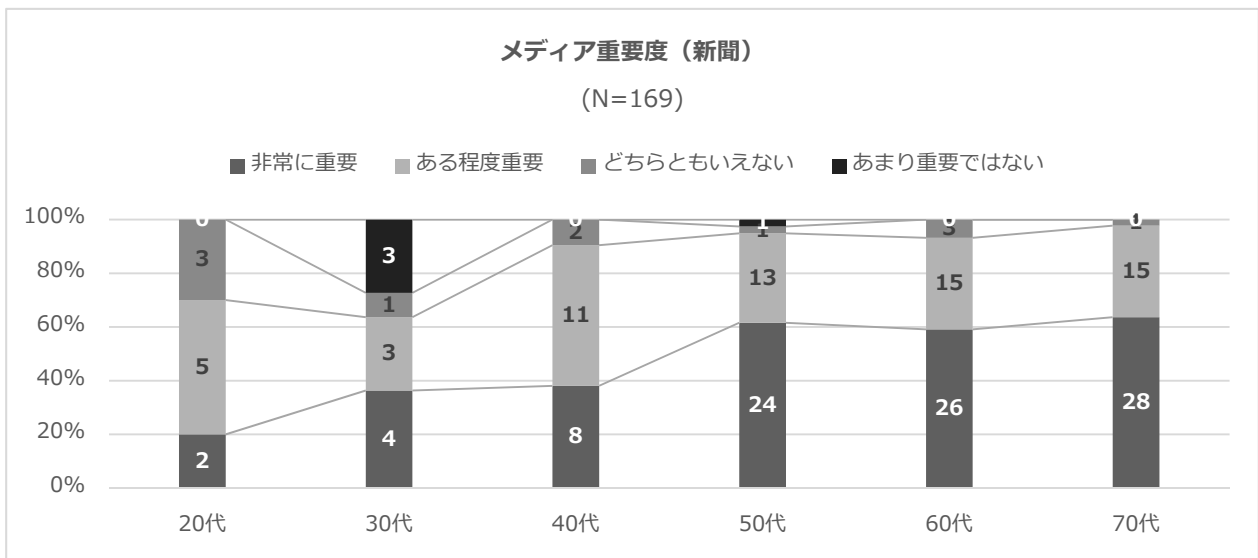
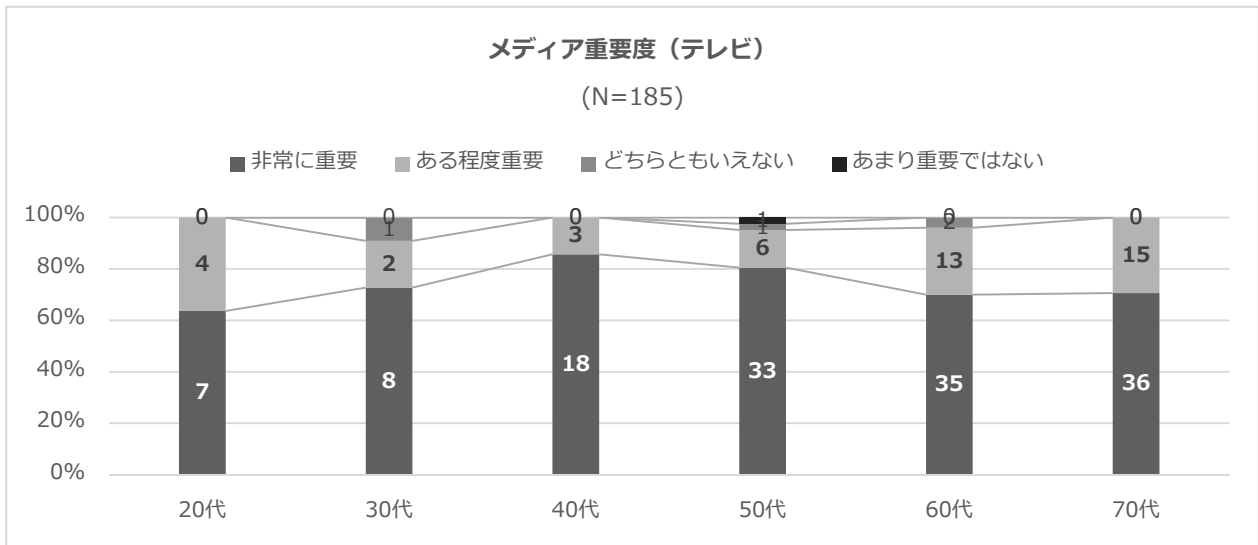
一方、「雑誌」の重要度は高くなく、「非常に重要」(7、3.8%)と「ある程度重要」(48、25.9%)とを合わせても29.7%と3割にも満たない。「インターネット」も「非常に重要」(35、18.9%)と「ある程度重要」(31、16.8%)とを合わせても35.7%と重要度は高くなかった。

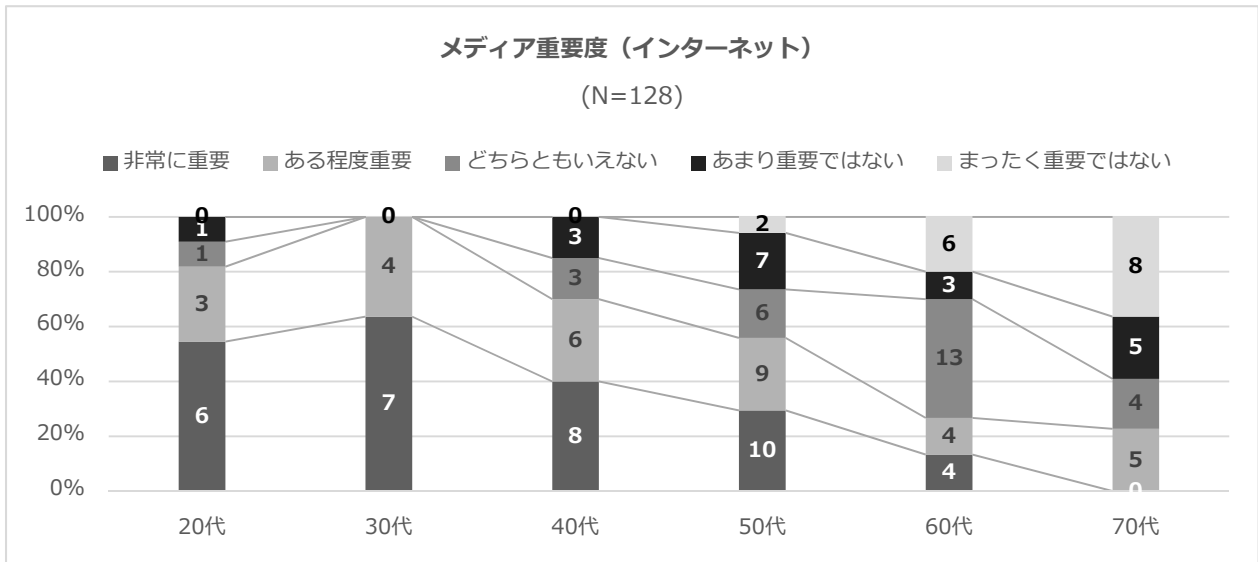


次にメディア別の重要度を年代別に分析してみた。統計的には、テレビと雑誌については年代差が確認されなかった。新聞の重要度については、70代が20代と比べて新聞を重要視していることが統計的に有意であった¹。インターネットについては、60代・70代と比較して、20代・30代の重要度が統計的に有意に大きかった²。情報メディアとしてのインターネットの重要性について、若い世代は重要視しているが、高齢者においては低く位置づけられていることがわかった。

¹ Kruskal Wallis 検定 ($\chi^2=15.41, df=5, p<.01$) の結果が有意であったため、多重比較 (Bonferroni 法) を行い、70代>20代 の関係性が有意であった。

² Kruskal Wallis 検定 ($\chi^2=36.78, df=5, p<.001$) の結果が有意であったため、多重比較 (Bonferroni 法) を行い、「20代・30代>60代・70代」、「40代・50代>70代」の関係性が有意であった。



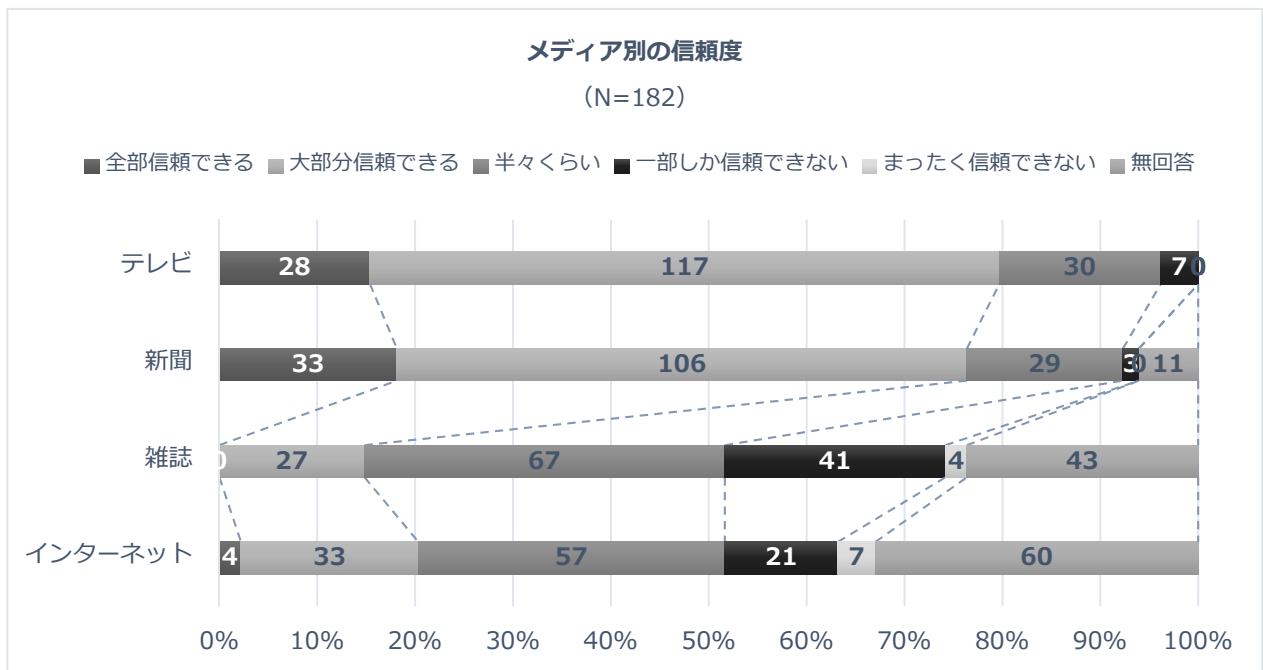


9. 4 メディア別の信頼度

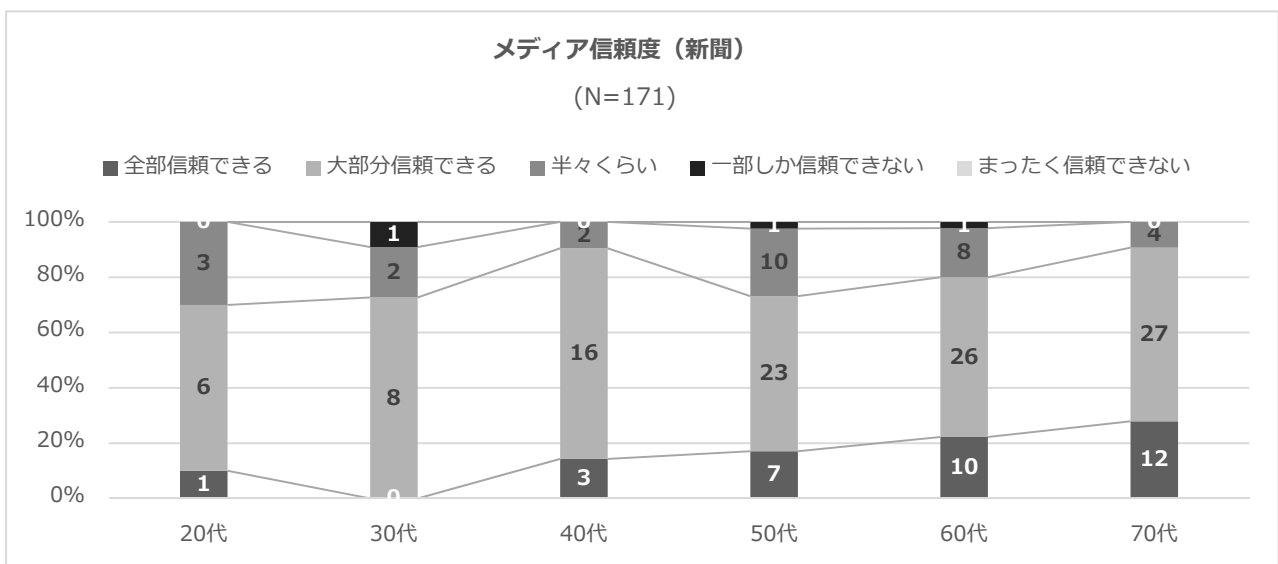
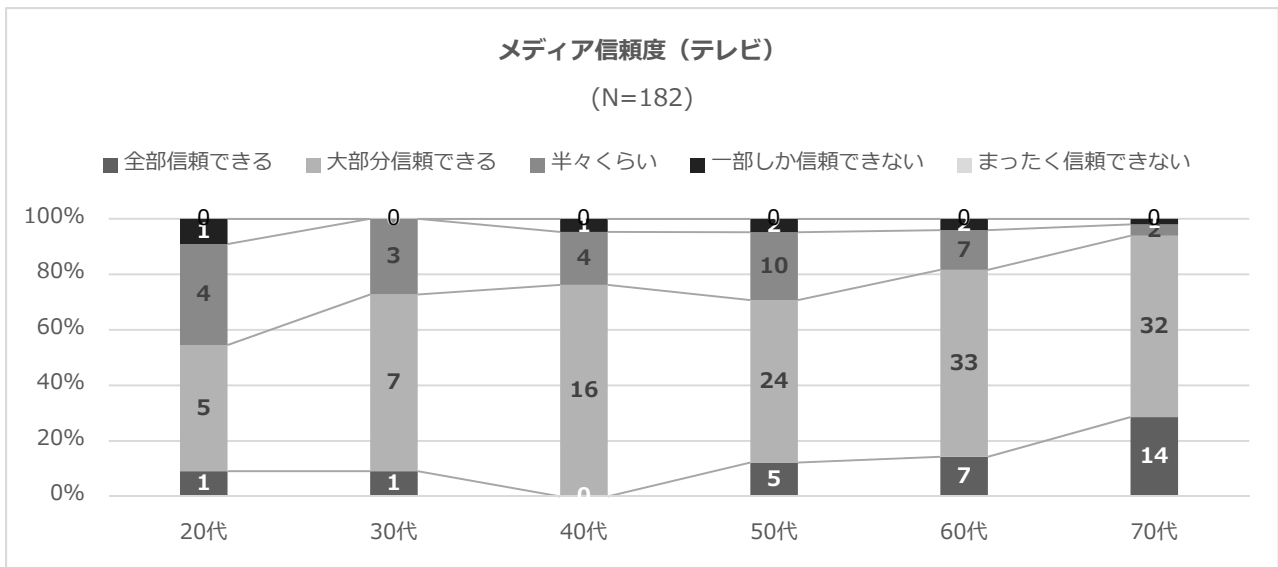
調査票では、主要な情報源と考えられる「テレビ」「新聞」「雑誌」「インターネット」の4メディアに対する「信頼度」について5段階で質問している。

特徴的なのは、テレビと新聞への信頼度の高さである。テレビは「全部信頼できる」(28、15.4%)、「大部分信頼できる」(117、64.3%)と合わせて79.7%を占めている。新聞も「全部信頼できる」(33、18.1%)、「大部分信頼できる」(106、58.2%)と合わせて76.4%を占めていて、2大媒体の信頼度が非常に高いことがわかる。

一方、雑誌およびインターネットへの信頼度となると、相対的に低い傾向が読み取れる。雑誌については、信頼できない(45、24.7%)（「一部しか信頼できない」と「まったく信頼できない」の合計）が、信頼できる(27、14.8%)（「全部信頼できる」と「大部分信頼できる」の合計）より多い。インターネットへの信頼度については、信頼できる(37、20.3%)が信頼できない(28、15.4%)よりも多いが、それでも信頼度は20.3%に留まっている。



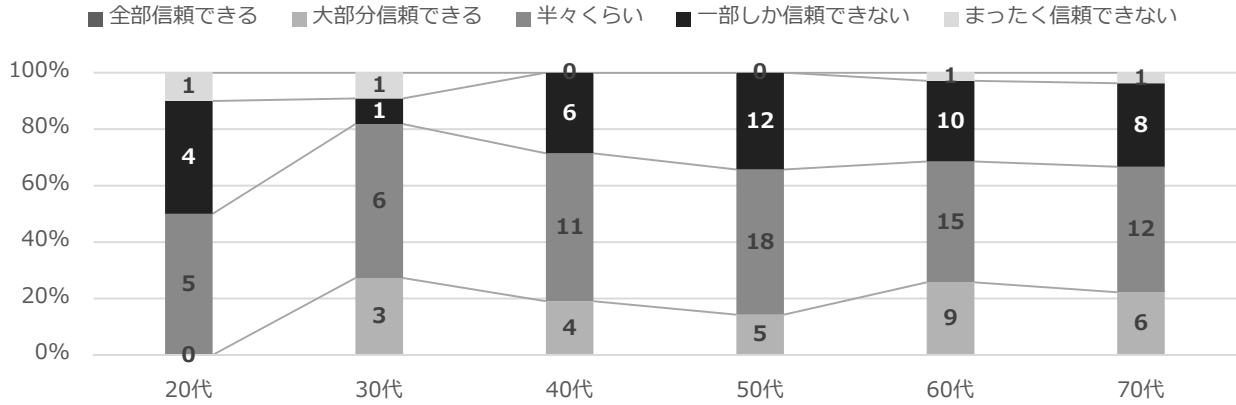
次にメディア別の信頼度を年代別に分析してみた。統計的には、テレビのみ年代差が確認された。テレビの信頼度においては、70代が20代・40代・50代よりもテレビに高い信頼を置いていた³。



³ Kruskal Wallis 検定 ($\chi^2=17.33$, $df=5$, $p<.01$) の結果が有意であったため、多重比較 (Bonferroni 法) を行い、70代>20代・40代・50代の関係性が有意であった。

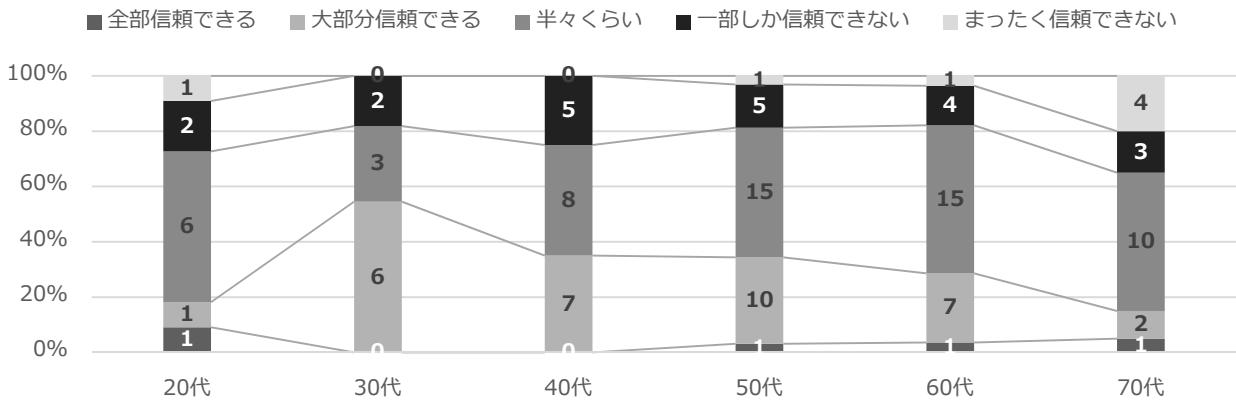
メディア信頼度（雑誌）

(N=139)



メディア信頼度（インターネット）

(N=122)



【付 録】

資料1 「地域コミュニケーション調査 調査票」および単純集計

地域コミュニケーション調査 調査票

(2014 (平成 26) 年 11 月～12 月)

この調査票は、沿岸郡部コミュニティ住民の日常的な情報行動をあきらかにするためにおこなうものです。対象者は、黒潮町におすまいのかたのなかからくじびきの方法で選ばせていただきました。皆さんの日頃のおつきあいや会話などについておききしています。この調査結果は、防災コミュニティ強化に向けた地域コミュニケーション・モデルの開発・提言に役立てていく予定です。

お時間をとらせて申し訳ありませんが、ご協力をよろしくお願いいたします。

研究代表 高知大学人文学部准教授 遠山茂樹

ご記入上のお願い

- ・ あなたご自身をご回答ください。
- ・ ご記入は鉛筆または黒・青のボールペンでお願いいたします。
- ・ 質問番号順にお答えください。質問の中には、一部の方だけにだけおたずねするものがありますが、その場合は(→)などの指示にそってお願いいたします。
- ・ お答えは、あてはまる回答についている数字を○で囲んでいただく場合と、回答欄に数字をご記入いただくものがあります。「その他」にあてはまる場合は、その数字を○で囲み、()の中に具体的な内容をご記入ください。
- ・ 「○は1つだけ」という場合には1つだけ、「○はいくつでも」という場合にはいくつでも○印をつけてください。
- ・ お答えになりにくい質問には無理にご回答いただかなくてもかまいません。
- ・ ご回答は統計処理され、決して個人名が出るようなことはありません。また、プライバシーにかんする情報はインターネット等から切り離して管理し、調査終了後、責任をもって破棄しますので、安心してご回答ください。
- ・ ご回答いただきました調査票は、次回調査員がお伺いしたときに返却ください。次回の訪問予定日は12月13日(土)もしくは12月14日(日)です。
- ・ なお、上の両日で調査員が訪問できなかった場合は、別の日程で質問票の回収にお伺いすることもありますので、ご了承ください。
- ・ 調査に関するご質問は、下記の電話番号または電子メールにてお問い合わせください。

※調査に関するお問い合わせ

電話&FAX : 088-844-8183 (高知大学人文学部遠山研究室)

※月曜日～金曜日 : 10 : 00～17 : 00

E-MAIL: s-toyama@kochi-u.ac.jp

第1部 あなたについておうかがいします。

問1 (Q01AGE) あなたの年齢をご記入ください。(N=209)

満 歳 (平均年齢：59.8歳、SD=14.34)

問2 (Q02SEX) あなたの性別にあてはまるもの1つに○をつけてください。(N=209)

1 男 2 女 (男：92名 (44.0%)、女：117名 (56.0%))

問3 (Q03YRLV) あなたは、現在と同じ市町村に何年くらいお住まいですか。(N=209)

約 年 (平均年：39.7年、SD=20.90)

問4 (Q04STTLV) あなたの現在のお住まいは、次のうちどれにあたりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(親など家族名義の場合は自己所有としてお答えください) (N=209)

- 1 持ち家 (一戸建て・集合住宅・分譲マンション) (196 (93.8%))
- 2 賃貸住宅 (一戸建て・集合住宅・賃貸マンション) (10 (4.8%))
- 3 公団・県営・町営住宅 (1 (0.5%))
- 4 官舎・社宅・寮 (借上げ社宅を含む) (0 (0.0%))
- 5 その他 (具体的に) (1 (0.5%))
- [無回答] (1 (0.5%))

問5 あなたのご両親は現在、どちらにお住まいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(N=209)

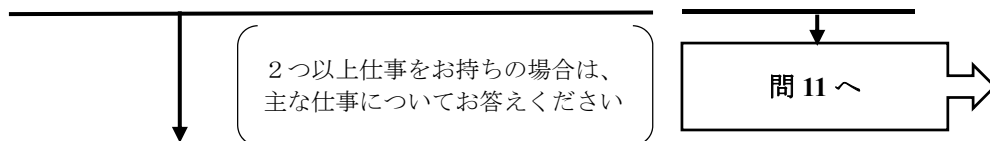
	お父さま (Q05FTLV)	回答数	お母さま (Q05MTLV)	回答数
あなたと同じ建物あるいは同じ敷地内	1	19 (9.1%)	1	37 (17.7%)
あなたと同じ小学校区	2	2 (1.0%)	2	8 (3.8%)
あなたと同じ市町村内	3	8 (3.8%)	3	16 (7.7%)
高知県内	4	13 (6.2%)	4	25 (12.0%)
高知県以外の四国地方内 (愛媛県・香川県・徳島県)	5	1 (0.5%)	5	1 (0.5%)
上記以外の地域	6	0 (0.0%)	6	1 (0.5%)
いない (死亡など)	7	142 (67.9%)	7	113 (54.1%)
わからない	8	0 (0.0%)	8	0 (0.0%)
[無回答]		24 (11.5%)		8 (3.8%)

問6 (Q06EDU) あなたが最後に通った学校は次のどれにあたりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。なお、中退または在学中の場合も卒業と同じ扱いでお答えください。(N=209)

1	中学校 (旧制小学校)	51 (24.4%)	4	専門学校	27 (12.9%)
2	高校 (旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校)	91 (43.5%)	5	大学 (旧制高校・大学)	18 (8.6%)
3	短大・高専	20 (9.6%)	6	大学院	1 (0.5%)
			7	[無回答]	1 (0.5%)

問 7 (Q07WORK) あなたは、現在、収入をとまなう仕事についていますか。(N=209)

1	2	3	[無回答]
ついている 120 (57.4%)	ついているが休職中 0 (0.0%)	ついていない 82 (39.2%)	7 (3.3%)



問 8 (Q08OCCU) その仕事は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=120)

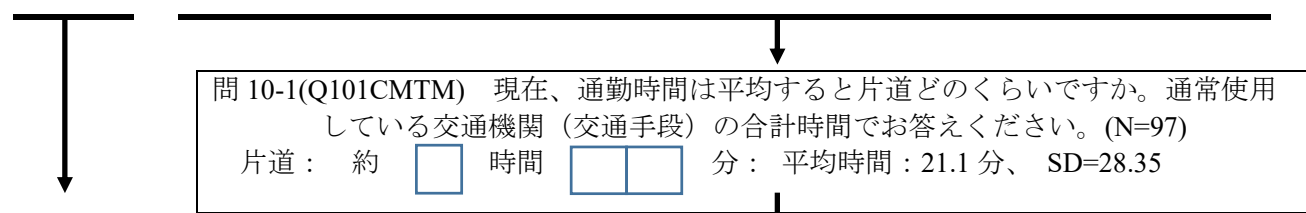
1	自営業主・自由業・家族従業員	27 (22.5%)	5	パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	33 (27.5%)
2	経営者・役員	8 (6.7%)	6	学生	0 (0.0%)
3	正規の職員・社員	32 (26.7%)	7	その他 (具体的に)	11 (9.2%)
4	公務員	9 (7.5%)			

問 9 (Q09TYPJB) その仕事の種類は、大きく分けて次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=120)

1	上級管理職 (経営者・役員・部長など)	5 (4.2%)	7	運輸・通信 (運転手・船員・通信員・郵便外務など)	4 (3.3%)
2	中間管理職 (課長・店長など)	5 (4.2%)	8	保安・警備 (守衛・警官・自衛官など)	1 (0.8%)
3	専門・技術 (技術者・教員・弁護士など)	14 (11.7%)	9	製造・建設 (工業作業・建築作業員など)	14 (11.7%)
4	事務 (総務・経理・企画・営業事務など)	10 (8.3%)	10	農林漁業・鉱業	28 (23.3%)
5	販売 (小売店主・店員・外交員など)	11 (9.2%)	11	その他 (具体的に)	18 (15.0%)
6	サービス (理美容・調理・家事サービスなど)	7 (5.8%)		[無回答]	3 (2.5%)

問 10 (Q10PLWK) あなたが主にお仕事をなさっている場所はどこですか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=120)

1	2	3	4	5	
自宅 12 (10.0%)	お住まいと同じ 小学校区内 11 (9.2%)	お住まいと同じ 市町村内 60 (50.0%)	高知県内 34 (28.3%)	その他の都道府県 (具体的に) 1 (0.8%)	[無回答] 2 (1.7%)



問 11 (Q11INCM) あなたの昨年 1 年間 (1 月～12 月) の収入 (税込み) は、次のうちどれに近いですか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=209)

1	なし: 27 (12.9%)	5	500～700 万円未満: 8 (3.8%)	9	1300 万円以上: 1 (0.5%)
2	100 万円未満: 58 (27.5%)	6	700～900 万円未満: 2 (0.9%)	10	わからない: 6 (2.8%)
3	100～300 万円未満: 67 (31.8%)	7	900～1100 万円未満: 2 (0.9%)	11	答えたくない: 6 (2.8%)
4	300～500 万円未満: 21 (10.0%)	8	1100～1300 万円未満: 0 (0.0%)		[無回答]: 12 (5.7%)

問 12 あなたの兄弟姉妹は何人ですか。それぞれについてあてはまるもの1つに○をつけてください。
(N=209)

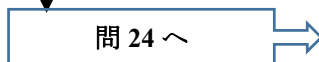
兄(Q12ELBR) [N=75] : 平均人数=1.31人、SD=0.59 1人 (56; 26.8%)、2人 (16; 7.7%)、3人 (2; 1.0%)、4人 (1; 0.5%)
姉(Q12ELST) [N=80] : 平均人数=1.48人、SD=0.84 1人 (54; 25.8%)、2人 (17; 8.1%)、3人 (8; 3.8%)、6人 (1; 0.5%)
弟(Q12YGBR) [N=77] : 平均人数=1.39人、SD=0.71 1人 (54; 25.8%)、2人 (18; 8.6%)、3人 (4; 1.9%)、5人 (1; 0.5%)
妹(Q12YGST) [N=81] : 平均人数=1.23人、SD=0.51 1人 (64; 30.6%)、2人 (16; 7.7%)、4人 (1; 1.2%)

第2部 あなたのご結婚・配偶者・ご家族についておうかがいします。

※結婚には、婚姻届を出していない関係も含みます。
※配偶者とは、あなたのご主人、パートナーの方などをさします。

問 13(Q13SPSE) あなたには、現在、配偶者の方がいますか。 (N=209)

1	2	3	[無回答]
配偶者がいる	いない (離別・死別)	いない (結婚したことがない)	
163 (78.0%)	24 (11.5%)	21 (10.0%)	1 (0.5%)



問 14(Q14SPAG) 配偶者の方の年齢をご記入ください。

満 歳 平均年齢 : 66.5 歳、SD=66.07 (N=163)

問 15(Q15SPED) あなたの配偶者が最後に通った学校は次のどれにあたりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。なお、中退または在学中の場合も卒業と同じ扱いでお答えください。
(N=163)

1	中学校 (旧制小学校)	43 (26.4%)	5	大学 (旧制高校・大学)	11 (6.7%)
2	高校 (旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校)	83 (50.9%)	6	大学院	0 (0.0%)
3	短大・高専	10 (6.1%)	7	わからない	1 (0.6%)
4	専門学校	14 (8.6%)		無回答	1 (0.6%)

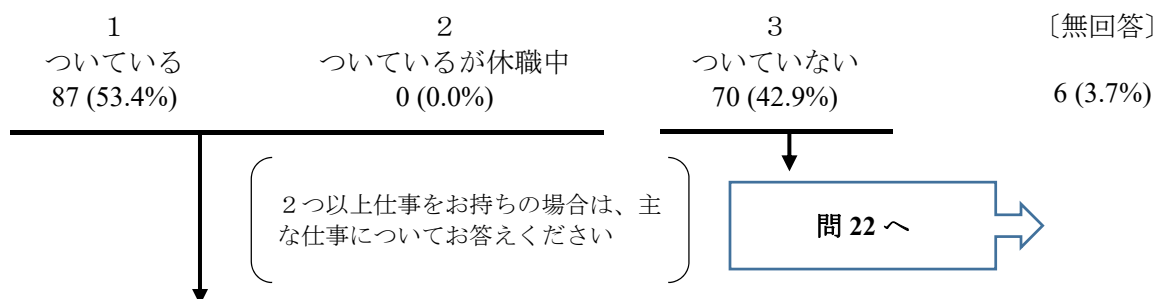
問 16(Q16SPLV) 配偶者の方は、現在、あなたといっしょにお住まいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。 (N=163)

1	2	3	[無回答]
いっしょに住んでいる	別居 (単身赴任など)	その他 (具体的に)	
150 (92.0%)	5 (3.1%)	0 (0.0%)	8 (4.9%)

問 17 配偶者の方のご両親は現在、どちらにお住まいですか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=163)

	お義父さま (Q17SPFTLV)	回答数	お義母さま (Q17SPMTLV)	回答数
あなたと同じ建物あるいは同じ敷地内	1	13件 (8.0%)	1	15件 (9.2%)
あなたと同じ小学校区	2	6件 (3.7%)	2	6件 (3.7%)
あなたと同じ市町村内	3	15件 (9.2%)	3	23件 (14.1%)
高知県内	4	6件 (3.7%)	4	15件 (9.2%)
高知県以外の四国地方内 (愛媛県・香川県・徳島県)	5	1件 (0.6%)	5	1件 (0.6%)
上記以外の地域	6	2件 (1.2%)	6	4件 (2.5%)
いない (死亡など)	7	102件 (62.6%)	7	86件 (52.8%)
わからない	8	0件 (0.0%)	8	0件 (0.0%)
[無回答]		18件 (11.0%)		13件 (8.0%)
合計		163件 (100.0%)		163件 (100.0%)

問 18(Q18SPWK) 配偶者の方は、現在、収入をとまなう仕事についていますか。(N=163)



問 19(Q19SPOC) 配偶者の方の仕事は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=87)

1	自営業主・自由業・家族従業員	21 (24.1%)	5	パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	21 (24.1%)
2	経営者・役員	4 (4.6%)	6	学生	0 (0.0%)
3	正規の職員・社員	24 (28.7%)	7	その他 (具 88 体的に)	8 (9.2%)
4	公務員	8 (9.2%)		[無回答]	1 (1.1%)

問 20(Q20SPJB) 配偶者の方の仕事の種類は、大きく分けて次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=87)

1	上級管理職 (経営者・役員・部長など)	6 (6.9%)	7	運輸・通信 (運転手・船員・通信員・郵便外務など)	5 (5.7%)
2	中間管理職 (課長・店長など)	4 (4.6%)	8	保安・警備 (守衛・警官・自衛官など)	2 (2.3%)
3	専門・技術 (技術者・教員・弁護士など)	4 (4.6%)	9	製造・建設 (工業作業・建築作業員など)	13 (14.9%)
4	事務 (総務・経理・企画・営業事務など)	5 (5.7%)	10	農林漁業・鉱業	18 (20.7%)
5	販売 (小売店主・店員・外交員など)	9 (10.3%)	11	その他 (具体的)	14 (16.1%)
6	サービス (理美容・調理・家事サービスなど)	5 (5.7%)		[無回答]	2 (2.3%)

問 21(Q21PLWP) 配偶者の方が主にお仕事をなさっている場所はどこですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(N=87)

1	2	3	4	5	[無回答]
自宅	お住まいと同じ 小学校区内	お住まいと同じ 市町村内	高知県内	その他の都道府県 (具体的に)	
10 (11.5%)	13 (14.9%)	37 (42.5%)	22 (25.3%)	3 (3.4%)	2 (2.3%)

問 21-1(Q211SPCM) 配偶者の方の通勤時間は平均すると片道どのくらいですか。通常
使用している交通機関 (交通手段) の合計時間でお答えください。(N=67)

片道： 約 時間 分 : 平均時間=22.6分、SD=24.11

問 22(Q22SPIN) 配偶者の方の昨年1年間 (1月~12月) の収入 (税込み) は、次のうちどれに近いですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(N=163)

1 なし : 20 (12.3%)	5 500~700 万円未満 : 7 (4.3%)	9 1300 万円以上 : 0 (0.0%)
2 100 万円未満 : 32 (19.6%)	6 700~900 万円未満 : 1 (0.6%)	10 わからない : 6 (3.7%)
3 100~300 万円未満 : 56 (34.4%)	7 900~1100 万円未満 : 0 (0.0%)	11 答えたくない : 5 (3.1%)
4 300~500 万円未満 : 20 (12.3%)	8 1100~1300 万円未満 : 1 (0.6%)	[無回答] : 15 (9.2%)

問 23 配偶者の方の兄弟姉妹は何人ですか。それぞれについてあてはまるもの1つに○をつけてください。(N=163)

兄(Q231ELBR) [N=57] : 平均人数=1.44 人、SD=0.66 1 人 (37; 64.9%)、2 人 (15; 26.3%)、3 人 (5; 8.8%)
姉(Q12ELST) [N=62] : 平均人数=1.44 人、SD=0.69 1 人 (42; 67.7%)、2 人 (13; 21.0%)、3 人 (7; 11.3%)
弟(Q12YGBR) [N=56] : 平均人数=1.34 人、SD=0.75 1 人 (44; 78.6%)、2 人 (7; 12.5%)、3 人 (3; 5.4%)、4 人 (2; 3.6%)
妹(Q12YGST) [N=53] : 平均人数=1.49 人、SD=0.70 1 人 (32; 60.4%)、2 人 (17; 32.1%)、3 人 (3; 5.7%)、4 人 (1; 1.9%)

問 24(Q24CHLD) あなたには、現在、子どもはいますか。あてはまるものいずれか1つに○をつけてください。(N=209)

1	2	[無回答]
はい、います 170 (81.3%)	いいえ、いません 31 (14.8%)	8 (3.8%)

問 27 へ

問 25(Q25CHNO) あなたの子どもの人数をご記入ください。(N=170)

人 : 平均人数=2.3 人、SD=0.72
1 人 (19; 11.2%)、2 人 (89; 52.4%)、3 人 (56; 32.9%)、4 人 (6; 3.5%)

問 26 あなたの子どもについて、年長者から順に4人目までのお子さまについて、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。お子さまの年齢につきましても各自の満年齢をご記入ください。もし、5人以上お子さまがいる場合でも、4人目までの記入で結構です。

	一人目 (N=170)	二人目 (N=151)	三人目 (N=62)	四人目 (N=6)
年齢	(Q261AGE) 満()歳 平均年齢=33.9歳 SD=13.11	(Q262AGE) 満()歳 平均年齢=31.2歳 SD=12.59	(Q263AGE) 満()歳 平均年齢=30.9歳 SD=11.30	(Q264AGE) 満()歳 平均年齢=17.0歳 SD=14.47
性別	(Q261SX) 1 男: 80 (47.1%) 2 女: 83 (48.8%) 無回答: 7 (4.1%)	(Q262SX) 1 男: 75 (49.7%) 2 女: 66 (43.7%) 無回答: 10 (6.6%)	(Q263SX) 1 男: 30 (48.4%) 2 女: 28 (45.2%) 無回答: 4 (6.5%)	(Q264SX) 1 男: 2 (33.3%) 2 女: 4 (66.7%) 無回答: 0 (0.0%)
住まい	(Q261LV) 1 同居、同じ敷地内 47 (27.6%) 2 別居、同じ町内 13 (7.6%) 3 別居、高知県内 58 (34.1%) 4 別居、高知県外 42 (24.1%) 無回答: 11 (6.5%)	(Q262LV) 1 同居、同じ敷地内 42 (27.8%) 2 別居、同じ町内 13 (8.6%) 3 別居、高知県内 43 (28.5%) 4 別居、高知県外 41 (27.2%) 無回答: 12 (7.9%)	(Q263LV) 1 同居、同じ敷地内 14 (22.6%) 2 別居、同じ町内 4 (6.5%) 3 別居、高知県内 14 (22.6%) 4 別居、高知県外 24 (38.7%) 無回答: 6 (9.7%)	(Q264LV) 1 同居、同じ敷地内 4 (66.7%) 2 別居、同じ町内 0 (0.0%) 3 別居、高知県内 0 (0.0%) 4 別居、高知県外 1 (16.7%) 無回答: 1 (16.7%)
最後に通った学校	(Q261EDU) 1 未就学児 3 (1.8%) 2 小学校 7 (4.1%) 3 中学校 6 (3.5%) 4 高等学校 70 (41.2%) 5 短大・高専 19 (11.2%) 6 専門学校 27 (15.9%) 7 大学 29 (17.1%) 8 大学院 2 (1.2%) 無回答: 7 (4.1%)	(Q262EDU) 1 未就学児 6 (4.0%) 2 小学校 7 (4.6%) 3 中学校 9 (6.0%) 4 高等学校 58 (38.4%) 5 短大・高専 15 (9.9%) 6 専門学校 24 (15.9%) 7 大学 23 (15.2%) 8 大学院 1 (0.7%) 無回答: 8 (5.3%)	(Q263EDU) 1 未就学児 3 (4.8%) 2 小学校 3 (4.8%) 3 中学校 0 (0.0%) 4 高等学校 17 (27.4%) 5 短大・高専 5 (8.1%) 6 専門学校 15 (24.2%) 7 大学 16 (25.8%) 8 大学院 0 (0.0%) 無回答: 3 (4.8%)	(Q264EDU) 1 未就学児 2 (33.3%) 2 小学校 0 (0.0%) 3 中学校 0 (0.0%) 4 高等学校 3 (50.0%) 5 短大・高専 0 (0.0%) 6 専門学校 1 (16.7%) 7 大学 0 (0.0%) 8 大学院 0 (0.0%) 無回答: 0 (0.0%)
仕事	(Q261JOB) 1 自営業主・自由業・家族従業員 11 (6.5%) 2 経営者・役員 1 (0.6%) 3 正規の職員・社員 68 (40.0%) 4 公務員 17 (10.0%) 5 パート・アルバイト・嘱託・	(Q262JOB) 1 自営業主・自由業・家族従業員 10 (6.6%) 2 経営者・役員 3 (2.0%) 3 正規の職員・社員 61 (40.4%) 4 公務員 12 (7.9%) 5 パート・アルバイト・嘱託・	(Q263JOB) 1 自営業主・自由業・家族従業員 2 (3.2%) 2 経営者・役員 2 (3.2%) 3 正規の職員・社員 31 (50.0%) 4 公務員 6 (9.7%) 5 パート・アルバイト・嘱託・	(Q264JOB) 1 自営業主・自由業・家族従業員 0 (0.0%) 2 経営者・役員 0 (0.0%) 3 正規の職員・社員 0 (0.0%) 4 公務員 0 (0.0%) 5 パート・アルバイト・嘱託・

	臨時・派遣 18 (10.6%)	臨時・派遣 18 (11.9%)	臨時・派遣 4 (6.5%)	臨時・派遣 3 (50.0%)
6	学生 28 (16.5%)	6 学生 25 (16.6%)	6 学生 7 (11.3%)	6 学生 1 (16.7%)
7	仕事をしてい ない(専業主婦 ・退職者など) 15 (8.8%)	7 仕事をしてい ない(専業主婦 ・退職者など) 4 (2.6%)	7 仕事をしてい ない(専業主婦 ・退職者など) 4 (6.5%)	7 仕事をしてい ない(専業主婦 ・退職者など) 0 (0.0%)
8	わからない 1 (0.6%)	8 わからない 3 (2.0%)	8 わからない 0 (0.0%)	8 わからない 0 (0.0%)
	[未就学児]: 3 (1.8%) 無回答: 8 (4.7%)	[未就学児]: 6 (4.0%) 無回答: 9 (6.0%)	[未就学児]: 3 (4.8%) 無回答: 3 (4.8%)	[未就学児]: 2 (33.3%) 無回答: 0 (0.0%)

第3部 あなたが日ごろから親しくしている人たちについておうかがいします。

問 27(Q27KIN) あなたの家族（配偶者、子ども、両親、兄弟姉妹）以外で、日常的に交流のある親せきは何人いますか。おおよその人数をご記入ください。(N=191)

人：平均人数=7.7人、SD=6.55

問 28(Q28WKFR) あなたの仕事の関係上で、プライベートでも親しくしている人たちは何人いますか。おおよその人数をご記入ください。(N=174)

人：平均人数=6.7人、SD=7.45

問 29(Q29CHFR) あなたの子どもたちを通じて知り合い、現在もプライベートで親しくしている人たちは何人いますか。おおよその人数をご記入ください。(N=163)

人：平均人数=4.6人、SD=5.22

問 30(Q30LCFR) 地元の活動や共通の趣味などを通じて知り合い、あなたが現在もプライベートで親しくしている人たちは何人いますか。おおよその人数をご記入ください。(N=178)

人：平均人数=6.4人、SD=6.96

問 31(Q31LCAC) あなたは、次のような活動に参加していますか。過去1年間のあいだに参加されたことがあるものすべてに○をつけてください。いずれの活動にも参加していない方は、「8」に○をつけてください。(N=205) [複数回答]

		参加したことがある
1	自治会・町内会・婦人会などの地域活動	94 (45.0%)
2	幼稚園・保育園・学童クラブの父母会、学校のPTAの活動	20 (9.6%)
3	子育てに関連したグループでの活動	5 (2.4%)
4	趣味やスポーツのグループでの活動	58 (27.8%)
5	ボランティア活動	45 (21.5%)
6	市民運動・消費者運動のグループでの活動	6 (2.9%)
7	宗教の団体や教会での活動	10 (4.8%)
8	いずれの活動にも参加していない	64 (30.6%)

第4部 あなたが普段よく話す方たちで、重要なことを話したり、悩みを相談する方たちについてお伺いします。

問 32(Q32INMT) あなたがよく話をする人たちについておうかがいします。あなたが重要なことを話したり、悩みを相談したりする方たちを思い浮かべてください。何人いますか。(N=186)

人：平均人数=3.5人、SD=2.36

※以下の質問では、その方たちのうち、思い浮かんだ順に4人の方についてうかがいます(1人目の方から順に、Aさん、Bさん、Cさん、Dさんとします。ただし、A～Dとは優先順位を意味しているわけではありません)。4人に満たない場合は、思い浮かぶ方たちの人数分だけ、お答えください。

※まず、その方がどなたかであるか、ご自分でわかるように、イニシャルや愛称、ニックネームなどを下の欄に記入してください。(この欄にお書きになった内容は、集計には使いませんので、回答が終わった時点で消していただいて構いません。)

Aさん	Bさん	Cさん	Dさん

問 33 あなたが重要なことを話したり、悩みを相談したりする方たちについてお伺いします。先ほど思い浮かべたAさん～Dさんについて、あなたとそれの方たちとの間柄は次のうちどれですか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。

	Aさん (Q33ARK) (N=174)	Bさん (Q33BRL) (N=152)	Cさん (Q33CRL) (N=120)	Dさん (Q33DRL) (N=89)	全体 (N=535)
配偶者(夫または妻)	67 (38.5%)	4 (2.6%)	2 (1.7%)	4 (4.5%)	77 (14.4%)
親または子ども	16 (9.2%)	38 (25.0%)	14 (11.7%)	4 (4.5%)	72 (13.5%)
兄弟姉妹・その他の家族・親せき	21 (12.1%)	23 (15.1%)	29 (24.2%)	10 (11.2%)	83 (15.5%)
職場の上司または部下	3 (1.7%)	5 (3.3%)	2 (1.7%)	3 (3.4%)	13 (2.4%)
職場の同僚(上司・部下以外)	10 (5.7%)	9 (5.9%)	5 (4.2%)	3 (3.4%)	27 (5.0%)
その他の仕事関係	2 (1.1%)	1 (0.7%)	3 (2.5%)	1 (1.1%)	7 (1.3%)
同じ組織や団体に加入している人	1 (0.6%)	5 (3.3%)	3 (2.5%)	3 (3.4%)	12 (2.2%)
近所の人	7 (4.0%)	7 (4.6%)	15 (12.5%)	14 (15.7%)	43 (8.0%)
友人	38 (21.8%)	46 (30.3%)	35 (29.2%)	35 (39.3%)	154 (28.8%)
その他	2 (1.1%)	2 (1.3%)	2 (1.7%)	3 (3.4%)	9 (1.7%)
無回答	7 (4.0%)	12 (7.9%)	10 (8.3%)	9 (10.1%)	38 (7.1%)

問 34 その方たちは男性ですか、女性ですか。

	Aさん (Q34ASX) (N=174)	Bさん (Q34BSX) (N=152)	Cさん (Q34CSX) (N=120)	Dさん (Q34SDX) (N=89)	全体 (N=535)
男性	66 (37.9%)	53 (34.9%)	37 (30.8%)	26 (29.2%)	182 (34.0%)
女性	97 (55.7%)	87 (57.2%)	74 (61.7%)	51 (57.3%)	309 (57.8%)
無回答	11 (6.3%)	12 (7.9%)	9 (7.5%)	12 (13.5%)	44 (8.2%)

問 35 その方たちの年齢を、以下に記入してください。正確な年齢がわからない場合は、だいたいの年齢で結構です。

	A さん (Q35AAGE) (N=166)	B さん (Q35BAGE) (N=148)	C さん (Q35CAGE) (N=117)	D さん (Q35DAGE) (N=88)	全体 (N=519)
平均年齢	59.2, SD=15.09	56.4, SD=16.08	57.6, SD=15.74	58.6, SD=16.56	57.9, SD=15.79

問 36 その方たちと知り合いになったのは、いまから何年前でしたか。だいたいの年数で結構です。

	A さん (Q36AKNYR) (N=158)	B さん (Q36BKNYR) (N=139)	C さん (Q36CKNYR) (N=109)	D さん (Q36DKNYR) (N=85)	全体 (N=519)
平均年数	33.3, SD=17.17	34.1, SD=17.53	30.7, SD=19.10	29.5, SD=17.67	32.3, SD=17.84

問 37 あなたがあげた 4 人の方たちは、お互いに知り合いですか。

	知り合い	知り合いではないと思う	わからない	[無回答]
AB「AさんとBさんは、知り合いですか」(Q37KNAB)(N=152)	129 (84.9%)	15 (9.9%)	4 (2.6%)	4 (2.6%)
AC「AさんとCさんは、知り合いですか」(Q37KNAC)(N=120)	95 (79.2%)	18 (15.0%)	3 (2.5%)	4 (3.3%)
AD「AさんとDさんは、知り合いですか」(Q37KNAD)(N=89)	61 (68.5%)	18 (20.2%)	5 (5.6%)	5 (5.6%)
BC「BさんとCさんは、知り合いですか」(Q37KNBC)(N=120)	80 (66.7%)	30 (25.0%)	3 (2.5%)	7 (5.8%)
BD「BさんとDさんは、知り合いですか」(Q37KNBD)(N=89)	49 (55.1%)	25 (28.1%)	5 (5.6%)	10 (11.2%)
CD「CさんとDさんは、知り合いですか」(Q37KNCD)(N=89)	52 (58.4%)	22 (24.7%)	7 (7.9%)	8 (9.0%)

問 38 その方たちとあなたは、どのくらいの頻度で連絡をしますか（電話やメール、LINE や Twitter などの SNS も含みます）。

	A さん (Q38ACTFR) (N=174)	B さん (Q38BCTFR) (N=152)	C さん (Q38CCTFR) (N=120)	D さん (Q38DCTFR) (N=89)	全体 (N=535)
ほとんど毎日	91 (52.3%)	36 (23.7%)	17 (14.2%)	11 (12.4%)	155 (29.0%)
週に数回	26 (14.9%)	54 (35.3%)	31 (25.8%)	24 (27.0%)	135 (25.2%)
週に 1 回程度	26 (14.9%)	27 (17.8%)	29 (24.2%)	21 (23.6%)	103 (19.3%)
月に 1 回程度	16 (9.2%)	24 (15.8%)	27 (22.5%)	20 (22.5%)	87 (16.3%)
年に数回	4 (2.3%)	6 (3.9%)	11 (9.2%)	10 (11.2%)	31 (5.8%)
無回答	11 (6.3%)	5 (3.3%)	5 (4.2%)	3 (3.4%)	24 (4.5%)

問 39 その方たちが最後に通学した（または現在通学している）学校は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。なお、中退の場合も、その学校をお答えください。

	A さん (Q39AEDU) (N=174)	B さん (Q39BEDU) (N=152)	C さん (Q39CEDU) (N=120)	D さん (Q39DEDU) (N=89)	全体 (N=535)
中学校（旧制小学校）	42 (24.1%)	34 (22.2%)	20 (16.5%)	11 (12.4%)	107 (20.0%)
高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）	67 (38.5%)	63 (41.2%)	49 (40.5%)	40 (44.9%)	217 (40.6)
短大・高専	15 (8.6%)	9 (5.9%)	16 (13.2%)	9 (10.1%)	49 (9.2%)
専門学校	19 (10.9%)	16 (10.5%)	8 (6.6%)	8 (9.0%)	51 (9.5%)
大学（旧制高校・大学）	14 (8.0%)	17 (11.1%)	14 (11.6%)	9 (10.1%)	54 (10.1%)
大学院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
わからない	7 (4.0%)	9 (5.9%)	10 (8.3%)	9 (10.1%)	35 (6.5%)
無回答	10 (5.7%)	5 (3.3%)	4 (3.3%)	3 (3.4%)	22 (4.1%)

問 40 その方たちは、現在どのようなかたちで仕事をしていますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。学生でアルバイトをしている場合は「学生（6）」を選んでください。

	A さん (Q40AWRK) (N=174)	B さん (Q40BWRK) (N=152)	C さん (Q40CWRK) (N=120)	D さん (Q40DWRK) (N=89)	全体 (N=535)
自営業主・自由業・家族従業員	31 (17.8%)	28 (18.4%)	17 (14.2%)	14 (15.7%)	90 (16.8%)
経営者・役員	3 (1.7%)	1 (0.7%)	4 (3.3%)	1 (1.1%)	9 (1.7%)
正規の職員・社員	32 (18.4%)	22 (14.5%)	22 (18.3%)	13 (14.6%)	89 (16.6%)
公務員	11 (6.3%)	19 (12.5%)	15 (12.5%)	5 (5.6%)	50 (9.3%)
パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	23 (13.2%)	20 (13.2%)	15 (12.5%)	13 (14.6%)	71 (13.3%)
学生	2 (1.1%)	1 (0.7%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	4 (0.7%)
仕事をしていない（専業主婦・退職者など）	57 (32.8%)	49 (32.2%)	38 (31.7%)	33 (37.1%)	177 (33.1%)
わからない	6 (3.4%)	5 (3.3%)	4 (3.3%)	4 (4.5%)	19 (3.6%)
無回答	9 (5.2%)	7 (4.6%)	4 (3.3%)	6 (6.7%)	26 (4.9%)

問 41 その方たちが現在行っている仕事の内容は、以下のどれにあたりますか。あてはまるもの **1つに○**をつけてください。前問で「学生」と「仕事をしていない」を選んだ人については回答の必要はありません。

	Aさん (Q41AJB) (N=174)	Bさん (Q41BJB) (N=152)	Cさん (Q41CJB) (N=120)	Dさん (Q41DJB) (N=89)	全体 (N=535)
上級管理職（経営者・役員・部長など）	5 (2.9%)	0 (0.0%)	5 (4.1%)	2 (2.2%)	12 (2.2%)
中間管理職（課長・店長など）	6 (3.4%)	5 (3.3%)	3 (2.5%)	2 (2.2%)	16 (3.0%)
専門・技術（技術者・教員・弁護士など）	14 (8.0%)	18 (11.8%)	14 (11.6%)	10 (11.2%)	56 (10.5%)
事務（総務・経理・企画・営業事務など）	15 (8.6%)	15 (9.8%)	11 (9.1%)	2 (2.2%)	43 (8.0%)
販売（小売店主・店員・外交員など）	15 (8.6%)	13 (8.5%)	7 (5.8%)	4 (4.5%)	39 (7.3%)
サービス（理美容・調理・家事サービスなど）	5 (2.9%)	6 (3.9%)	8 (6.6%)	6 (6.7%)	25 (4.7%)
運輸・通信（運転手・船員・通信員・郵便外務など）	4 (2.3%)	3 (2.0%)	2 (1.7%)	1 (1.1%)	10 (1.9%)
保安・警備（守衛・警官・自衛官など）	0 (0.0%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)
製造・建設（工業作業・建築作業員など）	9 (5.2%)	4 (2.6%)	5 (4.1%)	6 (6.7%)	24 (4.5%)
農林漁業・鉱業	22 (12.6%)	19 (12.4%)	13 (10.7%)	11 (12.4%)	65 (12.1%)
わからない	7 (4.0%)	5 (3.3%)	5 (4.1%)	4 (4.5%)	21 (3.9%)
記入不要（問41で「学生」「仕事をしていない」場合で未記入の回答数）	58 (33.3%)	49 (32.0%)	37 (30.6%)	32 (36.0%)	176 (32.9%)
無回答	14 (8.0%)	15 (9.8%)	11 (9.1%)	9 (10.1%)	47 (8.8%)

問 42 あなたは、その方たちとどのくらい親しいですか。

	Aさん (Q42AINT) (N=174)	Bさん (Q42BINT) (N=152)	Cさん (Q42CINT) (N=120)	Dさん (Q42DINT) (N=89)	全体 (N=535)
とても親しい	132 (75.9%)	99 (65.1%)	65 (54.2%)	44 (49.4%)	340 (63.6%)
親しい	30 (17.2%)	44 (28.9%)	45 (37.5%)	35 (39.3%)	154 (28.8%)
それほど親しくない	2 (1.1%)	1 (0.7%)	4 (3.3%)	6 (6.7%)	13 (2.4%)
無回答	10 (5.7%)	8 (5.3%)	6 (5.0%)	4 (4.5%)	28 (5.2%)

問 43 その方たちについて、次のうちあてはまるもの **すべてに○**をつけてください。[複数回答]

	Aさん (Q43ARLS) (N=174)	Bさん (Q43BRLS) (N=152)	Cさん (Q43CRLS) (N=120)	Dさん (Q43DRLS) (N=89)	全体 (N=535)
共通の趣味や娯楽を持っている	88 (50.6%)	73 (48.0%)	42 (35.0%)	36 (40.4%)	239 (44.7%)
最近6ヵ月間に、遊びや食事のためにいっしょに出かけたことがある	94 (54.0%)	83 (53.9%)	64 (53.3%)	43 (48.3%)	284 (53.1%)
まとまったお金を借りることができる	21 (12.1%)	17 (11.2%)	10 (8.3%)	5 (5.6%)	53 (9.9%)

第5部 あなたが地元・黒潮町の詳しい情報（近々どのような行事が行われるのか、どこどこに新しいお店が開店したのか、町がどのような現状にあるのか、など）について知りたい場合、それについて尋ねたりよく話をしたりする方たちについてお伺いします。

問 44(Q44LCINF) あなたが地元・黒潮町の詳しい情報（近々どのような行事が行われるのか、どこどこに新しいお店が開店したのか、町がどのような現状にあるのか、など）について知りたい場合、それについて尋ねたりよく話をしたりする方たちを思い浮かべてください。何人いますか。
(N=162)

人: 平均人数=3.7 人、SD=3.51

※以下の質問では、その方たちのうち、思い浮かんだ順に4人の方についてうかがいます(1人目の方から順に、Eさん、Fさん、Gさん、Hさんとします。ただし、E~Hとは優先順位を意味しているわけではありません)。4人に満たない場合は、思い浮かぶ方たちの人数分だけ、お答えください。
※まず、その方がどなたかであるか、ご自分でわかるように、イニシャルや愛称、ニックネームなどを下の欄に記入してください。(この欄にお書きになった内容は、集計には使いませんので、回答が終わった時点で消していただいて構いません。)

Eさん	Fさん	Gさん	Hさん

問 45 あなたが地元・黒潮町の詳しい情報について知りたい場合に、それについて尋ねたりよく話をしたりする方たちについてお伺いします。先ほど思い浮かべたEさん~Hさんについて、あなたとそれの方たちとの間柄は次のうちどれですか。あてはまるもの **1つに○**をつけてください。

	Eさん (Q45ERL) (N=152)	Fさん (Q45FRL) (N=131)	Gさん (Q45GRL) (N=100)	Hさん (Q45HRL) (N=72)	全体 (N=455)
配偶者（夫または妻）	45 (29.6%)	1 (0.8%)	2 (2.0%)	0 (0.0%)	48 (10.5%)
親または子ども	11 (7.2%)	17 (13.0%)	4 (4.0%)	4 (5.6%)	36 (7.9%)
兄弟姉妹・その他の家族・親せき	16 (10.5%)	20 (15.3%)	16 (16.0%)	12 (16.7%)	64 (14.1%)
職場の上司または部下	3 (2.0%)	4 (3.1%)	3 (3.0%)	2 (2.8%)	12 (2.6%)
職場の同僚（上司・部下以外）	9 (5.9%)	13 (9.9%)	5 (5.0%)	3 (4.2%)	30 (6.6%)
その他の仕事関係	9 (5.9%)	6 (4.6%)	6 (6.0%)	1 (1.4%)	22 (4.8%)
同じ組織や団体に加入している人	4 (2.6%)	2 (1.5%)	4 (4.0%)	3 (4.2%)	13 (2.9%)
近所の人	12 (7.9%)	26 (19.8%)	16 (16.0%)	20 (27.8%)	74 (16.3%)
友人	28 (18.4%)	30 (22.9%)	32 (32.0%)	19 (26.4%)	109 (24.0%)
その他	6 (3.9%)	1 (0.8%)	2 (2.0%)	4 (5.6%)	13 (2.9%)
無回答	9 (5.9%)	11 (8.4%)	10 (10.0%)	4 (5.6%)	34 (7.5%)

問 46 その方たちは男性ですか、女性ですか。

	Eさん (Q46ESX) (N=152)	Fさん (Q46FSX) (N=131)	Gさん (Q46GSX) (N=100)	Hさん (Q46HSX) (N=72)	全体 (N=455)
男性	70 (46.1%)	50 (38.2%)	32 (32.0%)	22 (30.6%)	174 (38.2%)
女性	72 (47.4%)	69 (52.7%)	57 (57.0%)	44 (61.1%)	242 (53.2%)
無回答	10 (6.6%)	12 (9.2%)	11 (11.0%)	6 (8.3%)	39 (8.6%)

問 47 その方たちの年齢を、以下に記入してください。正確な年齢がわからない場合は、だいたいの年齢で結構です。

	E さん (Q47EAGE) (N=138)	F さん (Q47FAGE) (N=117)	G さん (Q47GAGE) (N=86)	H さん (Q47HAGE) (N=64)	全体
平均年齢	59.6, SD=14.14	56.1, SD=16.01	57.4, SD=16.43	58.4, SD=18.21	58.0, SD=15.88

問 48 その方たちと知り合いになったのは、いまから何年前でしたか。だいたいの年数で結構です。

	E さん (Q48EKNYR) (N=125)	F さん (Q48FKNYR) (N=109)	G さん (Q48GKNYR) (N=83)	H さん (Q48HKNYR) (N=63)	全体
平均年数	28.8, SD=17.42	24.3, SD=16.73	24.8, SD=15.96	27.0, SD=18.45	26.3, SD=17.14

問 49 あなたがあげた 4 人の方たちは、お互いに知り合いですか。

	知り合い	知り合いではないと思う	わからない	[無回答]
EF「EさんとFさんは、知り合いですか」(Q49KNEF)(N=131)	107 (81.1%)	9 (6.9%)	4 (3.1%)	11 (8.4%)
EG「EさんとGさんは、知り合いですか」(Q49KNEG)(N=100)	76 (76.0%)	9 (9.0%)	3 (3.0%)	12 (12.0%)
EH「EさんとHさんは、知り合いですか」(Q49KNEH)(N=72)	51 (70.8%)	10 (13.9%)	4 (5.6%)	7 (9.7%)
FG「FさんとGさんは、知り合いですか」(Q49KNFG)(N=100)	67 (67.0%)	16 (16.0%)	4 (4.0%)	13 (13.0%)
FH「FさんとHさんは、知り合いですか」(Q49KNFH)(N=72)	44 (61.1%)	17 (23.6%)	4 (5.6%)	7 (9.7%)
GH「GさんとHさんは、知り合いですか」(Q49KNGH)(N=72)	47 (65.3%)	13 (18.1%)	5 (6.9%)	7 (9.7%)

問 50 その方たちとあなたは、どのくらいの頻度で連絡をしますか（電話やメール、LINE や Twitter などの SNS も含みます）。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

	E さん (Q50ECTFR) (N=152)	F さん (Q50FCTFR) (N=131)	G さん (Q50GCTFR) (N=100)	H さん (Q50HCTFR) (N=72)	全体 (N=455)
ほとんど毎日	74 (48.7%)	31 (23.7%)	19 (19.0%)	12 (16.7%)	136 (29.9%)
週に数回	25 (16.4%)	38 (29.0%)	28 (28.0%)	17 (23.6%)	108 (23.7%)
週に 1 回程度	18 (11.8%)	22 (16.8%)	17 (17.0%)	14 (19.4%)	71 (15.6%)
月に 1 回程度	13 (8.6%)	20 (15.3%)	17 (17.0%)	14 (19.4%)	64 (14.1%)
年に数回	4 (2.6%)	4 (3.1%)	4 (4.0%)	6 (8.3%)	18 (4.0%)
無回答	18 (11.8%)	16 (12.2%)	15 (15.0%)	9 (12.5%)	58 (12.7%)

問 51 その方たちが最後に通学した（または現在通学している）学校は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。なお、中退の場合も、その学校をお答えください。

	Eさん (Q51EEDU) (N=152)	Fさん (Q51FEDU) (N=131)	Gさん (Q51GEDU) (N=100)	Hさん (Q51HEDU) (N=72)	全体 (N=455)
中学校（旧制小学校）	29 (19.1%)	18 (13.7%)	17 (17.0%)	15 (20.8%)	79 (17.4%)
高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）	67 (44.1%)	57 (43.5%)	39 (39.0%)	27 (37.5%)	190 (41.8%)
短大・高専	9 (5.9%)	13 (9.9%)	5 (5.0%)	4 (5.6%)	31 (6.8%)
専門学校	11 (7.2%)	6 (4.6%)	8 (8.0%)	4 (5.6%)	29 (6.4%)
大学（旧制高校・大学）	12 (7.9%)	10 (7.6%)	7 (7.0%)	4 (5.6%)	33 (7.3%)
大学院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
わからない	10 (6.6%)	13 (9.9%)	11 (11.0%)	10 (13.9%)	44 (9.7%)
無回答	14 (9.2%)	14 (10.7%)	13 (13.0%)	8 (11.1%)	49 (10.8%)

問 52 その方たちは、現在どのようなかたちで仕事をしているますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。学生でアルバイトをしている場合は「学生（6）」を選んでください。

	Eさん (Q52EWRK) (N=152)	Fさん (Q52FWRK) (N=131)	Gさん (Q52GWRK) (N=100)	Hさん (Q52HWRK) (N=72)	全体 (N=455)
自営業主・自由業・家族従業員	37 (24.3%)	25 (19.1%)	16 (16.0%)	10 (13.9%)	88 (19.3%)
経営者・役員	4 (2.6%)	2 (1.5%)	2 (2.0%)	0 (0.0%)	8 (1.8%)
正規の職員・社員	24 (15.8%)	16 (12.2%)	18 (18.0%)	8 (11.1%)	66 (14.5%)
公務員	13 (8.6%)	16 (12.2%)	6 (6.0%)	7 (9.7%)	42 (9.2%)
パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	15 (9.9%)	14 (10.7%)	11 (11.0%)	11 (15.3%)	51 (11.2%)
学生	0 (0.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	2 (2.8%)	3 (0.7%)
仕事をしていない（専業主婦・退職者など）	40 (26.3%)	39 (29.8%)	30 (30.0%)	24 (33.3%)	133 (29.2%)
わからない	3 (2.0%)	4 (3.1%)	3 (3.0%)	3 (4.2%)	13 (2.9%)
無回答	16 (10.5%)	14 (10.7%)	14 (14.0%)	7 (9.7%)	51 (11.2%)

問 53 その方たちが現在行っている仕事の内容は、以下のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。前問で「学生」と「仕事をしていない」を選んだ人については回答の必要はありません。

	Eさん (Q53EJB) (N=152)	Fさん (Q53FJB) (N=131)	Gさん (Q53GJB) (N=100)	Hさん (Q53HJB) (N=72)	全体 (N=455)
上級管理職（経営者・役員・部長など）	7 (4.6%)	2 (1.5%)	4 (4.0%)	0 (0.0%)	13 (2.9%)
中間管理職（課長・店長など）	6 (3.9%)	5 (3.8%)	4 (4.0%)	1 (1.4%)	16 (3.5%)
専門・技術（技術者・教員・弁護士など）	10 (6.6%)	8 (6.1%)	6 (6.0%)	3 (4.2%)	27 (5.9%)
事務（総務・経理・企画・営業事務など）	10 (6.6%)	10 (7.6%)	9 (9.0%)	4 (5.6%)	33 (7.3%)
販売（小売店主・店員・外交員など）	13 (8.6%)	11 (8.4%)	5 (5.0%)	3 (4.2%)	32 (7.0%)
サービス（理美容・調理・家事サービスなど）	13 (8.6%)	7 (5.3%)	10 (10.0%)	4 (5.6%)	34 (7.5%)
運輸・通信（運転手・船員・通信員・郵便外務など）	1 (0.7%)	3 (2.3%)	1 (1.0%)	1 (1.4%)	6 (1.3%)
保安・警備（守衛・警官・自衛官など）	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
製造・建設（工業作業・建築作業員など）	12 (7.9%)	6 (4.6%)	4 (4.0%)	5 (6.9%)	27 (5.9%)
農林漁業・鉱業	16 (10.5%)	16 (12.2%)	6 (6.0%)	9 (12.5%)	47 (10.3%)
わからない	6 (3.9%)	6 (4.6%)	3 (3.0%)	7 (9.7%)	22 (4.8%)
記入不要（問52で「学生」「仕事をしていない」場合で未記入の回答数）	40 (26.3%)	40 (30.5%)	30 (30.0%)	26 (36.1%)	136 (29.9%)
無回答	18 (11.8%)	17 (13.0%)	18 (18.0%)	9 (12.5%)	62 (13.6%)

問54 あなたは、その方たちとどのくらい親しいですか。

	Eさん (Q54EINT) (N=152)	Fさん (Q54FINT) (N=131)	Gさん (Q54GINT) (N=100)	Hさん (Q54HINT) (N=72)	全体 (N=455)
とても親しい	91 (59.9%)	59 (45.0%)	38 (38.0%)	26 (36.1%)	214 (47.0%)
親しい	43 (28.3%)	58 (44.3%)	50 (50.0%)	37 (51.4%)	188 (41.3%)
それほど親しくない	4 (2.6%)	3 (2.3%)	1 (1.0%)	3 (4.2%)	11 (2.4%)
無回答	14 (9.2%)	11 (8.4%)	11 (11.0%)	6 (8.3%)	42 (9.2%)

問55 その方たちについて、次のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。[複数回答]

	Eさん (Q55ERLS) (N=152)	Fさん (Q55FRLS) (N=131)	Gさん (Q55GRLS) (N=100)	Hさん (Q55HRLS) (N=72)	全体 (N=455)
共通の趣味や娯楽を持っている	69 (45.4%)	50 (38.2%)	35 (35.0%)	26 (36.1%)	180 (39.6%)
最近6ヵ月間に、遊びや食事のためにいっしょに出かけたことがある	64 (42.1%)	59 (45.0%)	39 (39.0%)	31 (43.1%)	193 (42.4%)
まとまったお金を借りることができる	11 (7.2%)	6 (4.6%)	4 (4.0%)	1 (1.4%)	22 (4.8%)

第6部 あなたが防災情報や災害時の備えなどについて詳しく知りたい場合に、これらについて話をしたり相談したりする方たちについて伺います。

問 56 (Q56LDPNF) あなたが防災情報や災害時の備えに関する情報などを詳しく知りたい場合、これらについて話し合ったり情報収集に協力してくれたりする方たちを思い浮かべてください。何人いますか。(N=133)

人： 平均人数=4.94 人、SD=5.78

※以下の質問では、その方たちのうち、思い浮かんだ順に4人の方についてうかがいます(1人目の方から順に、Iさん、Jさん、Kさん、Lさんとします。ただし、I~Lとは優先順位を意味しているわけではありません)。4人に満たない場合は、思い浮かぶ方たちの人数分だけ、お答えください。

※まず、その方がどなたかであるか、ご自分でわかるように、イニシャルや愛称、ニックネームなどを下の欄に記入してください。(この欄にお書きになった内容は、集計には使いませんので、回答が終わった時点で消していただいて構いません。)

Iさん	Jさん	Kさん	Lさん

問 57 あなたが防災情報や災害時の備えに関する情報などを詳しく知りたい場合、これらについて話し合ったり情報収集に協力してくれたりする方たちについておうかがいします。先ほど思い浮かべたIさん~Lさんについて、あなたとその方たちとの間柄は次のうちどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

	Iさん (Q57IRL) (N=139)	Jさん (Q57JRL) (N=119)	Kさん (Q57KRL) (N=89)	Lさん (Q57LRL) (N=62)	全体 (N=409)
配偶者(夫または妻)	53 (38.1%)	2 (1.7%)	1 (1.1%)	1 (1.6%)	57 (13.9%)
親または子ども	16 (11.5%)	24 (20.2%)	8 (9.0%)	2 (3.2%)	50 (12.2%)
兄弟姉妹・その他の家族・親せき	12 (8.6%)	15 (12.6%)	11 (12.4%)	7 (11.3%)	45 (11.0%)
職場の上司または部下	5 (3.6%)	5 (4.2%)	3 (3.4%)	1 (1.6%)	14 (3.4%)
職場の同僚(上司・部下以外)	3 (2.2%)	7 (5.9%)	6 (6.7%)	3 (4.8%)	19 (4.6%)
その他の仕事関係	3 (2.2%)	4 (3.4%)	3 (3.4%)	1 (1.6%)	11 (2.7%)
同じ組織や団体に加入している人	4 (2.9%)	5 (4.2%)	6 (6.7%)	3 (4.8%)	18 (4.4%)
近所の人	22 (15.8%)	28 (23.5%)	25 (28.1%)	24 (38.7%)	99 (24.2%)
友人	17 (12.2%)	23 (19.3%)	20 (22.5%)	13 (21.0%)	73 (17.8%)
その他	3 (2.2%)	2 (1.7%)	2 (2.2%)	3 (4.8%)	10 (2.4%)
無回答	1 (0.7%)	4 (3.4%)	4 (4.5%)	4 (6.5%)	13 (3.2%)

問 58 その方たちは男性ですか、女性ですか。

	Iさん (Q58ISX) (N=139)	Jさん (Q58JSX) (N=119)	Kさん (Q58KSX) (N=89)	Lさん (Q58LSX) (N=62)	全体 (N=409)
男性	98 (70.5%)	65 (54.6%)	48 (53.9%)	30 (48.4%)	241 (58.9%)
女性	37 (26.6%)	44 (37.0%)	33 (37.1%)	26 (41.9%)	140 (34.2%)
無回答	4 (2.9%)	10 (8.4%)	8 (9.0%)	6 (9.7%)	28 (6.8%)

問 59 その方たちの年齢を、以下に記入してください。正確な年齢がわからない場合は、だいたいの年齢で結構です。

	I さん (Q59IAGE) (N=130)	J さん (Q59JAGE) (N=108)	K さん (Q59KAGE) (N=80)	L さん (Q59LAGE) (N=55)	全体 (N=373)
平均年齢	58.0, SD=14.34	55.5 SD=16.37	56.0, SD=17.25	57.8, SD=16.80	56.8, SD=15.93

問 60 その方たちと知り合いになったのは、いまから何年前でしたか。だいたいの年数で結構です。

	I さん (Q60IKNYR) (N=112)	J さん (Q60JKNYR) (N=95)	K さん (Q60KKNYR) (N=72)	L さん (Q60LKNYR) (N=55)	全体 (N=334)
平均年数	30.0, SD=16.92	27.7, SD=20.33	25.5, SD=19.63	23.5, SD=16.43	26.3, SD=17.14

問 61 あなたがあげた 4 人の方たちは、お互いに知り合いですか。

	知り合い	知り合いでは ないと思う	わからない	[無回答]
IJ 「I さんと J さんは、知り合いですか」 (Q611KNIJ) (N=119)	103 (86.6%)	8 (6.7%)	1 (0.8%)	7 (5.9%)
IK 「I さんと K さんは、知り合いですか」 (Q612KNIK) (N=89)	74 (83.1%)	7 (7.9%)	0 (0.0%)	8 (9.0%)
IL 「I さんと L さんは、知り合いですか」 (Q612KNIL) (N=62)	48 (77.4%)	7 (11.3%)	0 (0.0%)	7 (11.3%)
JK 「J さんと K さんは、知り合いですか」 (Q614KNJK) (N=89)	67 (75.3%)	10 (11.2%)	0 (0.0%)	12 (13.5%)
JL 「J さんと L さんは、知り合いですか」 (Q615KNJL) (N=62)	44 (71.0%)	7 (11.3%)	0 (0.0%)	11 (17.7%)
KL 「K さんと L さんは、知り合いですか」 (Q616KNKL) (N=62)	40 (64.5%)	11 (17.7%)	0 (0.0%)	11 (17.7%)

問 62 その方たちとあなたは、どのくらいの頻度で連絡をしますか（電話やメール、LINE や Twitter などの SNS も含みます）。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。

	I さん (Q62ICTFR) (N=139)	J さん (Q62JCTFR) (N=119)	K さん (Q62KCTFR) (N=89)	L さん (Q62LCTFR) (N=62)	全体 (N=409)
ほとんど毎日	72 (51.8%)	25 (21.0%)	20 (22.5%)	8 (12.9%)	125 (30.6%)
週に数回	21 (15.1%)	37 (31.1%)	20 (22.5%)	16 (25.8%)	94 (23.0%)
週に 1 回程度	15 (10.8%)	20 (16.8%)	16 (18.0%)	11 (17.7%)	62 (15.2%)
月に 1 回程度	14 (10.1%)	21 (17.6%)	18 (20.2%)	15 (24.2%)	68 (16.6%)
年に数回	7 (5.0%)	5 (4.2%)	6 (6.7%)	3 (4.8%)	21 (5.1%)
無回答	10 (7.2%)	11 (9.2%)	9 (10.1%)	9 (14.5%)	39 (9.5%)

問 63 その方たちが最後に通学した（または現在通学している）学校は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。なお、中退の場合も、その学校をお答えください。

	Iさん (Q63IEDU) (N=139)	Jさん (Q63JEDU) (N=119)	Kさん (Q63KEDU) (N=89)	Lさん (Q63LEDU) (N=62)	全体 (N=409)
中学校 (旧制小学校)	24 (17.3%)	11 (9.2%)	17 (19.1%)	13 (21.0%)	65 (15.9%)
高校 (旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校)	65 (46.8%)	53 (44.5%)	36 (40.4%)	20 (32.3%)	174 (42.5%)
短大・高専	7 (5.0%)	9 (7.6%)	6 (6.7%)	1 (1.6%)	23 (5.6%)
専門学校	11 (7.9%)	9 (7.6%)	5 (5.6%)	1 (1.6%)	26 (6.4%)
大学 (旧制高校・大学)	13 (9.4%)	11 (9.2%)	5 (5.6%)	11 (17.7%)	40 (9.8%)
大学院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
わからない	8 (5.8%)	13 (10.9%)	10 (11.2%)	7 (11.3%)	38 (9.3%)
無回答	11 (7.9%)	13 (10.9%)	10 (11.2%)	9 (14.5%)	43 (10.5%)

問 64 その方たちは、現在どのようなかたちで仕事をしていますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。学生でアルバイトをしている場合は「学生 (6)」を選んでください。

	Iさん (Q64IWRK) (N=139)	Jさん (Q64JWRK) (N=119)	Kさん (Q64KWRK) (N=89)	Lさん (Q64LWRK) (N=62)	全体 (N=409)
自営業主・自由業・ 家族従業員	27 (19.4%)	20 (16.8%)	7 (7.9%)	6 (9.7%)	60 (14.7%)
経営者・役員	2 (1.4%)	4 (3.4%)	2 (2.2%)	4 (6.5%)	12 (2.9%)
正規の職員・社員	28 (20.1%)	26 (21.8%)	18 (20.2%)	9 (14.5%)	81 (19.8%)
公務員	18 (12.9%)	8 (6.7%)	8 (9.0%)	5 (8.1%)	39 (9.5%)
パート・アルバイト・ 嘱託・臨時・派遣	14 (10.1%)	8 (6.7%)	14 (15.7%)	7 (11.3%)	43 (10.5%)
学生	0 (0.0%)	2 (1.7%)	3 (3.4%)	1 (1.6%)	6 (1.5%)
仕事をしていない (専業主婦・退職者 など)	37 (26.6%)	32 (26.9%)	21 (23.6%)	17 (27.4%)	107 (26.2%)
わからない	1 (0.7%)	5 (4.2%)	4 (4.5%)	2 (3.2%)	12 (2.9%)
無回答	12 (8.6%)	14 (11.8%)	12 (13.5%)	11 (17.7%)	49 (12.0%)

問 65 その方たちが現在行っている仕事の内容は、以下のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。前問で「学生」と「仕事をしていない」を選んだ人については回答の必要はありません。

	Iさん (Q65IJB) (N=139)	Jさん (Q65JJB) (N=119)	Kさん (Q65KJB) (N=89)	Lさん (Q65LJB) (N=62)	全体 (N=409)
上級管理職（経営者・役員・部長など）	10 (7.2%)	4 (3.4%)	2 (2.2%)	3 (4.8%)	19 (4.6%)
中間管理職（課長・店長など）	13 (9.4%)	7 (5.9%)	6 (6.7%)	4 (6.5%)	30 (7.3%)
専門・技術（技術者・教員・弁護士など）	11 (7.9%)	10 (8.4%)	4 (4.5%)	2 (3.2%)	27 (6.6%)
事務（総務・経理・企画・営業事務など）	11 (7.9%)	9 (7.6%)	4 (4.5%)	4 (6.5%)	28 (6.8%)
販売（小売店主・店員・外交員など）	8 (5.8%)	9 (7.6%)	5 (5.6%)	3 (4.8%)	25 (6.1%)
サービス（理美容・調理・家事サービスなど）	6 (4.3%)	3 (2.5%)	7 (7.9%)	2 (3.2%)	18 (4.4%)
運輸・通信（運転手・船員・通信員・郵便外務など）	0 (0.0%)	2 (1.7%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	3 (0.7%)
保安・警備（守衛・警官・自衛官など）	1 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)
製造・建設（工業作業・建築作業員など）	7 (5.0%)	6 (2.8%)	8 (9.0%)	3 (4.8%)	24 (5.9%)
農林漁業・鉱業	14 (10.1%)	11 (9.2%)	9 (10.1%)	8 (12.9%)	42 (10.3%)
わからない	4 (2.9%)	9 (7.6%)	7 (7.9%)	4 (6.5%)	24 (5.9%)
記入不要（問 64 で「学生」「仕事をしていない」場合で未記入の回答数）	37 (26.6%)	34 (28.6%)	24 (27.0%)	18 (29.0%)	113 (27.6%)
無回答	17 (12.2%)	15 (12.6%)	12 (13.5%)	11 (17.7%)	55 (13.4%)

問 66 あなたは、その方たちとどのくらい親しいですか。

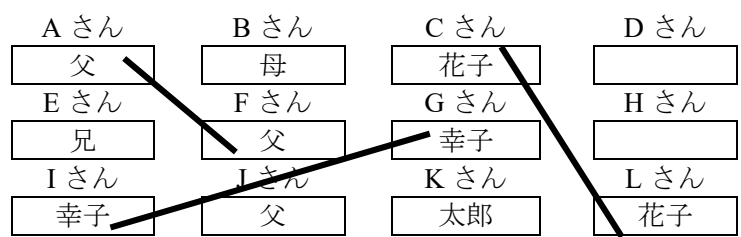
	Iさん (Q66IINT) (N=139)	Jさん (Q66JINT) (N=119)	Kさん (Q66KINT) (N=89)	Lさん (Q66LINT) (N=62)	全体 (N=409)
とても親しい	82 (59.0%)	57 (47.9%)	36 (40.4%)	19 (30.6%)	194 (47.4%)
親しい	40 (28.8%)	48 (40.3%)	40 (44.9%)	34 (54.8%)	162 (39.6%)
それほど親しくない	8 (5.8%)	4 (3.4%)	5 (5.6%)	2 (3.2%)	19 (4.6%)
無回答	9 (6.5%)	10 (8.4%)	8 (9.0%)	7 (11.3%)	34 (8.3%)

問 67 その方たちについて、次のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。

	Iさん (Q67IRLS) (N=139)	Jさん (Q67JRLS) (N=119)	Kさん (Q67KRLS) (N=100)	Lさん (Q67LRLS) (N=62)	全体 (N=409)
共通の趣味や娯楽を持っている	52 (37.4%)	36 (30.3%)	27 (30.3%)	19 (30.6%)	134 (32.8%)
最近6ヵ月間に、遊びや食事のためにいっしょに出かけたことがある	61 (43.9%)	57 (47.9%)	32 (36.0%)	22 (35.5%)	172 (42.1%)
まとまったお金を借りることができる	9 (6.5%)	3 (2.5%)	3 (3.4%)	0 (0.0%)	15 (3.7%)

※これまで第4部から第6部まで質問してきました、あなたがいろいろと話したりお付き合いしたりしている方たちについて、上の欄で記入されたAさん～Lさんまでのイニシャルや愛称、あるいはニックネームなどを下記の<メモ欄>に記入ください。
 ※【例1】のように、メモで記入した方たちで、同じ人の四角を線で結んでください。
 ※同じ人がいない場合は、問69へ進んでください。

【例1】

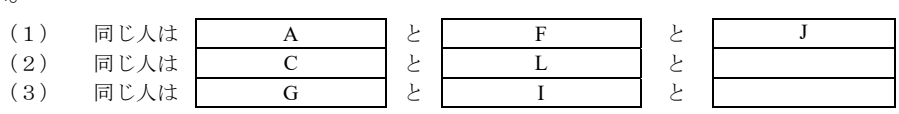


<メモ欄>

Aさん	Bさん	Cさん	Dさん
Eさん	Fさん	Gさん	Hさん
Iさん	Jさん	Kさん	Lさん

問68 上の<メモ欄>において、線で結んだ人は誰と誰ですか。アルファベットでお答えください。<< 【例2】を参照。>>

【例2】



<回答欄>

(1) 同じ人は (Q681SAME)		と		と	
(2) 同じ人は (Q682SAME)		と		と	
(3) 同じ人は (Q683SAME)		と		と	
(4) 同じ人は (Q684SAME)		と		と	
(5) 同じ人は (Q685SAME)		と		と	
(6) 同じ人は (Q686SAME)		と		と	

第7部 防災・災害への意識に関する事柄についておうかがいします。

問 69 (Q69DPCS) 自然災害に対する防災について、日頃から意識していますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。(N=191)

1	2	3	4	5
非常に意識している	意識している	どちらとも いえない	意識して いない	全く意識して いない
31 (16.2%)	123 (64.4%)	30 (15.7%)	6 (3.1%)	1 (0.5%)

問 70 (Q70EVPL) 避難所の場所を知っていますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。(N=190)

1	災害時における避難所の名前・場所をともに知っている	152 (80.0%)
2	避難所の名前は知らないが、場所はわかる	31 (16.3%)
3	避難所の名前も場所も知らないが、思い当たる場所はある	4 (2.1%)
4	避難所の名前は知っているが、場所はわからない	0 (0.0%)
5	避難所の名前も知らないし、場所もわからない	3 (1.6%)

問 71 (Q71ECFD) 今年8月9日(土)～10日(日)の台風11号接近にともない黒潮町全域で発せられた「避難勧告」をどのように知りましたか。あてはまるもの すべてに○をつけてください。(N=197)

		該当者数 (複数回答)
1	黒潮町の地域防災無線	143 (72.6%)
2	消防署や消防団などによる呼びかけ・アナウンス	68 (34.5%)
3	地元ケーブルテレビ放送	26 (13.2%)
4	NHKなどの地上波テレビ放送	89 (45.2%)
5	ラジオ放送	9 (4.6%)
6	携帯電話やスマートフォンなどに送られてきた「緊急速報メール」	69 (35.0%)
7	自治体や気象庁など、行政のホームページ	3 (1.5%)
8	YouTubeなどの動画サイトへの投稿動画	0 (0.0%)
9	Twitterなど、ソーシャルメディアからの情報	0 (0.0%)
10	親類や知り合いからの電話	9 (4.6%)
11	親類や知り合いからのメッセージ (電子メールやSNS、LINEなどの私信)	6 (3.0%)
12	その他(具体的に： <u>役場防災担当</u>)	1 (0.5%)

問 72 (Q72EVTR) 今年に入ってから、地域の避難訓練に参加したことがありますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。(N=189)

1	2	3	4
参加した	参加していないが、 見学はした	訓練は知っていたが 参加も見学もしてい ない	訓練を知らない
139 (73.5%)	5 (2.6%)	41 (21.7%)	4 (2.1%)

問 73 (Q73WKSP) 今年に入ってから、地域ごとの防災ワークショップ(対話集会)に参加したことはありますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。(N=180)

1	2	3
参加した	ワークショップは知っていたが、参加していない	ワークショップを知らない
85 (47.2%)	45 (25.9%)	50 (27.8%)

問 74 (Q74EVCR) これまで『避難カルテ』を作ったことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(N=181)

1	2	3
作ったことがある	『避難カルテ』は知っていたが作ったことはない	『避難カルテ』を知らない
55 (30.4%)	63 (34.8%)	63 (34.8%)

問 75 (Q75DPPR) 自然災害に備えてとっている対策について、あてはまるものすべてに○をつけてください。(N=198)

		該当者数 (複数回答)
1	携帯ラジオ、懐中電灯、医療品などを準備している	144 (72.7%)
2	食料や飲料水を準備している	89 (44.9%)
3	家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している	45 (22.7%)
4	自宅建物もしくは家財を対象とした地震保険（地震被害を補償する共済を含む）に加入している	80 (40.4%)
5	近くの学校や公園など、避難する場所を決めている	106 (53.5%)
6	いつも風呂の水をためおきしている	37 (18.7%)
7	貴重品などをすぐに持ち出せるように準備している	55 (27.8%)
8	家族の安否確認の方法などを決めている	39 (19.7%)
9	耐震性のある家に住んでいる	28 (14.1%)
10	非常持ち出し用衣類、毛布などを準備している	34 (17.2%)
11	自家用車の燃料が半分以下になれば満タンにするようにしている	41 (20.7%)
12	外出時には、携帯電話やスマートフォンなどの予備電池を携帯している	26 (13.1%)
13	防災訓練に積極的に参加している	75 (37.9%)
14	感電ブレーカー（揺れを感知して電気を止める器具）を設置している	9 (4.5%)
15	風呂の水をためおきしたり、消火器を準備するなど消火活動を行うための準備をしている	35 (17.7%)
16	家屋の耐震化や耐震診断を行うなど、自分の家の耐震性に気を遣っている	15 (7.6%)
17	その他（ ）*	3 (1.5%)
18	特になにもしていない	20 (10.1%)
19	わからない	3 (1.5%)

*自由記述

- ・ 近くの消防署
- ・ 子どもと常に意識するために話をしている
- ・ 自家用車の中に非常用持ち出し袋を用意している

第 8 部 あなたの普段のコミュニケーションについておうかがいします。

問 76 次にいろいろな機器があげられています。それぞれ家にあるかどうか、家にある場合はふだん自分で利用しているかどうか、家がない場合は将来ほしいと思っているかどうかなどについて、1～4の中からあてはまるものに1つだけ○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ) (N=186)

	家にある		家がない		無回答
	自分も利用している	自分はいない	将来ほしい	わからない	
テレビ受像機(パソコン、ワンセグは除く) (Q7501TV)	150 (80.6%)	10 (5.4%)	3 (1.6%)	15 (8.1%)	8 (4.3%)
DVD、ブルーレイなどの録画機 (Q7502DVD)	87 (46.8%)	29 (15.6%)	7 (3.8%)	23 (12.4%)	40 (21.5%)
VHS ビデオデッキ (Q7503VHS)	38 (20.4%)	36 (19.4%)	3 (1.6%)	46 (24.7)	63 (33.9%)
ラジオ (Q7504RAD)	92 (49.5%)	48 (25.8%)	7 (3.8%)	11 (5.9%)	28 (15.1%)
パソコン (Q7505PC)	68 (36.6%)	30 (16.1%)	6 (3.2%)	34 (18.3%)	48 (25.8%)
携帯型ゲーム機(ニンテンドーDS、PSPなど) (Q7506PG)	15 (8.1%)	34 (18.3%)	0 (0.0%)	76 (40.9%)	61 (32.8%)
テレビゲーム機(Wii、PlayStationシリーズなど) (Q7507VG)	19 (10.2%)	34 (18.3%)	2 (1.1%)	63 (33.9%)	68 (36.6%)
固定電話 (Q7508HPH)	149 (80.1%)	15 (8.1%)	0 (0.0%)	4 (2.2%)	18 (9.7%)
ワンセグ対応の携帯電話 (Q7509OSC)	36 (19.4%)	19 (10.2%)	2 (1.1%)	55 (29.6%)	74 (39.8%)
スマートフォン(iPhone、アンドロイド端末など) (Q7510SMP)	45 (24.2%)	21 (11.3%)	9 (4.8%)	44 (23.7%)	67 (36.0%)
携帯電話(ワンセグ対応携帯・スマートフォンは除く) (Q7511CPH)	70 (37.6%)	20 (10.8%)	2 (1.1%)	37 (19.9%)	57 (30.6%)
携帯型デジタル音楽プレーヤー(iPodなど) (Q7512PM)	15 (8.1%)	28 (15.1%)	6 (3.2%)	71 (38.2%)	66 (35.5%)
電子書籍リーダー(AmazonのKindleなど) (Q7513EBK)	3 (1.6%)	12 (6.5%)	8 (4.3%)	89 (47.8%)	74 (39.8%)
タブレット型端末(iPadなど) (Q7514TAB)	8 (4.3%)	15 (8.1%)	17 (9.1%)	78 (41.9%)	68 (36.6%)

※1 携帯電話もしくはスマートフォンを持っている人は、以下の問 77 以降をお答えください。携帯電話やスマートフォンのいずれも持っていない人は、問 81 へ飛んでください。

問 77 (Q77SUCT) この前の日曜日に、携帯電話／スマートフォンからインターネット・サービスをどのくらい利用しましたか。およその時間を以下に記してください。(N=85)

およそ 時間 分 平均時間=58.9分、SD=87.99

問 78 (Q78SUSV) この前の日曜日に、携帯電話／スマートフォンからのインターネットで利用したサービスについて、以下の1～9までのなかではまるものすべてに○をつけてください。(N=92)

1	メール（ショートメール含む）を読む・書く	64 (69.6%)
2	ブログやウェブサイトを見る・書く	21 (22.8%)
3	Twitter、ミクシィ、Facebookなどのソーシャルメディアを見る・書く	12 (13.0%)
4	ユーチューブ、ニコニコ動画等の動画を見る	14 (15.2%)
5	オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする	14 (15.2%)
6	メッセージャー・チャットを使う（LINEのトークや、Facebookメッセージャーなども含む）	23 (25.0%)
7	Skype、LINEなどの音声通話（ビデオ通話含む）を使う	8 (8.7%)
8	ラジオを聴く（ラジコなど）	2 (2.2%)
9	その他のインターネット利用	16 (17.4)

問 79 (Q79MNCT) この前の月曜日に、携帯電話／スマートフォンからインターネット・サービスをどのくらい利用しましたか。およその時間を以下に記してください。(N=75)

およそ 時間 分 平均時間=46.3分、SD=79.39

問 80 (Q80MNSV) この前の月曜日に、携帯電話／スマートフォンからのインターネットで利用したサービスについて、以下の1～9までのなかではまるものすべてに○をつけてください。(N=77)

1	メール（ショートメール含む）を読む・書く	55 (71.4%)
2	ブログやウェブサイトを見る・書く	20 (26.0%)
3	Twitter、ミクシィ、Facebookなどのソーシャルメディアを見る・書く	11 (14.3%)
4	ユーチューブ、ニコニコ動画等の動画を見る	10 (13.0%)
5	オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする	11 (14.3%)
6	メッセージャー・チャットを使う（LINEのトークや、Facebookメッセージャーなども含む）	19 (24.7%)
7	Skype、LINEなどの音声通話（ビデオ通話含む）を使う	7 (9.1%)
8	ラジオを聴く（ラジコなど）	2 (2.6%)
9	その他のインターネット利用	13 (16.9%)

※2 自宅にパソコンを持っている人は、以下の問 81 以降をお答えください。自宅にパソコンを持っていない人は、問 85 へ飛んでください。

問 81 (Q81SUPC) この前の日曜日に、自宅のパソコンからインターネット・サービスをどのくらい利用しましたか。およその時間を以下に記してください。(N=34)

およそ 時間 分 平均時間=83.9分、SD=89.21

問 82 (Q82SUSV) この前の日曜日に、自宅のパソコンからのインターネットで利用したサービスについて、以下の1～9までのなかではまるものすべてに○をつけてください。(N=34)

1	メール（ショートメール含む）を読む・書く	15 (44.1%)
2	ブログやウェブサイトを見る・書く	14 (41.2%)
3	Twitter、ミクシィ、Facebookなどのソーシャルメディアを見る・書く	2 (5.9%)
4	ユーチューブ、ニコニコ動画等の動画を見る	11 (32.4%)
5	オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする	5 (14.7%)
6	メッセージャー・チャットを使う（LINEのトークや、Facebookメッセージャーなども含む）	0 (0.0%)
7	Skype、LINEなどの音声通話（ビデオ通話含む）を使う	1 (2.9%)
8	ラジオを聴く（ラジコなど）	1 (2.9%)
9	その他のインターネット利用	17 (50.0%)

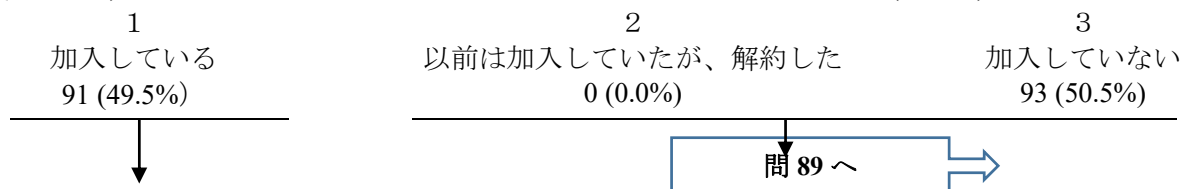
問 83 (Q83MNPC) この前の月曜日に、自宅のパソコンからインターネット・サービスをどのくらい利用しましたか。およその時間を以下に記してください。(N=23)

およそ 時間 分 平均時間=91.6分、SD=95.75

問 84 (Q84MNSV) この前の月曜日に、自宅のパソコンからのインターネットで利用したサービスについて、以下の1～9までのなかであてはまるものすべてに○をつけてください。(N=23)

1	メール（ショートメール含む）を読む・書く	10 (43.5%)
2	ブログやウェブサイトを見る・書く	13 (56.5%)
3	Twitter、ミクシィ、Facebookなどのソーシャルメディアを見る・書く	1 (4.3%)
4	ユーチューブ、ニコニコ動画等の動画を見る	8 (34.8%)
5	オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする	4 (17.4%)
6	メッセージャー・チャットを使う（LINEのトークや、Facebookメッセージャーなども含む）	0 (0.0%)
7	Skype、LINEなどの音声通話（ビデオ通話含む）を使う	1 (4.3%)
8	ラジオを聴く（ラジコなど）	1 (4.3%)
9	その他のインターネット利用	11 (47.8%)

問 85 (Q85CATV) あなたのお宅は黒潮町ケーブルテレビへ加入していますか。(N=184)



問 86 (Q86CADT) あなたのお宅が黒潮町ケーブルテレビに加入したのはいつ頃でしたか。

平成 年 月ころから

問 87 (Q87CAPR) あなたは普段、黒潮町ケーブルテレビの自主放送番組を視聴していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(N=91)

1	毎日のように	11 (12.1%)
2	週に1回程度	21 (23.1%)
3	月に1回程度	9 (9.9%)
4	数か月に1回程度	4 (4.4%)
5	年に1回程度	0 (0.0%)
6	たまに視聴する	29 (31.9%)
7	まったく視聴していない	14 (15.4%)
	無回答	3 (3.3%)

問 88 あなたが、普段よく視聴している黒潮町ケーブルテレビの自主放送番組があれば、それらの番組名を下に記入ください（自由記述）。

1 よく視聴している番組名 (Q881OFPG)	黒潮町議会放送(3)、町の行事・イベント(2)、つり(2)、IWKニュース(1)、いとたら(1)、イベント(1)、お天気(1)、くろしおチルドレン(1)、ロコクロ体操(1)、教えて食改さん(1)、耳をすませば(1)、防災等(1)
2 ときどき視聴している番組名 (Q882SLPG)	運動会など行事の特集(7)、黒潮町議会(6)、片さんの釣番組(3)、IWK NEWS(1)、おしえて食改さん(1)、くろしおチルドレン(1)、健康体操(1)、行政チャンネル(1)、黒潮人(1)、町のイベント(1)

問 89 (Q89NWP) あなたは自宅で新聞を購読していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(N=194)

1	高知新聞を定期購読している。	135 (69.6%)
2	全国紙（読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、日本経済新聞など）を定期購読している。	13 (6.7%)
3	スポーツ新聞を定期購読している。	2 (1.0%)
4	職場などで定期購読している新聞を読んでいる	6 (3.1%)
5	図書館など公共施設で新聞を読んでいる	1 (0.5%)
6	普段、新聞を読まない	27 (13.9%)

問 90 (Q90MGZ) あなたは普段、（マンガ以外の）雑誌を読みますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(N=194)

1	町の広報誌（『広報くろしお』）は定期的に読んでいる。	126 (64.9%)
2	フリーペーパーをよく読んでいる。	18 (9.3%)
3	高知のタウン誌をよく読んでいる。	21 (10.8%)
4	特定の全国雑誌を定期購読している。	14 (7.2%)
5	全国雑誌などをお店などで読んでいる。	36 (18.6%)
6	図書館など公共施設で雑誌を読んでいる	11 (5.7%)
7	普段、雑誌を読まない	43 (22.2%)

第9部 あなたの普段の情報収集についておうかがいします。

問 91 あなたは以下にあげた内容に関する情報を、どのような情報源から得ていますか。この1ヶ月の間に、それぞれの内容に関する情報を得た情報源としてあてはまるものに、1～11の中からいくつでも○をつけてください。また、それぞれの情報について、1～11の中で最もよく使った情報源には1つ◎をつけてください。その種の情報を必要としなければ12に○をつけてください。(○はそれぞれいくつでも、◎はそれぞれ1つ) (N=186)

(記入例)

国内ニュース	①	2	③	④	5	⑥	7	8	9	⑩	11	12
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----

	友人・家族と直接 会って聞く 01	友人・家族からの電 話やメール 02	テレビ放送 03	ケーブルテレビ 04
1)国内ニュース(Q911DN)	27 (14.5%)	11 (5.9%)	161 (86.6%)	7 (3.8%)
2)海外ニュース(Q912IN)	13 (7.0%)	1 (0.5%)	132 (71.0%)	4 (2.2%)
3)地域 (ローカル) ニュース(Q913LN)	32 (17.2%)	8 (4.3%)	98 (52.7%)	25 (13.4%)
4)天気予報 (Q914WT)	14 (7.5%)	1 (0.5%)	167 (89.8%)	12 (6.5%)
5)旅行、観光情報 (Q915TR)	20 (10.8%)	8 (4.3)	48 (25.8%)	4 (2.2%)
6)ショッピング、商品情報 (Q916SP)	24 (12.9%)	6 (3.2%)	46 (24.7%)	4 (2.2%)
7)健康、医療情報 (Q917HL)	37 (19.9%)	10 (5.4%)	78 (41.9%)	7 (3.8%)
8)テレビ番組情報 (Q918TV)	11 (5.9%)	5 (2.7%)	100 (53.8%)	5 (2.7%)
9)グルメ情報 (Q919GR)	23 (12.4%)	11 (5.9%)	68 (36.6%)	6 (3.2%)

	ラジオ放送 05	新聞 06	雑誌 07	町の広報誌 08
1)国内ニュース(Q911DN)	36 (19.4%)	113 (60.8%)	12 (6.5%)	20 (10.8%)
2)海外ニュース(Q912IN)	17 (9.1%)	76 (40.9%)	8 (4.3%)	2 (1.1%)
3)地域 (ローカル) ニュース(Q913LN)	15 (8.1%)	65 (34.9%)	1 (0.5%)	60 (32.3%)
4)天気予報 (Q914WT)	25 (13.4%)	73 (39.2%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)
5)旅行、観光情報 (Q915TR)	6 (3.2%)	25 (13.4%)	33 (17.7%)	6 (3.2%)
6)ショッピング、商品情報 (Q916SP)	5 (2.7%)	31 (16.7%)	25 (13.4%)	2 (1.1%)
7)健康、医療情報 (Q917HL)	5 (2.7%)	50 (26.9%)	17 (9.1%)	24 (12.9%)
8)テレビ番組情報 (Q918TV)	3 (1.6%)	86 (46.2%)	6 (3.2%)	1 (0.5%)
9)グルメ情報 (Q919GR)	3 (1.6%)	26 (14.0%)	31 (16.7%)	6 (3.2%)

	掲示板、ポスター、 チラシなど ⑤	パソコンのウェブ サイト ⑥	携帯情報サイト ⑦	そのような情報は 必要としない ⑧
1)国内ニュース(Q911DN)	6 (3.2%)	26 (14.0%)	24 (12.9%)	1 (0.5%)
2)海外ニュース(Q912IN)	0 (0.0%)	20 (10.8%)	17 (9.2%)	7 (3.8%)
3)地域（ローカル）ニュース(Q913LN)	13 (7.0%)	7 (3.8%)	3 (1.6%)	2 (1.1%)
4)天気予報 (Q914WT)	1 (0.5%)	24 (12.9%)	25 (13.4%)	0 (0.0%)
5)旅行、観光情報 (Q915TR)	13 (7.0%)	23 (12.4%)	11 (5.9)	17 (9.1%)
6)ショッピング、商品情報 (Q916SP)	39 (21.0%)	21 (11.3%)	19 (10.2%)	16 (8.6%)
7)健康、医療情報 (Q917HL)	9 (4.8%)	12 (6.5%)	9 (4.8%)	11 (5.9%)
8)テレビ番組情報 (Q918TV)	2 (1.1%)	8 (4.3%)	3 (1.6%)	7 (3.8%)
9)グルメ情報 (Q919GR)	20 (10.8%)	13 (7.0%)	9 (4.8%)	22 (11.8%)

問 92 あなたは以下にあげた**黒潮町に関する情報**を、どのような情報源から得ていますか、この1ヶ月の間に、以下のそれぞれの内容に関する情報を得た情報源としてあてはまるものに、1～11の中から**いくつでも○**をつけてください。また、それぞれの情報について、1～11の中で**最もよく使った情報源には1つ◎**をつけてください。その種の情報を必要としなければ12に○をつけてください。(○はそれぞれいくつでも、◎はそれぞれ1つ) (N=191)

	友人・家族と直接 会って聞く 01	友人・家族からの電 話やメール 02	テレビ放送 03	ケーブルテレビ 04
黒潮町の政治・行政に関する情報（町長や議会の動向、行政手続きに関する情報など）（Q921LPL）	33 (17.3%)	7 (3.7%)	23 (12.0%)	37 (19.4%)
黒潮町における防災計画や避難場所、防災訓練開催などの情報（Q922LDP）	45 (24.1%)	12 (6.3%)	18 (9.4%)	31 (16.2%)
黒潮町の経済状況に関する情報（Q923LEC）	21 (11.0%)	5 (2.6%)	8 (4.2%)	19 (9.9%)
黒潮町における事件・事故などに関する情報（Q924LCR）	54 (28.3%)	29 (15.2%)	50 (26.2%)	14 (7.3%)
黒潮町において開催される催し物やイベントなどの情報（Q925LEV）	48 (25.1%)	20 (10.5%)	17 (8.9%)	37 (19.4%)
黒潮町における新規店舗や新商品、セールなどの情報（Q926LCM）	47 (24.6%)	23 (12.0%)	11 (5.8%)	11 (5.8%)
黒潮町におけるまちづくり活動などの情報（Q927LCB）	33 (17.3%)	11 (5.8%)	13 (6.8%)	26 (13.6%)

	ラジオ放送 05	新聞 06	雑誌 07	町の広報誌 08
黒潮町の政治・行政に関する情報（町長や議会の動向、行政手続きに関する情報など）（Q921LPL）	3 (1.6%)	36 (18.8%)	2 (1.0%)	132 (69.1%)
黒潮町における防災計画や避難場所、防災訓練開催などの情報（Q922LDP）	2 (1.0%)	20 (10.5%)	0 (0.0%)	121 (63.4%)
黒潮町の経済状況に関する情報（Q923LEC）	1 (0.5%)	17 (8.9%)	0 (0.0%)	115 (60.2%)
黒潮町における事件・事故などに関する情報（Q924LCR）	4 (2.1%)	59 (30.9%)	1 (0.5%)	39 (20.4%)
黒潮町において開催される催し物やイベントなどの情報（Q925LEV）	2 (1.0%)	22 (11.5%)	1 (0.5%)	108 (56.5%)
黒潮町における新規店舗や新商品、セールなどの情報（Q926LCM）	1 (0.5%)	23 (12.0%)	2 (1.0%)	40 (20.9%)
黒潮町におけるまちづくり活動などの情報（Q927LCB）	3 (1.6%)	23 (12.0%)	1 (0.5%)	110 (57.6%)

	09 1、 掲示板、 ポスタ など	パソコン のウエ ブサイ ト	11 携 帯 情 報 サ イ ト	12 そ の よ う な 情 報 は 必 要 と し な い
黒潮町の政治・行政に関する情報（町長や議会の動向、行政手続きに関する情報など）（Q921LPL）	10 (5.2%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	8 (4.2%)
黒潮町における防災計画や避難場所、防災訓練開催などの情報（Q922LDP）	17 (8.9%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	4 (2.1%)
黒潮町の経済状況に関する情報（Q923LEC）	5 (2.6%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	11 (5.8%)
黒潮町における事件・事故などに関する情報（Q924LCR）	7 (3.7%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	5 (2.6%)
黒潮町において開催される催し物やイベントなどの情報（Q925LEV）	52 (27.2%)	5 (2.6%)	0 (0.0%)	7 (3.7%)
黒潮町における新規店舗や新商品、セールなどの情報（Q926LCM）	45 (23.6%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	14 (7.3%)
黒潮町におけるまちづくり活動などの情報（Q927LCB）	24 (12.6%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	12 (6.3%)

問 93 あなたが必要な情報を得るための手段（情報源）として、次のメディアは、どのくらい重要ですか。それぞれについて、1～5の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。（○はそれぞれ1つずつ）（N=185）

	非常に重要	ある程度重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	まったく重要ではない	無回答
1) テレビ (Q931TV)	137 (74.1%)	43 (23.2%)	4 (2.2%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2) 新聞 (Q932NWP)	92 (49.7%)	62 (33.5%)	11 (5.9%)	4 (2.2%)	0 (0.0%)	16 (8.6%)
3) 雑誌 (Q933MGZ)	7 (3.8%)	48 (25.9%)	44 (23.8%)	28 (15.1%)	8 (4.3%)	50 (27.0%)
4) インターネット (Q934INET)	35 (18.9%)	31 (16.8%)	27 (14.6%)	19 (10.3%)	16 (8.6%)	57 (30.8%)

問 94 あなたは、次のメディアの情報のうち、信頼できる情報はどの程度あるとおもいますか。それぞれについて、1～5の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。なお、利用していないメディアについては、大体の印象でお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）（N=182）

	全部信頼できる	大部分信頼できる	半々くらい	一部しか信頼できない	まったく信頼できない	無回答
1) テレビ (Q941TV)	28 (15.4%)	117 (64.3%)	30 (16.5%)	7 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2) 新聞 (Q942NWP)	33 (18.1%)	106 (58.2%)	29 (15.9%)	3 (1.6%)	0 (0.0%)	11 (6.0%)
3) 雑誌 (Q943MGZ)	0 (0.0%)	27 (14.8%)	67 (36.8%)	41 (22.5%)	4 (2.2%)	43 (23.6%)
4) インターネット (Q944INET)	4 (2.2%)	33 (18.1%)	57 (31.3%)	21 (11.5%)	7 (3.8%)	60 (33.0%)

ご協力ありがとうございました。

社会調査員 記録票

(社会調査員専用記入欄)

調査員番号					
回収日時	月	日	午前・午後	時	分頃
受理方法	本人 ・ 家族 ・ その他 ()				
報告書送付 希望申請用紙	あり ・ なし				

ID番号		地区番号	
------	--	------	--

著者 遠山 茂樹

高知大学教育研究部人文社会科学系人文社会科学部門 教授

(人文社会科学部人文社会科学科国際社会コース)

地域コミュニケーション調査（平成26年 黒潮町編）調査報告書

科学研究費 基盤研究（C） 課題番号：25330399

デジタル時代の防災コミュニティ強化に向けた地域コミュニケーション・モデルの開発

研究代表者 遠山茂樹

発行日：2016年9月23日

著作・発行 遠山茂樹

〒780-8520 高知県高知市曙町二丁目5番1号

高知大学人文社会科学部 遠山研究室

TEL&FAX: 088-844-8183

s-toyama@kochi-u.ac.jp / <http://souls.cc.kochi-u.ac.jp/s-toyama.html>
